

小樽商科大学
昼間コース

紹
紹

介

本

ゼ

ミ

ナ

ー

ル

2021

目次

研究指導履修上の注意事項.....	p.3
昼間コース研究指導募集手続（社会情報学科）.....	p.4
昼間コース研究指導募集手続（社会情報学科以外）.....	p.6
昼間コース研究指導第一次希望応募フォーム.....	p.8
経済学科.....	pp.9-28
商学科.....	pp.29-49
企業法学科.....	pp.50-75
社会情報学科.....	pp.76-102
一般教養等.....	pp.103-111
言語センター.....	pp.112-123
ゼミ配置図.....	p.124-126

○掲載内容について

本冊子は、教務課学部教務係とゼミナール協議会が分担して編集作業を担当致しました。

研究指導募集要項に関する事項：教務課学部教務係（gakubu@office.otaru-uc.ac.jp）

ゼミナール紹介白書：ゼミナール協議会（shodaijichikai@gmail.com）

本冊子に原稿をお寄せ下さった全ての方々に、心より感謝申し上げます。

本冊子のレイアウトに関わる作業は、昼間部学生自治会事務局が行いました。

昼間コース研究指導（ゼミナール）履修上の注意事項

教 務 課

1. 研究指導は、2年間特定のテーマのもとで研究し、その成果を卒業論文としてまとめるもので、原則**必修科目**とし、原則として自学科科目あるいは専門共通科目の研究指導を履修するものとする。
2. 3年次への進級要件を満たせなかった場合、ゼミの内定を受けたとしてもゼミに所属することができないので注意すること。
3. 研究指導の履修期間は、学期単位（前期、後期でそれぞれ1学期）で扱い、単位（12単位）を修得するためには4学期（合計2年間）を履修しなければならない（原則は3、4年次の2年間継続履修である）。
4. 研究指導は原則必修としているが、ノンゼミを志望する学生は、学科長宛に申し出るものとし、学科長において例外的措置として承認が得られた場合のみ、ノンゼミを認めることとする。
ノンゼミを認められた学生は、自学科の学科科目について所定の単位の他、ゼミ相当分の12単位を、更に履修しなければならない。
5. ゼミ所属の変更は、非常に難しいので慎重に選択すること。なお、万一変更の必要が生じた場合はただちに教務課学部教務係まで申し出ること。
6. ゼミの無断欠席が続くと除名される場合があるので注意すること。
7. 募集要項中で選考の方法等が未定になっている場合には、掲示等により通知するので十分に注意すること。

昼間コース社会情報学科 研究指導募集手続

社会情報学科のゼミを希望するものは、以下に従い必要手続きを行うこと。手続きに従わない活動は、無効となるので注意すること。

1. オープンゼミ期間 【10月1日(木)～11月5日(木)】

この期間中は、各ゼミにおいてオープンゼミを行っているので、できるだけ参加すること。

◇ゼミ合同説明会:9月29日(火) 14:40～17:00

(複数のゼミが manaba 掲示板から入出できる zoom にて集まり、各ゼミの紹介を行います)

※詳細はゼミナール協議会から別途連絡があります。

2. 第1次志望ゼミ申込期間 【11月5日(木)～11月11日(水)】

① アンケートフォーム (URL) より、所属を希望するゼミを、第1志望から第3志望まで登録する。

(締切: 11月11日(水) 16時)

※アンケートフォームの URL は、《大学 HP→学生生活・就職→お知らせ》に掲載予定です。

② 申込期間中に各ゼミの志望状況を適宜公表する。

③ 社会情報学科のゼミを希望する場合は、第1次選考で複数の選考を受けることが可能ですが、選考を受けることができるのは社会情報学科のゼミに限ります。

3. 第1次選考期間 【11月16日(月)～11月27日(金)】

この期間、各教員が指定した選考日時・場所で適宜選考を受けること。社会情報学科では、複数の選考を受けることを認めているので、第1志望、第2志望、第3志望に関わりなく(第1～第3希望以外でも)、指定された日時・場所で選考を受けることができる。なお、複数の内定を受けた場合は、速やかに内定を辞退する教員にその旨申し出ること。

4. 第1次選考結果発表及び第2次募集告知期間【11月16日(月)～12月4日(金)】

この期間中に、各教員から選考結果が適宜発表される。内定者の発表、第2次募集の有無については、掲示等で行う。

第2次募集については、アンケートフォーム (URL) より希望ゼミを登録する必要はありません。

5. 第2次選考期間及び第2次選考結果発表【12月7日(月)～1月12日(火)】

この期間中に、第1次選考でゼミの内定を得られなかった学生は、各教員が指定した選考日時・場所で適宜選考を受けること。

第2次募集については、他学科を含め複数のゼミ選考を受けることが認められている。

この期間中に、各教員から選考結果が適宜発表される。内定者の発表、第3次募集の有無については、掲示等で行う。

なお、**複数の内定を受けた場合は、速やかに内定を辞退する教員にその旨申し出ること。**

6. 内定者発表 【1月14日(木)】

教務課学部教務係より各ゼミの最終的な内定者を掲示する。

7. 最終活動期間 【1月14日(木)～3月末日】

研究指導は原則として必修なので、選考期間中にゼミ所属が決定しなかった学生は内定活動を継続すること。該当者は呼び出しを受ける場合があるので、掲示には十分注意すること。

備考

- ノンゼミを希望する場合は、原則として **12月14日(月)まで**に所属学科の学科長あての所定の申請用紙（教務課学部教務係にて配布）により申し出、承認を受けること。
ただし、ノンゼミは自動的に認めることではなく、例外的措置として認められる場合に限られるので注意すること。承認が得られなかった場合は、そこからゼミ所属活動をするようになるので、ノンゼミを考えている学生は、期限に関わらず早めの申請を勧める。
- 社会情報学科の学生が他学科のゼミを受けることは可能である。ただし、申請は他学科の手続きに従うこと。
- 社会情報学科以外の学生が社会情報学科のゼミ所属を希望する場合は、社会情報学科の手続きに従うこと。
- 第1次選考で落選したものは、各ゼミの募集について掲示等を確認したうえで第2次選考中の教員に直接連絡をとり、選考を依頼するなど積極的に行動することを勧める。

昼間コース社会情報学科以外 研究指導募集手続

社会情報学科以外のゼミを希望する場合、以下に従い必要手続を行ってください。手続に従わない活動は、無効となるので注意すること。

1. オープンゼミ期間 【10月1日(木)～11月5日(木)】

この期間中は、各ゼミにおいてオープンゼミを行っているので、できるだけ参加すること。

◇ゼミ合同説明会:9月29日(火) 14:40～17:00

(複数のゼミが manaba 掲示板から入出できる zoom にて集まり、各ゼミの紹介を行います)

※詳細はゼミナール協議会から別途連絡があります。

2. 第1次志望ゼミ申込期間 【11月5日(木)～11月11日(水)】

② アンケートフォーム (URL) より、所属を希望するゼミを、**第1志望のみ**登録する。(締切: 11月11日(水) 16時)。

※アンケートフォームの URL は、《大学 HP→学生生活・就職→お知らせ》に掲載予定です。

③ 申込期間中は、各ゼミの志望状況を適宜公表する。

④ 締切日までは、希望ゼミの変更を認める。変更希望者は、アンケートフォーム登録時に送信されたメールから修正を行うか、再度アンケートフォームに登録を行うこと。(登録が一番新しいものを、最終希望とみなします。)

④ 社会情報学科のゼミを希望する場合は、第1次選考で複数の選考を受けることが可能ですが、選考を受けることができるのは社会情報学科のゼミに限ります。

3. 第1次選考期間 【11月16日(月)～11月27日(金)】

この期間中に、第1志望の申込をおこなった者を対象に選考するので、対象となる者は、各教員の募集要項の指示に従って面接等を受けること。

4. 第1次選考結果発表及び第2次募集告知期間【11月16日(月)～12月4日(金)】

この期間中に、各教員から選考結果が適宜発表される。内定者の発表、第2次募集の有無については、掲示等で行う。

第2次募集については、アンケートフォーム (URL) より希望ゼミを登録する必要はありません。

5. 第2次選考期間及び第2次選考結果発表【12月7日(月)～1月12日(火)】

この期間中に、第1次選考でゼミの内定を得られなかった学生は、各教員が指定した選考日時・場所で適宜選考を受けること。

第2次募集については、他学科を含め複数のゼミ選考を受けることを認めている。

この期間中に、各教員から選考結果が適宜発表される。内定者の発表、第3次募集の有無については、掲示等で行う。

なお、**複数の内定を受けた場合は、速やかに内定を辞退する教員にその旨申し出ること。**

6. 内定者発表【1月14日(木)】

教務課学部教務係より各ゼミの最終的な内定者を掲示する。

7. 最終活動期間【1月14日(木)～3月末日】

研究指導は原則として必修なので、選考期間中にゼミ所属が決定しなかった学生は内定活動を継続すること。**該当者は呼び出しを受ける場合があるので、掲示には十分注意すること。**

備考

- ノンゼミを希望する場合は、原則として **12月14日(月)まで**に所属学科の学科長あての所定の申請用紙（教務課学部教務係にて配布）により申し出、承認を受けること。
ただし、ノンゼミは自動的に認めることではなく、例外的措置として認められる場合に限られるので注意すること。承認が得られなかった場合は、そこからゼミ所属活動をするようになるので、ノンゼミを考えている学生は、期限に関わらず早めの申請を勧める。
- 第1次選考で落選したものは、各ゼミの募集について掲示等を確認したうえで第2次選考中の教員に直接連絡をとり、選考を依頼するなど積極的に行動することを勧める。

令和3年度研究指導 第一次希望応募フォーム（昼間コース）

第1志望ゼミ申込期間中【11月5日(木)～11月11日(水) 16時】に、アンケートフォームより所属を希望するゼミを登録してください。

締切：11月11日(水) 16時

アンケートフォームはmanabaコース「2021年度ゼミ選考」のアンケートに掲載予定です。

No.	タイトル	期間	公開/非公開	提出	管理
1	研究指導第一次希望応募フォーム（昼間コース）	-	非公開	0名	

第一次希望応募フォーム（昼間コース）

※第1志望ゼミ申込期間より前に登録することはできませんのでご注意ください。

※第一次募集では、研究指導募集手続きに違反した重複申請を避けるため、上記のアンケートフォームを利用しています。アンケートフォームに登録せずに独自に教員に申し込むことは禁止しています。

※留学等により上記のアンケートフォームからの登録が困難な場合は、必ず事前に教務課学部教務係まで連絡してください。

連絡先

国立大学法人小樽商科大学教務課学部教務係

電話番号：0134-27-5242

e-mail：gakubu@office.otaru-uc.ac.jp

経済学科

Economics

経済学科 開講ゼミナール一覧

天野 大輔.....	10	中村 健一	21
池田 真介.....	11	平井 進	22
岩澤 政宗.....	13	廣瀬 健一	24
江頭 進.....	14	松家 仁	25
小野塚 裕紀.....	16	水島 淳恵	26
佐野 博之.....	17	劉 慶豊	27
柴山 千里.....	18		
寺坂 崇宏.....	19		
土居 直史.....	20		

1. 研究主題

現実の様々な問題に対して、経済学は考え方の指針を与えてくれます。経済学は、その専門的知識を利用してお金を儲けるための手段ではありません。本ゼミを通じて、現状の日本経済に関する諸問題を解決するために、あるいは将来において皆さんの眼前に立ちふさがる個々の課題を克服するために、「経済学的な」考え方や論理的な説明能力がどれだけ有効であり、かつ視野を広げてくれるかを認識してもらうことを研究主題とします。最終的には、4年次に卒業論文を作成することで、それまでに学んだ内容を「形」にすることも、併せて主題とします。

2. 指導要領

以下で指定された、海外でも幅広く使用されている経済学（トピックは経済成長理論）の著名なテキストを輪読します。具体的には、毎回2名程度の、事前に決められた担当者に口頭（日本語）でテキストの内容を発表および解説してもらいます。したがって、ゼミの参加者はもちろんのこと、特に発表担当者の無断欠席は厳禁とし、その場合はゼミの単位の不認定（あるいは除籍）の対象とします。本ゼミでは、卒業までに基礎的な経済学を修めてもらうことを到達目標とします。

3. 指導テキスト及び参考書

現状では、以下の経済成長理論に関するテキストを使用（履修者で輪読）する予定です。

“Introduction to Economic Growth”, Charles I. Jones and Dietrich Vollrath (著), WW Norton & Co; 3rd International student 版, ISBN:978-0393920789.

和訳本が存在しますが、訳本は版が古いので発表時は上記のテキストに従って発表してもらいます。

上記のテキストは、図書館で貸出不可の「禁帯出」扱いとし、2階の「教員指定図書コーナー」に配架してもらう予定ですので、ゼミ希望者は事前に内容を確認するようにしてください。

4. 選考の方法（面接・テスト等）

今年度は原則、書類選考とします。

ただし、コロナ禍の現状が改善し、対面での面接が可能になった場合は、応募者の多寡に依って、個人あるいはグループでの面接を実施します。筆記テストは実施しません。

5. 面接・テスト等の日時・場所

書類選考として、下記の質問①～④に対する「全て」の回答をワード（Microsoft Word）で作成し、そのファイルをeメールに添付して天野（アドレスは amano@res.otaru-uc.ac.jp）宛てに送信すること。

提出期限は11月1日(日)の18時 ⇒すべての期間の2週間後ろ倒しに伴い、11月15日(日)の18時に変更、つまり、第1次選考期間開始の前日迄とし、期限厳守とする。

質問事項は、以下の通り。①:簡単な自己紹介、②:本ゼミ（経済成長理論ゼミ）の志望動機、③:これまでに受講した主な経済学および数学関連の科目とそれらの授業の感想（ただし、教員の評価ではなく、受講したことによる成果や何を学んだか、あるいはどのように勉強したかについて回答すること）、④:③で回答した科目群において、特に興味を持ったトピックとその理由（複数の回答を希望します）

対面での面接が可能になった場合:

天野の研究室（1号棟の337）で3年生のゼミの時間帯（木曜日）に面接をする予定です。

面接時間は各個人（あるいはグループ）につき30～45分を要します。

ゼミ希望者には事前にメールで面接時間・必要事項などの連絡をする必要があるため、この場合の詳細は、メールやmanaba「2020年度ゼミ選考」の掲示板などで適宜、お知らせします。

6. 注意事項・履修希望者へのメッセージ

海外研修明けですので、ゼミ生は新3年生のみになります。

また、コロナ禍の現状が改善し、記載内容に変更が生じた場合は、manaba「2020年度ゼミ選考」の掲示板などで周知します。）

1. 研究主題

ファイナンスデータを用いた実証研究

2. 指導要領

学術面

・3年前期はファイナンスの時系列（Time Series）データ分析の初歩について学びます。このゼミでの時系列データの典型例は、毎日市場で取引される株価を時間に対してグラフにしたものです。株価の歴史的な推移は投資戦略について何を示唆するのでしょうか？学術的には資産市場価格付けモデル（CAPM）と時系列の計量経済学などに対応します。金融派生商品（デリバティブ）も勉強できればうれしいです。

・3年後期はファイナンスの横断面（Cross Section）データ分析の初歩について学びます。このゼミでの横断面データの典型例は、たくさんの上場企業の各年度の平均株価、時価総額、信用スコア、決算などの分布です。産業のトレンドや企業の経営戦略の違いはどのように株価の分布に反映されるのでしょうか？学術的にはファマ・フレンチ・モデルとパネルデータの計量経済学などに対応します。

・4年でやることはまだ決めていません。

・データ分析のソフトウェアはRかPython（どちらも無料）を使います。

語学面

・私は本学グローバル教育部門に深く関わっており、このゼミもYOUC留学生や本学グローバルマネジメント副専攻プログラム（GMP）履修者向けのグローバルセミナー3/4（教育言語：英語）と合同で開講する可能性があります。経験上、ゼミ/セミナーでは日本語と英語が入り混じることが多いです。コロナ禍が収まらず、留学生が一切来られない場合は、日本語でやるかもしれません。その場合でもそれなりの量の英文を読むことになるのではと思います。

3. 指導テキスト及び参考書

・現時点では決めていません。ゼミ生が確定した後にアナウンスします。

4. 選考の方法（面接・テスト等）

・ファイナンスの理論と実践には幅広い知識が必要です。このため、成績証明書を提出してください。全体としての成績（GPA）の良し悪しというよりは、ファイナンスの勉強に役立つ授業（経済、統計、プログラミングなど）でどのぐらいの成績だったのかを見たいと思います。

・ゼミとグローバルセミナー合同開催の可能性を踏まえ、英語力に関する客観的な証明書を提出してください。わかりやすい証明書としては直近のTOEFLスコアで、iBTで52以上、CBTで150以上、PBTで470以上あると嬉しいです。また、1か月以上海外研修をした経験（たとえば本学入学後に佐野力海外留学奨励金ブリッジプログラムに参加した、など）は選考上プラスに働きます。

・志望理由書（A4で片面1ページ、日本語か英語で）も頑張って書いてみてください。

・私は経済学科所属ですが、他学科の学生も応募可能です。ただし、教育効果を考え、大所帯にならないように定員をコントロールしたいと思います。

5. 面接・テスト等の日時・場所

- 書類選考：（１）成績証明書、（２）英語力の証明書、（３）志望理由書、をすべて pdf に変換して、
ikedainotar1@gmail.com 宛に送ってください。期限は 2020 年 10 月 30 日（金）午後 5 時までとします。
- 面接：Zoom によるオンライン面接を実施します。一人 10 分ぐらいでしょうか。11 月 6 日(金)3, 4 講（12:50-16:00）が候補ですが、変更や個別の調整はあり得ます。連絡は基本的に書類を送る際のメールアドレスでのやり取りとなります。

6. 注意事項・履修希望者へのメッセージ

- これまで私は経済学科松本教授と共同で幅広いデータ分析を行うグローバルセミナー3/4 や学部ゼミを合同開催してきました。2021 年度は松本教授の海外研修のタイミングを鑑み、私のもともとの専門分野である実証ファイナンスに焦点を絞った単独ゼミを企画しました。なにぶん初めてなので至らない点もあり、学生の皆さんにはご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、よろしくお願い致します。

1. 研究主題

計量経済学の理論研究とその応用

近年、ITの発達に伴い膨大なデータが蓄積・分析されるようになりました。データから有用な情報を引き出すには、統計学や計量経済学の知識を身につけ、それを応用する能力が必要です。本ゼミでは、統計学や計量経済学に関する理解を深め、それらを応用するための能力を身につけることを目指します。

2. 指導要領

テキストの輪読や、データ解析ソフトウェアを用いたプログラミングを学習します。理論と応用のバランスはゼミ生の興味関心に応じて決定します。

2020年度は、統計学の理論学習と並行して、ニューラルネットワークという機械学習の分析手法とそのプログラミングの手法を学習しています。輪読で基礎知識を習得した後は、データ解析コンペティションへの参加や、各自興味のあるデータを用いた分析をします。

3. 指導テキスト及び参考書

機械学習に関するテキストを候補として考えています。実際には、ゼミ生の興味や知識に応じて決定します。

4. 選考の方法（面接・テスト等）

面接により選考を行います。

5. 面接・テスト等の日時・場所

面接の日程は、manaba コース「2020年度ゼミ選考」の掲示板かホームページ (<https://sites.google.com/view/masamune-iwasawa/home>) に掲載します。

6. 注意事項・履修希望者へのメッセージ

統計学、計量経済学を履修していることを要件とします。また、統計学、計量経済学、機械学習に興味があり、意欲的に楽しく学習に取り組める方はぜひ応募してください。

1. 研究主題

令和3年度の3年生のゼミでは、アダム・スミス『国富論』の輪読を中心として、私たちの住む世界の基本的な構造についての考え方を議論する。古典の輪読に加えて、現代的な視点を学ぶため、令和3年度は、月1回上川大雪酒造を共同開催のゼミとする。この回では、本学OBが代表取締役を務め日本で一番新しい酒蔵である上川大雪酒造から講師を派遣してもらい、ゼミ形式での講義を行う。

これ以外にも、新型コロナウイルス収束を見計らいながら、小樽市内、道内でのフィールドワークも検討している。

2. 指導要領

月3回、木曜日の14時30分から17時までは、アダム・スミスの輪読を行う。ゼミ生が割り当てられた担当個所について、パワーポイントを作成し、プレゼンテーションとディスカッションを行う。また、17時から19時では、フィールドワークや、主催するNPO法人の運営、さらに学内外のディベートや研究発表会の準備を行う。4月から12月（夏季休業期間中は除く）までの月1回、上川大雪酒造ゼミとなり、派遣された講師の下で、社会貢献企業の経営を学ぶ。

新型コロナウイルスが収束していれば、年4回の学内合同ゼミ（ディベート）や、他大学との合同ゼミなども、例年通り行う予定である。

3. 指導テキスト及び参考書

アダム・スミス『国富論』（上・下）高哲男訳、講談社学術文庫。

堂目卓生『アダム・スミス：『道徳感情論』と『国富論』の世界』、中公新書。

4. 選考の方法（面接・テスト等）

- ・ 面接は、教員によるものと、ゼミ生によるものの2段階に分かれている。それぞれ15分ぐらいを考えておくこと。
- ・ 面接を希望するものは、10月22日（木）～10月28日までの間に、egashira@res.otaru-uc.ac.jpまで、件名を「ゼミの面接希望」としたメールを送ること。
- ・ 送られたメールに対して、面接時間の調整表のアドレスを送るので、希望する面接時間をその中に記入しておくこと。また、志望理由書の様式を添付するので、当日までに記入して、江頭に送ること。

新型コロナウイルスに対する大学の方針にもよるが、対面の面接を基本とするが、ZOOMによる面接も可とするので、希望者はその旨をメールに記載しておくこと。

5. 面接・テスト等の日時・場所

11月4、5、6日の3日間を予定している。時間は、調整表で指定する。場所は、1号館409研究室を基本とするが、ZOOMによる面接も可とする。ZOOM面接の場合は、こちらからアドレスを指定する。

6. 注意事項・履修希望者へのメッセージ

新型コロナウイルスの収束状況にもよりますが、基本的には活動が多いゼミです。ゼミ生と小樽市民が共同でNPO法人EgaOを運営しており、スマホゲームの制作や地域通貨の運営を企画しています。また、来年度は初めての試みとして、上川大雪酒造と共同でのゼミを開催します。さらにこれまで行ってきた。学祭や市内イベントでの小樽あんかけ焼そばの出店に加えて、来年度は11月に九州大学の学祭での出店も予定しています。毎年、違うことをやることを目指していますので、大学生活を充実させたい人はぜひ参加して下さい。

開講日時	曜日	14:30	～	17:40
在籍人数(3年生)		13	人	
男女比(3年生)		9:4		
ゼミ室	3号館4階	402B		
ゼミの鬼仏表	仏	・ 普通	・	鬼

Q. 先生はどんな人？

<< 副学長：江頭進 >>

我らのあんかけ先生～！！

マンガでゼミ室が埋め尽くされてしまうほどの漫画好きです！

オンライン飲み会をしたときに、お子さんだけでなく奥さんも参加するなど、とても家族仲の良い一面も、！

< 2020年度年間スケジュール >

12～3	(前年度)
4	NPO 法人総会
5	ゼミ合宿
6	あんかけ焼きそば出店
7	
8	
9	
10	4大学合同ゼミ (デ)
11	
12	新歓 (デ)
1	
2	追いコン
3	

<ゼミの日常>

輪読、ディベート、あんかけ焼きそば、NPOの活動などなど！

あんかけ焼きそばは毎年、学校祭や地域のお祭りでお店を出店します。小樽のあんかけ焼きそばのお店に修行に行く予定なので、あんかけマスターになれるかも、？

詳しくはオープンゼミにて！

お待ちしております！

<卒業生の進路>

- ・大手通信業界
 - ・大手金融業界
 - ・食品業界
 - ・保険業界
- など様々です！！

<自由記入欄> (デ) は4大ゼミディベート大会

活動内容の多いゼミですが、とても充実したゼミです！

上記のスケジュールには記載していませんが、地域通貨の普及に伴いクラウドファンディングもおこなう予定です。地域経済に興味のある方、ゲーム制作に興味のある方、あんかけ焼きそば好きな方などなど！大歓迎です！！

学科問わず募集していますので、どなたでもオープンゼミにいらしてください(^)/

1. 研究主題

労働経済学、教育経済学、応用マイクロ計量経済学

(主に、労働や教育の分野において、マイクロデータ（個票データ）を用いた実証分析)

私自身は、今まで、男女間賃金格差、労働者能力の雇用者学習、大学での専攻分野とスキルの関係、大学入試方法などについて研究を行っている。

2. 指導要領

3年生のゼミでは、労働経済学の理論的基盤と実証分析の手法を身につけることを目標とする。そのため、労働経済学のテキストと、データ分析を重視した計量経済学のテキストの輪読を中心に行う予定である。4年生のゼミでは、各自、卒業論文の執筆に取り組んでもらい、研究の進捗発表を中心とする予定である。なお、経済学の知識だけではなく、口頭発表や議論の仕方についても重視する。

3. 指導テキスト及び参考書

以下に挙げる労働経済学、計量経済学の本から、志望者のレベルや目標に合わせて1冊ずつ選び、ゼミでカバーする予定である。

労働経済学：・大森義明(2008)「労働経済学」日本評論社・川口大司(2017)「労働経済学—理論と実証をつなぐ」有斐閣

計量経済学：・伊藤公一郎(2017)「データ分析のカー因果関係に迫る思考法」光文社・中室牧子、津川友介(2017)「『原因と結果』の経済学—データから真実を見抜く思考法」ダイヤモンド社・Wooldridge, J. M. (2019), Introductory Econometrics: A Modern Approach, South-Western Pub.

現時点ではゼミでカバーする予定はないが、以下の本は教育経済学がどのようなものを理解するのに役立つだろう。

・中室牧子(2015)「『学力』の経済学」ディスカヴァー・トゥエンティワン

4. 選考の方法（面接・テスト等）

面接。面接には成績表を持参すること。また、面接の前々日までに、1:大学入学以後、どのようなことを考え、どのように過ごしてきたのか、2:将来はどのようなキャリアを考えているのか、3:そのキャリアのために、このゼミでどのような知識やスキルを身につけたいと考えているのか、の3点についてA4で1枚程度にまとめたものを作成し、メールで提出すること。

*選考では、ゼミ志望者が求めているものとゼミで提供できそうなことが合っているかを重視する。今まで何も考えず、何もやってこなかったとしても、必ずしもそれで不合格にはしない。ただし、今後も何もせずに過ごしたい人を受け入れるつもりはないので、そのような人は他のゼミを志望のこと。

5. 面接・テスト等の日時・場所

申込期間中にmanabaコース「2020年度ゼミ選考」にて周知する。

6. 注意事項・履修希望者へのメッセージ

労働、教育以外の分野で個票データを用いた実証分析を行いたい者も受け入れ可能である。ただし、明らかに他のゼミのほうが向いているだろうと思われる場合には、そちらのゼミを薦める場合もある。

新任教員のため、2021年度3年生ゼミが第1期ゼミとなる予定である。そのため、指導内容、ゼミ運営に関して予定から多少変更となる可能性があるのはご了承ください。なお、2021年度は4年生ゼミの開講はしない。

1. 研究主題

公共経済学。経済政策全般。

当ゼミでは、公共部門の経済活動に関する問題をミクロ経済学の組みの中で考え、分析していくことを、最終目標とします。市場経済がもたらす環境問題や所得格差の問題から大きな政府が招く財政赤字の問題といった21世紀の日本や世界が抱える問題も公共経済学の研究対象です。

2. 指導要領

初年度（3年次）の前半は、公共経済学もしくは経済政策全般に関わるテーマをいくつか指定し、それらに関してグループごとに研究します。現実の諸問題を、公共財、外部性、所得再分配政策など公共経済学の基本テーマに結びつけて研究することで、公共経済学の理解を深めます。2020年度は、2015年に国連サミットで採択されたSDGs（持続可能な開発目標）における17の目標のうち、「貧困」、「ジェンダー」、「成長・雇用」、「陸上資源」を取り上げグループごとに研究し、随時プレゼンテーションを行っています。後半には、別のテーマを設定してディベートを行います。こうして、現実の問題に関わるテーマを深く掘り下げて研究し、4年次での卒業論文につなげていく予定です。公共経済学に対する理解を深めることはもちろんのこと、説得力のあるプレゼンテーションと積極的なディスカッションの能力を身につけることも目標の一つです。ちなみに、過去に提出された卒論のテーマは、環境問題や教育問題から年金・医療問題、さらには北海道の観光振興策からスポーツへの公的な関わりに至るまで様々です。今年度は、ふるさと納税制度や食品ロス問題などのテーマが挙がっています。

3. 指導テキスト及び参考書

特にテキストは指定しませんが、研究テーマに対応して必要な文献を入手する必要があります。

4. 選考の方法（面接・テスト等）

面接で、当ゼミへの志望理由、どんな経済問題あるいは経済理論に関心を持っているのかについて、聞かせてもらいます。基本的に集団での面接になります。テストは行いません。必ず事前に、志望理由と関心事についてまとめてきて、面接で答えられるようにしてください。

5. 面接・テスト等の日時・場所

日時：追って、学務課の掲示板でお知らせします。

場所：3号館3階312号室（ゼミ室）、あるいは、Zoom

問い合わせは、sano@res.otaru-uc.ac.jp まで。

6. 注意事項・履修希望者へのメッセージ

現在（2020年度）の3年ゼミ生は12名、4年ゼミ生は13名です。佐野ゼミは私（佐野）の海外研修による中断を除いて平成12年度から16期続いており、現3年生は18期生となります。これまでの1学年のゼミ生の数は10～13名程度でした。2021年度も大体これくらいの人数を予定しています。現在の社会に対して何らかの問題意識を持ち、積極的な姿勢でゼミに参加するような学生を歓迎します。

ゼミ紹介白書

< 佐野 ゼミ >

開講日時	木曜日 14:30 ~ 17:00
在籍人数(3年生)	12人
男女比(3年生)	8 : 4
ゼミ室	312
ゼミの鬼仏表	①仏 ・ 普通 ・ 鬼

Q. 先生はどんな人?

真面目で堅そうに見えて
意外と柔軟な先生です!
優しく説明も
分かりやすいです!

< 2019年度年間スケジュール >

12~3	(前年度)
4	輪読、プレゼン
5	お花見
6	
7	↓
8	
9	
10	ディベート、論文作成に向けて
11	
12	
1	
2	
3	↓

<ゼミの日常>

いくつかのグループに分かれて
それぞれが選んだテーマについて
準備、プレゼンをします。
先生が割とアドバイスをくれるので
やりやすいです!

<卒業生の進路>

銀行関係
公務員
証券会社 など

<自由記入欄>

公共経済学について学べるゼミです!
何気なくスルーしている経済問題についても
学べるので面白いですよ!

1. 研究主題

国際経済の現状をふまえつつ理論と政策について学びます。

2. 指導要領

(1)レポーター方式でのテキストの輪読と議論により、国際経済学と日本や世界の経済の現状について理解を深めます。

(2)ビブリオバトルやゼミ内ディベートにより、プレゼン能力と短い時間での議論の深め方、チームワーク力を培います。

3. 指導テキスト及び参考書

椋寛著『自由貿易はなぜ必要なのか』有斐閣、2020年 他

4. 選考の方法（面接・テスト等）

事前に申請書を提出して頂き、後日面接を行います。

5. 面接・テスト等の日時・場所

(1)申請書：申請書は柴山のゼミのホームページ (<http://www.otaru-uc.ac.jp/~chisato/seminar.home.html>) よりダウンロードした申請書に記入したものを柴山あてに (chisato@res.otaru-uc.ac.jp) 「柴山ゼミ応募」というタイトルをつけて添付ファイルで11月13日までに送付して下さい。

(2)面接：11月17日（火）および18日（水）の14時半から17時40分までの間にzoomにて行います。詳細は、manaba コース「2020年度ゼミ選考」掲示板で告知します。

6. 注意事項・履修希望者へのメッセージ

(1)ゼミを5回以上休んだ場合は退ゼミして頂きます。ゼミを休むときは、柴山に連絡して下さい。やむを得ずレポーターに当たっている回を休む場合は、可能な限り他の学生にレポーターを交代するとともに、柴山に連絡して下さい。

(2)長期留学によりゼミを休むことに関しては、課題提出等を条件に半期以内であれば相談に応じます。ただし、半期を超えた場合は、退ゼミして頂きます。

(3)遅刻は厳禁です。特別な事情がない限り、遅れても10分以内にして下さい。

(4)4年生と合同ゼミです。

(5)ゼミに積極的に貢献して頂ける方を歓迎します。

7. オープンゼミの日時・場所（予定） ※現在非開講のゼミは記載不要

オープンゼミに関しては、manaba コース「2020年度ゼミ選考」掲示板で告知します。

1. 研究主題

「データを使った経済や社会の分析」を研究主題とします。様々な経済社会の問題に対して、データと、統計学的、計量経済学的な分析方法を使って、解決策や提言を出せるようになることを目標とします。

2. 指導要領

3年ゼミでは、現在起きている経済現象、経済問題、関連する社会問題について、データを活用しながら勉強を進めていきます。あわせて、「計量経済学」や「統計学」の方法による、データ分析の方法を修得していきます。

4年ゼミでは、3年次で勉強したことを生かして、卒業論文を作成していきます。ただし、状況によっては、3年次から卒業論文の執筆を開始します。

3. 指導テキスト及び参考書

メンバーが決まった後にテキストを選びます。1つは、現代の日本の経済の状況について書かれているものを、もう1つは統計学、あるいは計量経済学に関連するものを指定しようかと考えています。

4. 選考の方法（面接・テスト等）

面接をします。1人当たり10分～15分程度の時間を予定しています。

5. 面接・テスト等の日時・場所

11月16日（月）～11月18日（水）の間で面接をします。小樽本校での対面による面接、あるいは、Zoomを使った面接を考えています。

6. 注意事項・履修希望者へのメッセージ

応募の手続きについて、教務課のアンケートフォームを通して当ゼミに応募しましたら、11月12日（水）

8:30までに、寺坂宛のメールで、①学生番号、学科、氏名 ②対面による面接、Zoomによる面接のどちらを希望するか? ③11月16日（月）～11月18日（水）で面接のできる時間帯はいつか?の3点を連絡してください。①～③はメールの本文に記載してください。メールのタイトルは 寺坂ゼミ応募 としてください。教員のメールアドレスは大学のHPから調べてください。折り返し、面接の日時および方法について、11月14日（金）までに連絡をします。教員からのメールを受け取れるように必要な設定をしておいてください。面倒な手続きで恐れ入りますが、面接の日時および場所の調整を速やかに進めるためにも、ご協力をお願いします。

統計学あるいは計量経済学の授業で扱った内容に対して、大きな抵抗がなければ、このゼミで卒業論文を執筆することは可能かと思えます。

1. 研究主題

ミクロ経済学に基づくデータ分析

(専門は「実証産業組織論」です。データをもとに(「実証」)、それぞれの産業で生産者や消費者がどのように行動していて、どのような政策が有効なのかを分析する(「産業組織論」)ような分野です。)

2. 指導要領

3、4年合同ゼミとして進めます。おおまかには以下のような流れを予定しています。

- ・ 3年次：教科書をもとに勉強したうえで、実際にデータ分析をやってみる
- ・ 4年次：各自の卒業論文を書く

(2020年度から新たに開講されたゼミなので、まだやり方を模索中です。参加者の希望によって内容を調整したいと思っています。)

3. 指導テキスト及び参考書

ゼミ参加者の関心に応じて決めます。

4. 選考の方法(面接・テスト等)

- ・ 面接
- ・ レポート：自己PR、データ分析をしてみたいテーマ
A4で1枚
面接前日までに「doi.naoshi.1983@gmail.com」へメールで送ってください。

5. 面接・テスト等の日時・場所

僕のゼミへの応募を決めてくれた人は、以下のQRコードから面接日時の調整をお願いします。



6. 注意事項・履修希望者へのメッセージ

- ・ 質問などは「doi.naoshi.1983@gmail.com」へメールください。
- ・ 記載内容に変更が生じた場合は、manabaコース「2020年度ゼミ選考」の掲示板で周知します。

1. 研究主題

私たちの行動（働くことや学ぶことなど）は、期せずして私たちが相互に関わりあい、社会的関係を形成するという役割を担っています。そしてこのような社会的関係の多くは経済的な側面を持っており、その分析には経済学が有用です。経済学によって我々の形成する社会について学び、同時に、ふだん語られない経済学の背景となる知識についても注目しながら、様々なことについて考えてみましょう。

2. 指導要領

1年目（3年生）に基礎的な経済学の能力を身につけて、2年目（4年生）でその応用となるような主題を選んで卒論の作成に取り組んでもらう予定です。参加者の関心に応じて、テキストややり方が変わっていくのが当ゼミの特徴です。

3. 指導テキスト及び参考書

今までさまざまなテキストを取り上げてきました。今年度はクルーグマンによる経済学の入門用テキスト（「ミクロ経済学 第2版」「マクロ経済学 第2版」東洋経済新報社）を使用していますが、来年度用のものはまだ決まっていません。毎年、参加者と相談して決めています。

4. 選考の方法（面接・テスト等）

志望理由書の選考によって行います。具体的には下記「5. 面接・テストなどの日時・場所」を参照して下さい。

また選考についての情報を、以下の URL に掲示予定ですので、必ず参照して下さい。

<http://www010.upp.so-net.ne.jp/kenakamu/>

5. 面接・テスト等の日時・場所

11月16日（月）、午前12時を締切として、「志望理由書と成績表のコピー」を「kenakamu@res.otaru-uc.ac.jp」宛にメールで提出して下さい。

志望理由書は各自が必用にして十分と考える内容・字数で自由に記述して下さい。

成績表については学務情報システムの画像を保存したものを添付して下さい。

6. 注意事項・履修希望者へのメッセージ

履修希望者へのメッセージ：端的に言うと私の講義（経済学入門1・労働経済学）に関心を持たれたような人に向いていると思います（講義を受講した人しか応募できないという意味ではありません）。

言い換えると、しっかりした経済学の体系的知識を中心にして、その背景となる歴史や社会思想、科学史と言ったことにも関心を持ちうる人ですね。実際、私のゼミテンの多くは受講生出身で、みんな楽しくやっているようです。

後期開講の私が担当する「労働経済学」の講義は、ゼミ選択の参考になるかも知れません。

ゼミ募集に関する質問がありましたら、何なりと「kenakamu@res.otaru-uc.ac.jp」までお寄せ下さい。

1. 研究主題

歴史学（西洋史）。特にヨーロッパの日常生活史。日常的な文化・生活のあり方を歴史的に考察し、個人をとりまく社会秩序の枠組と変化を考えます。人々の生活領域を扱う歴史学で、家族史や人口史、民衆文化、飲食物・病気・犯罪の社会史やグローバルヒストリー、環境史や災害史、開発や資源管理の歴史など様々な領域が考えられます。毎年テーマを決めて読む文献を選びます。例えば、今年度は、パリやウィーン、イギリスの地方都市を例に、18・19世紀前半の民衆の生活環境とそれに対する支配者の対応について文献を読んでいます。昨年度は早くから国際的商品でもあった砂糖やお茶の生産・流通・消費の歴史を取り上げました。来年度のテーマはまだ未定です。

2. 指導要領

テーマに関する古典的な学術文献を輪読し、精読します。専門書に丁寧に取り組み、背景などを調べ、叙述構成を分析し、論旨の展開を把握していきます。履修者は、毎週予習として事前に参考図書も参照しながら文献を読んでおき、輪番で文献の論旨・内容・論点を紹介・整理するレジュメを作成してそれに基づいてゼミの場で報告し、レジュメ報告者以外の人は毎週コメント・レポートを作成・提出し、ゼミの場でそれに基づき意見を発表します。それに加えて、4年次には、各自が西洋史に関するテーマを選んで文献調査を行い、卒業論文を作成し、定期的にゼミで報告した後に提出します。

3. 指導テキスト及び参考書

未定。例えば、次のような本から数冊を選びます。

- ・ 阿部謹也 『中世を旅する人々：ヨーロッパ庶民生活点描』（平凡社）
- ・ 阿部謹也 『西洋中世の男と女：聖性の呪縛の中で』（筑摩書房）
- ・ 近藤和彦 『民のモラル：近世イギリスと文化と社会』（山川出版）
- ・ 千葉治男 『義賊マンドラン：伝説と近世フランス社会』（平凡社）
- ・ 宮崎揚弘 『災害都市トゥルーズ：17世紀フランスの名望家政治』（岩波書店）
- ・ L.ダヴィドフ・C.ホール 『家族の命運：イングランド中産階級の男と女』（名古屋大学出版会）
- ・ 喜安郎 『夢と反乱のフォブル：1848年のパリの民衆運動』（山川出版）
- ・ 良知力 『向こう岸からの世界史：一つの1848年革命史論』（筑摩書房）
- ・ 高木勇夫他 『青い恐怖 白い街：コレラ流行と近代ヨーロッパ』（平凡社）
- ・ 荻野美穂 『生殖の政治学：フェミニズムとバースコントロール』（山川出版）
- ・ 平田雅博 『英語の帝国：ある島国の言語の1500年史』（講談社）

以上は暫定的な候補です。図書館の教員指定図書コーナーに置きますので、関心がある人・応募を考える人・応募したい人は、ゼミの方向性を知ってミスマッチを避けるため、同コーナーで手に取り、内容を確認した上で検討して下さい。

なお、今年度輪読した、または輪読する予定の文献は、

- ・ 角山栄（編）『路地裏の大英帝国：イギリス都市生活史』（平凡社）
- ・ 喜安朗『パリの聖月曜日：19世紀都市擾乱の舞台裏』（平凡社）
- ・ 良知力『青きドナウの乱痴気：ウィーン1848年』（平凡社）

4. 選考の方法（面接・テスト等）

提出書類の内容と面談などにより選考。次の2つの書類を電子メールで（Word形式で作成したファイルを添付）提出して下さい（締め切り：11月11日）。アドレス：shirai アトマーク res.otaru-uc.ac.jp

1)志望レポート:

名前・学番・所属学科・所属部活・出身高校・メールアドレス・ゼミ説明会に来た日を記した上で、

- ① 本学入学後に読んだ本・観た映画・行った美術館、読んでいる新聞・雑誌、
- ② 本学入学後どのような勉強に頑張ってきたのか、
- ③ 履修した基礎ゼミと歴史学関係の科目、2年前期までの取得単位総数と英語及び第2外国語の取得単位数を書いた上で、
- ④ 本学入学後どのような勉強に力をいれてきたのか、基礎ゼミでどのようなことを勉強したのか、
- ⑤ 図書館で内容確認した上記のテキスト候補本が扱うテーマを簡単に説明し（3冊、それ以上でもよい）、
- ⑥ 志望理由、このゼミでどのような勉強したいのか、
- ⑦ 卒論で扱ってみたいテーマ、を説明する。

以上、合計 1300 字程度かそれ以上。

2)文献指定箇所のレジュメ：ゼミ説明会等で個別に指定。

5. 面接・テスト等の日時・場所

・面接の日時・場所：11月19日（木）頃。詳しくは追って連絡。

6. 注意事項・履修希望者へのメッセージ

・読書好きの人は歓迎します。高校で世界史を学び、西洋史に強い関心をもっていることが望ましい。ヨーロッパの歴史と文化に関心を持ち留学したい人も歓迎します。

・ゼミの内容上学術文献をじっくり読み解いていくことが基本作業となりますので、毎週の事前の準備作業（文献の読解、参考図書の参照、レジュメやコメント・レポートの作成など）を面倒がらず怠らず、ゼミでの報告・発表を嫌がらないことが求められます。

・ゼミの性質上毎回出席することが求められ、それが成績評価の前提となります。部活・バイトなどを理由にした欠席・早退は認めません。

・本ゼミについて質問がある人は上記アドレスまで。

（第1次募集）

・第1次募集では、日常的に読書習慣があり、西洋史を学びたいこと以外特に応募資格はもうけません。上述のように、高校で世界史を学び、西洋史に強い関心をもっていること。

・所属学科は問わず。

（第2次募集）

・未定。第2次募集を行う場合には掲示を出します。

（第2次募集終了後に追加募集を行う場合）

・追加募集を行う場合には応募の資格・方法・期限について掲示を出しますが、2年前期までの取得単位総数が46単位以上で1年次に基礎ゼミを履修・単位取得していることが応募の資格に入ります。「他に入れるゼミがない」という理由で応募するのはゼミの性格・内容上適当ではなく歓迎しません。

7. オープンゼミの日時・場所（予定） ※現在非開講のゼミは記載不要

・manaba コース「2020年度ゼミ選考」の掲示板で告知します。特別な催しを行う予定はありません。

・ゼミ説明会：ミスマッチを避けるため、応募したい人や応募を検討している人、また関心がある人は、応募前にゼミ説明会に来て下さい。レジュメの見本を示し、応募したい人にはレジュメ作成箇所も指定します。日時は上記掲示板で告知します。Zoomでオンライン開催となる可能性もあります。また、日程が合わない場合は、上記アドレスにご連絡下さい（別日程を考えます）。

1. 研究主題

マクロ経済学、金融ファイナンス論、国際マクロ経済学・国際金融論

(特に、現在と将来というような異時点間の意思決定を重視した動学分析を積極的に取り組みます)

2. 指導要領

3年次：テキストの輪読などを通じて、本ゼミの研究主題に関する基礎的な知識を身につけます

4年次：卒業論文の作成に向けて、各自の個人研究の発表を行います

(卒業論文では本ゼミの研究主題と無関係なテーマを選択しても結構です)

3. 指導テキスト及び参考書

ゼミ生の希望分野・レベル等を考慮しながら、相談の上で決定します

4. 選考の方法 (面接・テスト等)

選考方法：面接+経済学関連科目の成績・履修状況 (特に応募条件①・②を重視) も考慮

応募条件：①経済学科科目「ミクロ経済学」を履修済みであり、かつ

②経済学科科目「マクロ経済学」を現在履修中であること

※もし応募条件①・②を満たしていない場合は、未履修科目に関して3年ゼミ開始時までに

履修済みである学生と同等レベルの知識を自力で習得しておくことが求められますので

必ず申込前にメールで相談して下さい

5. 面接・テスト等の日時・場所

面接 (1人当たり 10分程度の個別面接を予定・オンラインによる実施の可能性も有) の日時は

申込期間中に manaba コース「2020年度ゼミ選考」にてお知らせいたします

6. 注意事項・履修希望者へのメッセージ

履修希望者は下記要領の応募申込メールを10月28日(水)までに送信して下さい

宛先：hirose@res.otaru-uc.jp

件名 (subject) : seminar2021 (半角英数字でお願いします)

本文に記載する必須事項：

所属学科、学年、学籍番号、氏名、メールアドレス (PC・携帯のどちらでも結構です)、

志望理由、現在履修中の経済学関連科目

(その他、自己紹介・アピール等があれば、自由に書いて頂いても結構です)

※事前に相談があれば、他大学大学院 (経済学研究科) への進学希望者を対象とした

中級～上級レベルのミクロ経済学&マクロ経済学を取り扱うことも可能ですから

その場合は予めメールで相談して下さい

1. 研究主題

「自ら目標を設定し、課題を見つけ、資料を集め、研究する」

これができるようになることを主眼に置き、そのための手段として経済史に関するテーマで学生が卒業論文を書けるようになることを目標としています。卒業論文の題材については、学生の希望を優先してきており、これまでの卒業論文の課題としては、経済学科にある歴史ゼミとして、地方や中央の銀行・金融史や企業史、産業史など、自分の職業選択に関連するテーマを中心に比較的自由に認められています。

2. 指導要領

自分でテーマを設定し、プレゼンテーションを行います。その中で単に知識の獲得のみならず、また情報を発信する手段、方法、能力などを身につけることを期待しています。現在までのところ、前半は読書会、後半は発表・報告を中心にゼミナールは運営されてきていますが、この点についても学生の希望を優先する予定です。ゼミは対面授業が復活すれば、個人ないしはグループでの発表となるので、2時間程度の事前学習・発表準備が必要となります。

卒業論文の評価については、卒業論文としての型式が守られているか（不正はないか、引用方法は正しいかなど）に加えて、十分な独自性のある研究内容を含んでいるかどうかを基準としています。なお卒業論文の最低ページ数はA4で60枚です。

3. 指導テキスト及び参考書

読書会で輪読する書籍は学生と相談して決めます。教科書・参考書は指定しません。資料は、パワーポイントを用いて授業中に提示します。

4. 選考の方法（面接・テスト等）

遠隔会議システム Google Meet での面接で決めます。Gmail のメールアドレスを作成し（無料 <https://accounts.google.com/SignUp>）、そのメールから以下のメールアドレスにまで、面接希望の連絡を送ってください。11月10日（火曜日）午後2時までの間にオープンゼミ参加・入ゼミ希望のメールを、5で示されている時間の中から選んだ面接希望期日を添えて自由にお知らせください。

jin.matsuka.ezweb@gmail.com

とにかく、今年は全く予定が立たないので、臨機応変にみなさまの希望に対応します。ただ自己紹介、そして自分がいままで関心を持って来たこと（サークル・趣味など）などについて、遠隔面接で簡単に説明できるように心の準備をしておいていただければ結構です。また、今年の経済史を受講した2年生は、授業で一番面白かったトピックについて「語る」ことが望ましいですが、もちろん受講していない人の面接希望も歓迎します。

5. 面接・テスト等の日時・場所

11月19日（木曜日）午後2時半以降

11月26日（木曜日）午後2時半以降

上記の時間の都合が悪い場合には、相談に応じます。

6. 注意事項・履修希望者へのメッセージ

特に求めているのは読書が好きな人です。また希望者数が予定数を上回ったときに限って、選抜を行います。さらにスラヴ・東欧諸語の既修者（初級以上）については、語学能力を判定する目的で簡単な口頭試験を行い、その結果に応じて優先的に対応します。

1. 研究主題

家族の経済学

結婚・離婚はいつどのような要因によって行われるのか？子供をもつこと・子供の教育・親の介護に関しどのように行動するとよいのか？日々直面する家計内の問題を経済学の視点から考えてゆきます。

2. 指導要領

昨今の状況を鑑み、オンラインを予定しています。

課題図書 of 翻訳、考察、レポートを予定しています。

3. 指導テキスト及び参考書

「Household Dynamics」(2002) William A. Lord, Oxford University Press を予定

4. 選考の方法 (面接・テスト等)

書類選考

5. 面接・テスト等の日時・場所

選好方法：(手順)

ゼミ希望者は11月11日(水)12時(昼)までに

(a) 自己紹介文 (未来の展望をふくめて)

(b) ゼミで行いたい事

(c) 現在関心を持っていること

についてそれぞれ、A4 1枚以上

(d) 成績表：取得単位数がわかるもの(現在履修科目を(a)に書くこと)

をPDFファイルにして mizushima@res.otaru-uc.ac.jp 宛てに送付してください。成績表がPDFに変換出来ない場合は、画像ファイルでも受付けます。

その際に、件名に「学籍番号・氏名 (ゼミ希望)」としてください。そうでない場合は受信できない可能性があります。

1次選考の結果は、掲示にて連絡します。

6. 注意事項・履修希望者へのメッセージ

必要に応じてオンラインでのゼミを開催します。

1. 研究主題

「Deep Learning など Machine Learning の経済活動の実証分析への応用」

Deep Learning を始め Big Data 解析と人工知能の分野で最先端な様々な Machine Learning の手法を習得し、企業や個人の経済活動に関する実証分析を研究主題とする。

近年 Neural Network をベースに Deep Learning の手法が開発され、データ分析や人工知能の分野で他の伝統的な統計学の手法と比べて圧倒的な勢いで発展し、独占的な地位を占めそうとしている。同時に分析対象の特性に合わせて Random Forest や Boosting などの Machine Learning の方法も開発されている。本ゼミでこれらの方法の原理を理解し、Python によるプログラミングの技能を身につけ、実際のデータを用いて経済活動やビジネス活動に関する知見を見出すことにより、時代の最先端を覗く。

2. 指導要領

ゼミ生の準備知識のレベルを考慮して以下の要領で指導を行う。

3 年次前半においては、Deep Learning などの Machine Learning の手法に関するテキストを輪読し、プログラミング言語 Python による実装方法を習う。

3 年次後半では、ゼミ生各自関心を持つテーマを見つけ、プロジェクトグループを立ち上げ、データを収集し、実証分析を行う。

4 年次においては、後輩の 3 年生の活動に参加しながら、研究成果をまとめ卒論を作成して行く。卒論の作成に当っては個別指導を行う。

3. 指導テキスト及び参考書

ゼミ活動の中で必要に応じて指定する。

4. 選考の方法（面接・テスト等）

統計学や数理統計学など統計関連科目一つとプログラミングの内容を含む情報処理関連科目を一つ以上が履修済みか履修中であることを条件とする。面接で選考を行う。面接の時に当ゼミを志望する理由、ゼミの中で取り組んでいきたいこと、ゼミに対する期待、プログラミングに関する知識及び自分の趣味、得意なことなどを記入した自己紹介文を事前に作成して必ず提出してください。

5. 面接・テスト等の日時・場所

面接希望者は事前に qliu@res.otaru-uc.ac.jp まで連絡した上で、11 月 19 日（木曜日）13 時 00 分か 15 時 00 分の間自己紹介文を持参して研究棟 525 室に来てください。都合の悪い希望者に関しては、時間を調整する。受け入れ予定人数は 8 人以下とする。危機対策本部から実施方針が示され、記載内容に変更が生じた場合は、manaba コース「2020 年度ゼミ選考」の掲示板で周知する。

6. 注意事項・履修希望者へのメッセージ

自ら積極的に自己啓発して目標を持ってゼミで能動的に勉強していくことのできる希望者が大歓迎。ゼミの活動の一環として国際交流を積極的に取り組んで行く。

商 学 科

Commerce

商学科 開講ゼミナール一覧

石川 業.....	30	金 鎔基.....	40
伊藤 一	32	近藤 公彦.....	41
猪口 純路.....	34	坂柳 明.....	43
乙政 佐吉.....	36	高田 聡.....	45
加賀田 和弘.....	37	中浜 隆.....	46
加藤 敬太.....	39	プラート・カロラス	47

1. 研究主題

財務分析・企業価値評価（とくに「企業の定性分析」と「会計の理論・実証」を重視する企業評価）

2. 指導要領

財務会計の知識をもって企業の良し悪しを見分けることができたら素晴らしいですが、そのために ROA や ROE、自己資本比率といった財務指標を適切に理解したり計算することは、実はそれほど容易ではありません（指標の意味と使い方がずれるのはめずらしくない。お金で幸せを測れないときみたいに）。関連して、企業価値というものを有意義なカタチで理解・計算することは、それ以上の難題です（機械的な財務分析と比べてはるかにむずかしい）。

しかし、というよりも、だからこそ、経営学・商学の分野でも言及される企業価値（計算）を含めた、会計数値にもとづく企業評価には、大学でじっくりと時間をかけて学ぶ意味があります。みなさん自身の深い差別化につなげやすいからです。どちらかといえばとっつきやすい経営学・商学の領域と比較して、会計学・財務論の領域や財務指標の使い方に専門的に通じている人材は、民間／行政という分野の違いを問わず、需要のわりに希少であると聞きます。

このゼミではさまざまな財務指標について、それらを構成する要素の次元から体系的に学び、学術（的証拠）に裏打ちされた分析のセンスを修得することが目標とされます。財務分析・企業価値評価の厳格な実践を予定しながら（簿記・）会計を学ぶことにより、資格試験向けの勉強とは別の次元に進んでみましょう。

ちなみに、上記のような目標に向けた取組みで多少とも個性的と思うのは、定量的な財務分析・企業価値評価を行うとき、企業もつ定性的な特徴についての（経営学・商学で学ぶはずの）分析も、かなりの程度まで重視することです。それが、企業評価のあり方をユニークなカタチで高めてくれます。

なお、以上のような専門的な学びが重視される一方、その背景では一貫して、丁寧で実践的なロジック（こうだからこうなる、といった推論規則）を適切・有意義に使いこなす能力の向上が最も強く意識されます。どれだけよい材料や道具（情報や知識）を揃えても、それらを使いきる腕（ロジック）がなければ能力の幅・深さ・寿命は拡大しないからです。ロジックの向上には、それを意識して丁寧に読み、聞き、考え、話し、書く、という地道な鍛錬が決め手となります。それらの基礎能力が最重視されるゆえんです。

3. 指導テキスト及び参考書

履修者のみなさんの意向等をふまえながら決めます。

4. 選考の方法（面接・テスト等）

[レポートの提出] と [教員との面接] をお願いします。

レポートではまず、上記の研究主題・指導要領に関連する範囲で、①これまで学んだこと、②これから学びたいことをまとめ、③商大で簿記・会計を学ぶ意義はなにかについて論じてみてください。全体の分量は A4 版で 2 枚程度までを目安とします。それ以外の形式はとくに定めませんが、文字数よりも内容・読みやすさを意識しましょう。

5. 面接・テスト等の日時・場所

レポートは 11 月 17 日（火）23 時 59 分までに提出してください。提出先は教員宛てのメール・アドレス（ishikawa@res.otaru-uc.ac.jp）を予定しています（manaba 等で変更の告知がなければ、その予定どおりをお願いします。以下同じ）。

面接は 11 月 18 日（水）の都合のあう時間帯に、いまのところ Zoom ミーティングで行わせていただく予定です。具体的な時間帯や方法は、レポート提出時のメールに返信するカタチで個別に調整します。なお、同日でどうしても都合があわない場合は翌日以降に対応しますので、レポートを提出するときにご事情等をお伝えください。

6. 注意事項・履修希望者へのメッセージ

履修を考えていただける場合、私から学生さんに期待するのは、その時点での簿記・会計の能力よりも履修前後で自分を高めようとする姿勢です。研究主題が多少とも高度である以上、たぶんハード・ワークが必要になります（授業外での準備（予習）には努力が必要で、ゼミが「延長戦」に突入することもめずらしくないかも）。そのかわり、みなさんの苦勞を成就させて才能を引き出すことについては教員が責任を負いますので、ゼミ生は少なくとも前向きでいてほしいというのが私からのお願いです。インゼミや学外の学習イベント、また打ち上げや合宿等でも、いっしょにたのしめる日がくるとよいです。

開講日時	木曜日 14:30 ~ 17:00 ごろ
在籍人数(3年生)	12人
男女比(3年生)	1:1
ゼミ室	201
ゼミの鬼仏表	仏・普通・鬼

Q. 先生はどんな人?

- * 学生想いで、1人1人のことをよく考えてくださる
- * 対応がすごく丁寧!!
- * アドバイスが的確!!
- * どんなことも親身になって一緒に考えてくださる

< 2020年度年間スケジュール >

12~3	(前年度)
4	テキスト輪読
5	↓
6	
7	
8	
9	(ゼミ合宿)
10	日経ストックリーグ参加
11	↓
12	
1	新歓
2	
3	

バチカル株式投資システムを用いて、経済・株式投資について学習します!

<ゼミの日常>

輪読は担当者がレジュメの作成(テキストの要約)、発表を行い、それをもとに全員でディスカッションをします。2人1組で担当をするのでとても心強いぞす!
定期的にオンライン打ち合わせをしています ☺

<卒業生の進路>

金融系(日銀, 政府関係, Xかバンク, 地銀・信金, 各種保険会社等)に限らず業界は多様。
公務員なら国税専門官・財務専門官等。
税理士試験(2科目)合格者2名(在学時)、
公認会計士試験(論文式)合格者4名(ほぼ在学時2名, リカレント1名, 大学院経由1名)

<自由記入欄>

財務分析・企業価値評価について研究しているゼミです。扱う内容は決して簡単なものではありませんが、ゼミ生同士、また先生と共に意見・疑問点を共有し合い、理解を深めています。

私たちの学年は、ゼミ加入の段階で、簿記資格保有者、財務会計論を履修済みのゼミ生はそれぞれ半分くらいでした! 現段階で会計に関する知識がなくても、

これから一緒に頑張りたい方もぜひご検討ください!

合同説明会(9/29 14:40~17:00)に参加します。オープンゼミも行う予定なので興味のある方はぜひ!

1. 研究主題

マーケティングおよび流通に関する基礎的手法の習得
時事経済問題に関する理解の向上
企業や非営利組織のマーケティング戦略や流通企業の戦略について研究。

2. 指導要領

3年次：

基本文献の輪読により基礎的な知識の習得
事例となる資料を利用しグループワークによる意見集約と報告
例 医療・福祉施設の顧客満足度調査研究
地域医療や地域活性化・創生の事例研究。等

4年次：

外部の企業や施設（病院）を対象として調査研究

3. 指導テキスト及び参考書

適宜提示

4. 選考の方法（面接・テスト等）

主に面接、希望者が多い時はテストを実施

5. 面接・テスト等の日時・場所

後日掲示

manaba で掲示することもある。

6. 注意事項・履修希望者へのメッセージ

興味のある学生はトライを。

公務員希望の学生も

開講日時	木曜日 14:30~16:00
在籍人数(3年生)	22人
男女比(3年生)	13:9
ゼミ室	423 (3号館4階)
ゼミの鬼仏表	① 仏 ・ 普通 ・ 鬼

Q. 先生はどんな人？

- ・優しい
- ・博識
- ・落ち着いている
- ・ゴルフが趣味

<ゼミの日常>

< 2020年度年間スケジュール >

12~3	(前年度)
4	輪読
5	新歓
6	
7	
8	
9	
10	データ分析
11	
12	
1	
2	
3	

テキストを輪読し、その内容について質問しあう事が主な活動です。また、それに加えてケーススタディやデータ分析などの実践的な活動も交えながら、楽しくマーケティングについて学んでいます。

<卒業生の進路>

- ・市役所
- ・北海経済産業局
- ・東京海上日動
- ・北海道ガス

など様々です。

<自由記入欄>

教授も含めて仲が良く、和気あいあいとした雰囲気、楽しくマーケティングを学ぶ事が出来ます。少しでも興味がある方は是非！

1. 研究主題- マーケティングの基礎理論修得と複数のプロジェクトを通じた実践-

アイドルのオーディション企画番組、Youtube やインスタでの広告、次々に登場する新商品の開発、同じ商品なのにドラッグストアとコンビニで異なる価格、どれも身近な事例ですが、その背後にはマーケティング論が存在しています。猪口ゼミでは、マーケティングに関する基礎理論を学び、その知識をゲストハウス運営および複数のプロジェクトにおいて活用することで、現実の問題解決にチャレンジします。さらに、その現場に根差した問題意識を基に、卒業論文では理論的な研究にチャレンジします。

【参考：これまでの主な共同プロジェクト先】スターバックス・コーヒー・ジャパン、味の素、ホクレン、KOKUYO

2. 指導要領-テキスト輪読や卒業研究と並行してプロジェクトを実施-

詳細はゼミ生の希望を最大限取り入れられるよう相談して決定しますが、凡そ下記の通りです。

3年 前期 テキスト輪読を通じた基礎理論とマーケティング・リサーチに関する基礎知識の修得

*ゲストハウス「順風満帆」運営（新サービス開発、プロモーション、組織運営等、実質的な経営）

3年 後期 企業等との共同プロジェクトの実施/学術論文輪読/その他

*プロジェクト内容は受講者と相談の上で決定するが、企業の新製品開発案、マーケティング戦略案、地域の問題解決案の提案などが有力候補

*学術論文はゲストハウス経営や企業とのプロジェクトに関連したものを随時チョイス予定

*「その他」は状況に応じて、学生と相談の上で前期に不足を感じた領域について、みんなで学びます

4年 前期 企業等の調査・研究およびそれに基づく卒業論文テーマの策定

*ゲストハウス運営を継続しつつ、そこから得られた問題意識をテーマとすることを推奨

4年 後期 卒業論文作成の指導

*ゲストハウス、プロジェクト、インタビュー、アンケート調査等、オリジナル・データ収集が条件

3. 指導テキスト及び参考書

高嶋克義・桑原秀史（2008）『現代マーケティング論』有斐閣アルマ

*マーケティング・リサーチに関するテキストも予定。

*その他、プロジェクトに応じて、歴史、文化、マンガ等々、多読が必要となると思っておくこと。

4. 選考の方法（面接・テスト等）

書類および面接による選考を行います。

10月30日（金）24：00までに、inojun-u@res.otaru-uc.ac.jp へ『ゼミを志望』というタイトルのメールに、以下に関する PDF ファイルを添付してください。様式は自由ですが、読み手に対する配慮や工夫、論理の明快さを評価します。

1) 自己紹介（様式自由、字数、図表、写真等、制限なし）

2) 志望理由（様式自由、字数、図表、写真等、制限なし）

3) 「商大生が小樽で運営するゲストハウスだからできるサービスとその意義」について A4 用紙 1 枚～2 枚（様式自由、ただし図表、写真等込み）にまとめた書類

5. 面接・テスト等の日時・場所

11月2日（月）9:00～8日（日）19:00の間に、ZOOMによる面接を行います。日程調整は改めて行いますが、なるべく予定を開けておいてください。応募人数によっては ZOOM による集団面接とします。

6. 注意事項・履修希望者へのメッセージ

勉強、研究、実践、遊び、どれも忙しいゼミになると思います。学生がリアルなビジネス経験を積める、理論と現場を自分たちで往復できるチャンスのあるゼミはそう多くありません。良く学び、良く遊ぶ、仲間と共に自身をトレーニングしたい、成長意欲の高い方々を待っています！！

開講日時	+αで伸びることもあります 木曜日 14:30~17:40	
在籍人数(3年生)	22人	
男女比(3年生)	13:9	
ゼミ室	254	
ゼミの鬼仏表	仏 ・ 普通 ・ (鬼)	

<2020 年度年間スケジュール>

12-3	(前年度)
4	テキスト 輪読 ゲストハウス 休業
5	↓ Zoom新観 <small>小島</small>
6	↓ 小樽PR動画作成
7	7/19~ 休業再開 データ分析班発足
8	↓ 宿中パン で営業 ゼミ生の成長を支援 するプロジェクトの発動
9	(夏休み中ゲストハウスの経営・運営は継続)
10	論文 GitHub 課題発表 78ゲスト 課題発表
11	↓ データ収集 データ分析
12	↓ プレゼン
1	↓
2	↓
3	↓

<自由記入欄>

猪口ゼミはG社(ゲストハウス)を経営・運営しています。学んだ知識をすぐに応用・実践できる珍しいゼミです。でもG社だけではありません！テキストや論文からマーケティングを学んだり、企業とコラボしたプロジェクトも行います。内容はかなり盛りだくさんですがその分得るものもたくさんあります。マーケティングを学びたい！ゼミにかも入りたい！成長したい！と思う人にピッタリのゼミです。ゼミ生も仲良しで、7ヶ月楽しく学べます。まずは気軽にお話だけでも聞きたいです！！

Q. 先生はどんな人？

ゼミ生の意見を
ちゃんと聞いてくれる
アドバイスの神
飲み会出席率
100%
子供にXOXOなお父さん
1ヶ月が良い！！

<ゼミの日常>

(4講) ゲストハウス経営・運営に関する話し合い
(5講) 輪読でマーケティングを勉強
週一で部署のリーダーが会議

<卒業生の進路>

- ・ 大林組
- ・ パーソル
- ・ 川崎重工業
- ・ 凸版印刷
- ・ 穴花亭
- ・ 損保ジャパン
- ・ 東京海上日動
- ・ 他...

1. 研究主題

管理会計（原価計算およびコストマネジメントを含む）が研究の対象となります。ケース、雑誌・新聞記事、インターネットのようになささまざまな媒体から獲得できる資料も使用しながら、企業経営において管理会計がどのような働きをしているのかについて学んでいきます。なお、研究対象は企業組織が基本となりますが、役所や病院のような非営利組織、アルバイト先の職場、クラブ・ゼミ、家族なども「組織」の1つです。本ゼミでは、企業組織だけでなく自らの身近な組織についても、管理会計の視点から考えていくことを主題としています。

2. 指導要領

初年度においては、管理会計に関する基本知識を身につけるため、テキストを輪読します。輪読の際には、事前に報告者を決めて発表してもらいます。発表を通じて、プレゼンテーションの方法やレポートの書き方、あるいは、議論の仕方などを学びます。第2年度からは、各自の研究テーマについて報告してもらいます。研究報告・討論を順次積み重ね、コミュニケーション能力および問題発見・問題解決能力を高めながら、卒業論文を作成していきます。

3. 指導テキスト及び参考書

テキスト・参考書については開講時に指示します。

4. 選考の方法（面接・テスト等）

志望理由書と面接によって選考を行います。A4用紙に、①学籍番号、②氏名、③所属学科、④メールアドレス（PC・携帯）、⑤志望動機、⑥その他（趣味、特技、ゼミでやってみたいこと、最近不思議に思っていること等）を記入の上、写真を貼付して（デジタル可）、11月17日（火）までに乙政研究室（1号館422号室）前メールボックスに提出してください。様式・枚数は自由です。

5. 面接・テスト等の日時・場所

11月19日（木）14時半より面接を行う予定です（詳細は後日掲示）。志望理由書をもとに、希望者各位に自己PRをしてもらい、質疑応答を行います。面接会場は、乙政ゼミ室（3号館419号室）です。

6. 注意事項・履修希望者へのメッセージ

知的な好奇心あるいは知的な功名心旺盛な方を募集します。ゼミナールは、特段の事情がない限り、毎回出席することを求めますが、ゼミナール活動を通じて毎回新たな発見ができるよう努めていきたいと思っています。

1. 研究主題

地域活性化、少子高齢化、人口減少、環境問題、ワークライフバランス、ジェンダー問題等のいわゆる企業の社会的責任（CSR、CSV）や企業不祥事など現代社会において関心の高まっている「企業と社会」をめぐる様々な課題に対し、企業経営（経営学）の観点からどのように対応すべきかについて具体的・理論的・実証的に研究する。

2. 指導要領

3年次 前期（7月まで）：文献研究、グループ研究発表を通じた基本的な知識の習得。

下記インゼミに向けてのグループ研究課題の設定への助言。

研究を進めていく上で必要な財務分析、統計解析手法の習得。

後期（8月以降）：他大学（慶応・専修・関学・立命館アジア太平洋大学等）とのインゼミ（研究討論会：11月上旬開催予定）に向けてのグループワークおよびそのブラッシュアップ。11月以降は研究指導の補足、卒業論文へ向けての指導など。

注意 8月下旬開催予定の日韓大学生学術シンポジウム（於福岡）、11月上旬開催予定の他大学とのインゼミ（於関西学院大学を予定）への参加は必須。

4年次 卒業論文の中間報告と討論及び助言。

3. 指導テキスト及び参考書

追って指示する。

4. 選考の方法（面接・テスト等）

ゼミ志望理由書及び面接による。（応募者多数の場合、2年次直近までの単位取得状況並びに学業成績に基づいた選考を行う。また、新型コロナウイルス感染状況によっては面接を実施しない場合がある。）

5. 面接・テスト等の日時・場所

追って manaba 上にてアナウンスを行う。

6. 注意事項・履修希望者へのメッセージ

ゼミはあくまで学生主体であり、学生の自主性・自律性を尊重するが、ゼミのモットーとして「ゼミ生同士は信頼関係が一生続く仲間である。」と「勉強も遊びも何でも一生懸命。」の2つを掲げている。当ゼミ生には上記モットーを実現するために、あらゆる場面において、それぞれが得意な形でゼミへの自発的かつ積極的な貢献が求められる。同時に担当者である私も、学習面のみならず、人間関係の構築、ゼミ生同士の相互交流、自由かつ快活な雰囲気作りなどゼミ活性化のためのあらゆる努力を惜しまないつもりである。

当ゼミのモットーに共感し、かつ上に挙げた「研究主題」に真摯に取り組む意思と意欲と能力を有する学生の志望を歓迎する。

開講日時	木曜日 14:30 ~ 17:00
在籍人数(3年生)	17人
男女比(3年生)	4:13
ゼミ室	107
ゼミの鬼仏表	仏・普通・鬼

Q. 先生はどんな人？

- ・関西出身
- ・家族思い！
- ・とても優しい！！
- ・写真好き
(カメラ持っています)

<ゼミの日常>

< 2020 年度年間スケジュール >

12~3	(前年度)
4	
5	
6	
7	
8	日韓大学生の学術シンポジウム
9	
10	他大学合同シンポジウム
11	
12	
1	
2	
3	

- ・文献輪読
- ・統計分析
- ・財務分析
- ・合同シンポジウムに向けた研究
- ・飲み会など

<卒業生の進路>

北海道銀行,北洋銀行,北陸銀行,三井住友銀行,
三井住友信託銀行,日本生命,日本旅行,マイナビ,
日本政策投資銀行,損保ジャパン,札幌市役所,
恵庭市役所,小樽市役所,大東建託,ホクレン,
トヨタ自動車北海道,旭化成,三菱電機,
KDDI,NTT データ,神戸鉄工所など

<自由記入欄>

CSR・CSVについて研究しているゼミです。8月は日韓大学生の学術シンポジウム、10月には他大学合同シンポジウムに参加します。9月29日開催のゼミ合同説明会(オンライン)にも参加を予定しています。企業と社会に関わる問題に興味がある方、お待ちしております！！

1. 研究主題

経営学・経営組織論・経営戦略論

2. 指導要領

経営学領域において、文献の輪読を行い専門的な知識を習得します。そのうえで、各自の興味関心に基づいた問題設定を行い卒業論文の執筆を指導します。

3. 指導テキスト及び参考書

輪読する文献は、開講後に議論の上で決定します。

4. 選考の方法（面接・テスト等）

志望理由書と面接を予定しています。

5. 面接・テスト等の日時・場所

詳細が決定次第、掲示板にて連絡します。

6. 注意事項・履修希望者へのメッセージ

特になし。

教員名 金 鎔基

1. 研究主題 <Global Human Resource Management>

グローバリゼーションの時代といわれて久しい。一昔前にも、人々はモノやカネの動きを介して、間接的ではあるがグローバルにつながっていた。しかし今や、言語や文化、出身地域や国の異なる人々が直接向き合ってくる場面がかつてなく増えている。この人的多様性を活かす力量があるかどうか、個人や企業、さらに地域や国の繁栄にとってますます重要になっている。歴史がくり返し見せてくれているように、多様性の増加によって、不寛容や差別、排除や葛藤が増幅されることも多い。一方、多様性をプラスに活かすための「知識」や「知恵」も着実に開発されてきた。本ゼミでは、人材管理の理論、CQ（文化知能）論などをふまえて、こうした問題への理解を深めていく。

2. 指導要領

以下の1)を主とし、場合によって2)を行う。

1) 文献輪読型： 指定された文献を読み、輪番で報告者を決め、ゼミの場で報告、ディスカッションを行う。

2) 課題解決型： 指定された課題に対し、各自で情報や知識を集め報告書をまとめ、ゼミで報告する。

※一部例外を除いて、テキストは英語文献。英語によるプレゼン(報告)を原則とする。ただし、ディスカッションにどれだけ英語を使用するかは、メンバーの語学レベルに応じて決める。メンバーには英語力アップを目指してほしい。

3. 指導テキスト及び参考書

David Livemore (2015), Leading with Cultural Intelligence など。

初日にその他文献を紹介する。

4. 選考の方法（面接・テスト等）

面接で決める。面接前日まで、以下の二点を email (kim@res.otaru-uc.ac.jp) に添付ファイル（ファイル形式は、MS Word、写真・画像、pdf など）にして送付すること。

①ゼミ志望理由書： A4紙1～2枚、氏名、学番、連絡先（電話、e-mail）、ゼミ志望理由を書く

②成績証明書（写しでも可）

5. 面接・テスト等の日時・場所

ZOOMによるオンライン面接を行う。応募書類のメール送付のとき、下記日時のうち一つを明記すること。その返信メールに、正確な面接時間と ZOOM アクセスリンクを送る。

日時：11月17日(火) 12:00～

11月19日(木) 12:00～

※皆さんの都合を見て対面面接に切り替える可能性、また上記の時間帯に都合のつかない応募者もいるかも知れないので、必ず事前にメールで相談すること。

参考：金の研究室（1号館519号室）

6. 注意事項・履修希望者へのメッセージ

英語力については前記2. 指導要綱を見よ。今後の状況次第だが、対面授業と ZOOM によるオンライン授業を柔軟に使い分けられればと思っている。

7. オープンゼミの日時・場所（予定） ※夜間主コースは記載不要

オープンゼミの情報は、manaba コース「2020年度ゼミ選考」の掲示板で知らせる。

教員名 近藤 公彦

1. 研究主題

このゼミの主題は、大きく2つあります。①学生ベンチャー、株式会社 i-vacs (アイボックス) の企画・運営を行います。②製品開発、ブランド、価格、流通チャネル、プロモーション、営業などマーケティングに関するケース (事例) 研究を行い、実践的な分析・戦略立案能力を養います。また、確定ではありませんが、実際のマーケティング戦略立案を中心とした企業との共同研究 (これまでの実績: ネスレ日本、東洋水産、アサヒビール) や企業の課題解決をテーマとした学生ビッチ・コンテストへの参加の可能性があります。さらに、経済学科・江頭ゼミ、社会情報学科・大津ゼミ、沼澤ゼミとのディベート大会を予定しています。

2. 指導要領

- ①ゼミ生は(株)i-vacs の社長、役員、社員として会社の運営を行います。これに関わる活動すべてが経営・マーケティングの実践です。
- ②ケース分析では、ケース資料を読んで問題点・課題を分析し、それを克服する戦略案を用意し、グループ・ディスカッションを行います。いずれの場合も、教員はあくまでファシリテーターであり、ゼミ生の主体的な参加が不可欠です。なお会社組織運営のため、ゼミは4年生との合同となります。

3. 指導テキスト及び参考書

ケース・メソッド資料、ならびにビジネス雑誌のケース資料

4. 選考の方法 (面接・テスト等)

対面を前提に、面接を行いますので、次の要領で資料を提出してください。

- ① 標準的な履歴書の様式 (ネット上にダウンロード可能な様式が多数あり) に沿ってプロフィールと自己紹介を行い (※ゼミ確定時に名前と顔を一致させるため、写真添付のこと) 、
- ② 別紙でゼミの志望理由を A4・2 ページ (表紙含まず) にまとめてください。
- ③ これらの資料を 11 月 16 日 (月)、12:00 までに下記の近藤のアドレスに送付してください。 kondo@res.otaru-uc.ac.jp

5. 面接・テスト等の日時・場所

日時 11月26日(木) 15:00~

具体的な面接のスケジュールと面接場所については、別途、manaba で案内します。

なお、どうしても都合の悪い学生は、上記のアドレスにご連絡ください。

6. 注意事項・履修希望者へのメッセージ

図らずも「ガチゼミ」と呼ばれていますが、本当にそんなことはありません。ゼミ活動はゼミ生の自主性・積極性に任されています。勉学に、会社運営に、企業との共同研究に、各種ゼミ行事にと、決して楽なゼミではありませんが、その分、ゼミ活動を通じて大きく成長できると確信しています。また(株)i-vacs という実際の会社の企画・運営に携わることは、学問とビジネスを結びつける非常に貴重な機会となります。なお、近藤ゼミは会社組織であり、会社運営を円滑に行うため内定者は決定後、すぐにゼミ活動に参加していただくこととなります。密度の濃いゼミになりますが、その関係は卒業後も続く仲の良さにもつながります (卒業生によるゼミ関東支部、関西支部あり)。気力、知力、体力のみなざるゼミ生の皆さんと共に過ごせる時間を楽しみにしています。

※今年度は、コロナ禍により、ゼミでも NOMIPON をはじめ、多くのイベントが中止になりました。来年度は、可能なかぎり、これまでのゼミの内容に戻していきたいと考えています。

7. オープンゼミの日時・場所 (予定) ※夜間主コースは記載不要

- ・ 10月1日(木)、14:30~、場所と内容は、後日、manaba に掲示
- ・ 10月8日(木)、14:30~、同上
- ・ 10月15日(木)、14:30~、同上
- ・ 10月22日(木)、14:30~ 同上
- ・ 10月29日(木)、14:30~ 同上
- ・ 11月5日(木)、14:30~ 同上

開講日時

木曜日 14:30 ~ 17:00

在籍人数(3年生) 15人

男女比(3年生) 11:4

ゼミ室 3号館 113

(活動場所:5号館 AL 教室)

ゼミの鬼仏表

仏 ・ 普通 ・ 鬼

Q. 先生はどんな人?



- ・副学長
- ・京都出身
- ・面白い
- ・ゼミ生思い
- ・社交的
- ・カラオケ、飲み会大好き♪

< 2019 年度年間スケジュール >

12~3	(前年度)
4	お花見
5	4大ゼミディベート大会①
6	緑丘祭出典
7	ディベート大会②
8	NOMIPON!! 開催
9	ゼミ合宿
10	ディベート大会③
11	新ゼミ生歓迎会
12	ディベート大会④
1	新年会
2	追いコン、株主総会、大運動会
3	卒コン

<ゼミの日常>

Part① ケース分析

前半はグループで企業の分析をやり
後半は発表、教授も交えて分析をします

Part② 部署会議

営業、企画、広報、経理に分かれて、
NOMIPON!!についての会議を行います

~卒業生の進路~

Microsoft、HP、サッポロビール、じゃらん
コカ・コーラ、サントリー、味の素、北ガス
明治安田生命、三井物産、竹中工務店、カゴメ
三井住友海上、富士フィルム、日本生命
リクルート、アクセンチュア、野村総合研究所
アサヒ飲料、第一生命、デロイトトーマツ
住友商事、LIXIL、清水建設、花王、ホクレン

<自由記入欄>

近藤ゼミでは、マーケティングについて研究しています。

学びだけでなく、それを社会で実践することができるのは近藤ゼミの強みです。

本気で学び、本気で遊ぶ。そんなゼミを一緒に作りましょう!

ゼミ合同説明会でお待ちしております!

1. 研究主題

財務会計論及び監査論。会計・監査分野の研究を行う上で、制度や文献の議論の内容を理解し、広い意味でのそのような先行研究の議論の前提や背景を理解することは重要であるが、文献や制度による思考の呪縛を受けるのは、何か新しいものを生み出す上では障害になる。文献や制度は、何が問題になっているのかを把握するための素材であり、自らが構築した理論によって分析される対象ではあるが、「与件」ではない。現実の制度や文献で想定されている世界を尊重しながら、特定の状況に直面した監査人の対応や、特定の場面での会計処理が、論理的にはどうなるのかを自分の頭でよく考えることや、そもそも議論になっている状況が十分網羅されているのかについての調査を行うことが、研究の第一歩であり、そうした地道な作業を経て形成された論理体系が、既存の考えに強固な理論的基盤を与え、また、新しい知見及びそれに基づく制度を生み出す契機になる。この研究指導では、以上のような一連の営みを可能にするための思考訓練に重点を置きます。総じてこのゼミは、分析力を養うためのゼミです。

2. 指導要領

表面的な知識による「言い合い」を避けるため、まず、指定する財務会計又は監査論のテキストとの関係で、いくつかの論点を解説する。このような解説を何回か行うことによって、3年生の個人研究、及び4年生の卒業論文の執筆が円滑に進み、堅固な理論に基づいて自身の見解を述べることができるようになる。

これまでの研究指導では、比較的わかりやすいところでは、(1)：能勢電鉄株式会社の2007年個別財務諸表の「継続企業の前提に関する注記」に示されている、「当社は、当社の経営再建計画に基づき、平成19年度中に親会社である阪急電鉄株式会社からの経営支援策として、債務免除益（特別利益）を計上することを想定し、当社の税務上の繰越欠損金に対する将来の回収可能額として特別利益額に相当する税効果額を繰延税金資産（投資その他の資産）へ含めて計上していた。しかし、その経営支援策が第三者割当増資の引受けによるものと確定したことにより、当事業年度において、特別利益額に相当する繰延税金資産（投資その他の資産）を取り崩し、法人税等調整額を同額計上した」との記述（傍線筆者）に関して、①：「当社は「債務免除益」を計上することを想定していたが、②：実際には、経営支援策として「第三者割当増資の引受け」が行われ、「当社は、「繰延税金資産」を取り崩したが、このような会計処理は、研究上の議論として支持できるのか、支持できるとしたら、それはどのような状況を想定した場合なのか、という問題を議論した。

また、同じくわかりやすいところでは、(2)：①：例えば、「～世界大会準備引当金」のように、「引当金」の計上要件を満たしているかどうかをそもそも疑わしい状況が問題にされ、「引当金」で対処する状況と、「積立金」で対処する状況を明確に区別する考えが受け入れられてきたが、引当金の計上要件が満たされていることについては、監査人も同意している状況において、当期の期間利益計算上、「費用」又は「損失」として認識されることは別に、引当金の計上要件が満たされている状況で、なおかつ経営者が「積立金」を認識することを合理的に妨げる制度なり理論はあるのか、もしないとしたら、「～引当金」を認識する根拠としての、原因発生主義や費用収益対応の原則等の合理性を個別に検討することにそもそも意味はあるのか、「～引当金」を認識する根拠として、全ての引当金の計上根拠として、包括的な説明が可能であるのか、という問題を議論した。

具体的にどのような議論が展開されたかについて、関心のある学生さんは、VFG03002@nifty.ne.jp まで連絡頂ければ、と思います。

3. 指導テキスト及び参考書

追って指示する。なお、『会計法規集』（研究指導開始時点で最新のもの）を用意しておくこと。

4. 選考の方法（面接・テスト等）

面接と志望理由書によって選考します。①：自己紹介、②：志望動機、及び③：簿記原理又は応用簿記の授業で興味深かったことを含めた志望理由書（A4で1～3枚（900字以上1,200字以内））を、11月1日（日）18：00までに、VFG03002@nifty.ne.jp宛てに、添付ファイルで提出してください。志望理由書を見た後、面接の日時及び場所を伝えます。

5. 面接・テスト等の日時・場所

面接日時：第1次選考期間内に実施する。面接時間：10～15分程度。面接場所：ゼミ室（115室）。

6. 注意事項・履修希望者へのメッセージ

簿記原理の単位及び応用簿記の単位は修得済みであること、また、財務会計論は履修中であること、及び簿記原理及び応用簿記の成績は、良い方が大変望ましいです。会計に関する基礎知識がある人（例えば、公認会計士試験の勉強を始めている人。しかし、一定の会計に関する基礎知識があればよいので、公認会計士試験の勉強をしていることを応募の条件にはしません。）にとっては、研究指導が円滑に進むと思います。

議論の相手が納得する前提を尊重しないまま、常に自身が主導権を握って、相手を黙らせようとする「議論」をよく耳にします。このゼミでは、そうした理不尽かつ意味のない「議論」ではなく、先に提示されている主張が合理的であるかどうかを、その主張が想定する世界（議論の土俵）に入り、その主張が成立するかどうかを十分吟味した上で、その主張が不合理であれば、新たな主張を行う訓練をします。大学院への進学を考えている人は、面接時にその旨を伝えて下さい。

なお、例年のゼミ生のお話ですと、担当教員は普通に話しているつもりですが、ゼミ生にとってはかなり「頭を使う」ようです。何が話題になっているか、くらいの基礎知識は必須ということか、と思っています。

1. 研究主題

大まかには経営史およびアメリカ近現代史。経営史についてはとくに、仕事観（史）など、企業と人間のかかわりを中心とする分析に重きをおきたい。アメリカ近現代史については社会経済史・経営史を軸にしつつ包括的な検討も視野に入れたい。なお、もともと経営史学と米国（史）のつながりは強い。

2. 指導要領

3年次：テキストの輪読・討論が主体（活発な討議のなかで問題関心と分析力を高めていただきたい。）なおゼミナリスト各自による個別テーマ報告の機会もなるだけ多く持ちたい。

4年次：輪読・討論および論文の作成（ゼミナリスト間の切磋琢磨を通じて論文作成をはかっていただきたい。）

3. 指導テキスト及び参考書

未定。ただし、輪読文献の候補のうちには、研究主題に関する古典的な研究、および/または、通史的文献、を含めたい。なお、通史的文献から輪読を始める可能性もある。

参考までに近年輪読することの多い文献を例示すれば、以下の様な次第（なお、通史的文献は下には該当がない。）

- ① マックス・ヴェーバー著（大塚久雄訳、1989年）『プロテスタンティズムの倫理と資本主義の精神』 岩波文庫
- ② Reinhard Bendix; with a new introduction by Mauro F. Guillen, *Work and Authority in Industry: Managerial Ideologies in the Course of Industrialization*, Transaction Publishers, 2001（大方の部分には邦訳あり）

4. 選考の方法（面接・テスト等）

面接と志望理由書によって行う。

面接用に履歴書を用意のこと。履歴書には氏名、学生番号、特記したい学内外での活動、などを書いていただきたい。A5用紙を想定されて簡条書きがありがたい。志望理由書はA4用紙を想定され800字程度で。提出の要領はmanabaコース「2020年度ゼミ選考」等の掲示板等で周知の予定。

5. 面接・テスト等の日時・場所

manabaコース「2020年度ゼミ選考」等の掲示板等で設定・周知の予定。

6. 注意事項・履修希望者へのメッセージ

- ① ゼミ運営の基本はなるべく私を含めたゼミ構成員の議論で定めたい。ただし、輪読の際の原則としてゼミ生全員（報告者以外の）のA5版程度の要約・コメントの用意を要望したい。活発な議論を期待するためである。
- ② 上の各項目には追加・補足・変更がありうる。manaba等を用いて適宜通知の予定。

1. 研究主題

保険制度と保険業の特徴と動向

2. 指導要領

3年次：以下の(1)と(2)を行います

- (1)指導テキストを読んで討論します。事前に毎回の報告者を決めておきます。報告者は、その回に取り上げる指導テキストの箇所のレジюмеを作成し、教員とゼミ生に配布して報告します。その後、討論します。報告に当たっていないゼミ生も、レジюмеを作成し、教員に提出します。
- (2)年2回（前期1回、後期1回）、レポート課題を出します。教員が指定した文献（本、論文、報告書など）を読んで、要約とコメントを書きます。

4年次：以下の(1)と(2)を行います

- (1)「前期」と「後期の前半」は、上記の3年次の(1)と同じです。
- (2)「後期の後半」は、卒業論文の作成指導を行います。1人2回、報告します。

3. 指導テキスト及び参考書

保険（損害保険、生命保険、第三分野保険、社会保険）の専門書を選定します。

4. 選考の方法（面接・テスト等）

面接（対面面接）によって選考します（対面面接の日時・場所は下記です）。対面面接時に「志望理由書」などを持参する必要はありません。やむを得ない事情で対面面接に出席できない場合には、かならず事前にメールで教員に連絡してください（そのさい、さしつかえない範囲で「欠席の理由」を書いてください）。事前に連絡しないで欠席した場合には、対面面接を放棄したものとみなします。

5. 面接・テスト等の日時・場所

日時：11月24日（火）14時30分～

場所：3号館2階208B室（中央階段のすぐ横にあります）

※ 対面面接の日時・場所を変更する場合、または対面面接から遠隔面接等に変更する場合には、manaba コース「2020年度ゼミ選考」でお知らせします。

6. 注意事項・履修希望者へのメッセージ

- (1)当ゼミに申し込みできるのは、自学科（商学科）の学生のみとします。
- (2)当ゼミのオープンゼミはとくに予定していません。
- (3)当ゼミでは、ゼミを数回、無断欠席したならば、以後の履修を認めていません。

教員名 プラート・カロラス

1. 研究主題

このゼミでは、二つのテーマについて研究していきます。一つ目のテーマは国際マーケティング全般を取り上げ、日本企業を中心に各国企業によるグローバル市場でのマーケティング諸活動についての研究です。二つ目のテーマはインバウンド観光マーケティングの研究です。3年次の前期は国際マーケティング理論を中心に研究しながら、日本企業の国際マーケティング戦略の実例（ケース）を分析して、ディスカッションを行います。3年次の後期はインバウンド観光マーケティングについて研究します。なお、インバウンド観光及び国際マーケティングに関連するフィールドワークや現地調査を後志地方にて行う予定ですが、年度によってそのテーマ、場所や内容が異なります。

2. 指導要領

3年次：(前期) 国際マーケティングのテキストを輪読、日本企業の国際マーケティングに関するケースの分析とディスカッション；(後期) インバウンド(訪日)観光マーケティングのテキストを輪読、インバウンド観光及び国際マーケティングに関連するフィールドワークを行う予定です。

4年次：卒業論文の作成に関する指導。

3. 指導テキスト及び参考書

(前期) 小田部 正明, 栗木 契, 太田 一樹「1からのグローバル・マーケティング」(2017) 碩学舎

(後期) 高井 典子, 赤堀 浩一郎訪日「訪日観光の教科書」(2014) 創成社

4. 選考の方法 (面接・テスト等)

1) 以下の書類をパソコンで作成し、提出してください：

- 自己紹介 (顔写真または顔がわかるスナップ写真付き)、枚数は自由です。ファイル形式はPDF、またはMSワード。
名前に必ずふりがなを振ってください。

志望理由書。ファイル形式はPDF、またはMSワード。

- Campus Square の全履修済み科目成績画面 (又、GPA が確認できる画面を含むもの) のコピー (PDF、または写真)

2) 面接を行います。

5. 面接・テスト等の日時・場所

上述「選考の方法」に記載されている全ての提出書類を添付ファイルとして 10月29日(木) 17:00 (必着) までに下記のメールアドレスへ提出してください (メールは日本語で結構です) : praetcar@res.otaru-uc.jp

面接は 11月5日(木)14:40 より ZOOM にて行う予定です。なお、面接の ZOOM リンク等の詳細は志望者の皆様にメールにて事前に通知しますので、日程が近くなったら、メールを定期的に確認してください。

6. 注意事項・履修希望者へのメッセージ

- 週末や平日の昼間でもゼミ活動(現地調査等)に参加可能な学生を優先的に選考します。
- マーケティング関連科目の「流通システム論」及び発展科目の「マーケティング」を履修済み (又は履修中) であることが望ましいです。
- 授業は日本語で行います (無論、英語も対応可能です)。
- ゼミは原則としてすべて出席すること。無断欠席は履修中止となります。

7. オープンゼミの日時・場所 (予定)

・ オープンゼミは 10月15日(木)14:30-17:00、10月20日(火)14:30-17:00、および 10月22日(木)14:30-17:00 に ZOOM にて行う予定です。

・ ZOOM ミーティングの詳細は下記の通りです。

<https://zoom.us/j/99286932607?pwd=MFhKdlg3cmtNSHBqbjZvcGNobHNBdz09>

Meeting ID: 992 8693 2607

Passcode: 935472

開講日時	木曜日 14:30 ~ 17:40
在籍人数(3年生)	18 人
男女比(3年生)	1 : 2
ゼミ室	318 教室
ゼミの鬼仏表	<div style="text-align: center;"> 仏 ・ 普通 ・ 鬼 </div>

Q. 先生はどんな人？



- ・ オランダ出身 6 カ国語を操るグローバル教育部門長
- ・ 日本語ペラペラ
(授業は日本語です！)
- ・ 笑顔がかわいい
- ・ 優しさの権化
- ・ 知識量は無限大
- ・ みんな大好き

< 2020 年度年間スケジュール >

12~3	(前年度)クリスマス会、歓迎会
4	オンライン輪読
5	(花見をしたかった)
6	
7	
8	(夏休みにみんなで遊びたかった)
9	
10	
11	
12	クリスマス会 (コロナ次第)
1	インバウンド調査 (コロナ次第)
2	
3	新ゼミ生歓迎会 (コロナ次第)

<ゼミの日常>

オンラインで教科書の輪読をしています。グループに分かれてプレゼンを行い、そのテーマについてみんなで議論し、先生に解説していただきます。時々オンライン飲み会を開催して、楽しくお話しています！

<卒業生の進路>

三菱電機、エスビー食品、ニッスイ、
三井住友海上、電通北海道、北洋銀行、
野口観光 などなど

<自由記入欄>

「国際マーケティング」と「観光学」について勉強しています

今年は未定ですが、例年は冬にフィールドワークを行いニセコ等で調査活動をしています。

9/29(火)のオンライン合同説明会にプラゼミも参加します！グローバルなことや観光に興味がある方は是非お越しください！！

企業法学科

Law

企業法学科 開講ゼミナール一覧

石黒 匡人.....	51	菅沼 真也子	61
岩本 尚禧.....	52	高橋 周史	62
片桐 由喜.....	54	多木 誠一郎	63
河森 計二.....	56	竹村 壮太郎	65
國武 英生.....	57	張 博一	67
小林 友彦.....	59	橋本 伸	69
才原 慶道.....	60	坂東 雄介	71

1. 研究主題

行政法学上の重要問題の研究と、市町村や都道府県の各種行政課題の研究

2. 指導要領

第一に、行政法学上の重要問題に関する判例学説について勉強します。

第二に、各自が興味を持った条例ないし行政課題を選んで調査報告し、皆で検討します。

第三に、上記の勉強の成果を基に、各自が選んだテーマについて研究して論文を書いてもらいます。

以上の第一から第三を通して、行政法学をより深く理解し、同時に法的思考力を身につけることを目標にします。

出席し、議論に積極的に参加することが義務です。

3. 指導テキスト及び参考書

行政法の概説書を選んで、基本書にします。

ゼミ生と相談して決めます。

4. 選考の方法（面接・テスト等）

志望理由書と面接によって選考します。

志望理由書の提出は電子メールによることが望ましい（アドレス ishiguro@res.otaru-uc.ac.jp）のですが、それ以外の方法による場合は、研究室531に持参するか（不在の場合はドアの下から中に入れてください）、大学宛てに郵送してください。

メール以外の場合は、A4版の用紙によること以外、形式は自由です。

理由書には、学生番号、氏名、所属学科、出身都道府県、出身高校、所属サークル、志望理由、を記載してください。

また、ゼミで取り組みたいテーマがあれば、書いてください。

簡単な自己紹介・自己アピールもあるのが望ましいです。

申込期間内に提出してください。

5. 面接・テスト等の日時・場所

面接は、選考期間内に実施する予定です。

対面での面接が難しい場合は、zoomにより実施する予定です。

日時、場所については、後に連絡します。

危機対策本部から実施方針が示され、記載内容に変更が生じた場合は、manaba コース「2020年度ゼミ選考」の掲示板で周知します。

6. 注意事項・履修希望者へのメッセージ

民間企業が事業活動を行う場合にも、行政との関わりは様々な面で大きなものがあります。

したがって、公務員志望者以外の学生にも大いに関係のある法分野です。

4で記載している志望理由書を必ず提出してください。

受け入れ予定人数は7名程度ですが、各種状況により増えることがあります。

1. 研究主題

- ・民法に関連するもの。

2. 指導要領

(1) 概要

・当ゼミの目標は「説得力ある分析視角を身に着けること」です。社会的な事実としては1つの事象であっても、それを捉え、評価する方法は人の数だけ存在します。しかし、その全てに納得できるわけではありません。説得力に差があるからです。説得的な考え方とは何か。なぜ説得力があるのか。法律問題を扱う過程で、説得力ある思考方法を身に着けることが当ゼミの目標です。この能力は、法律家を目指すかどうかに関わらず、重要な能力です。各ゼミ生が意見を出し合う中で、自分の意見を客観視し、どのような物の見方が説得的で、自分に何が足りないのか、を気付けるように指導し（ようと思っていますが、これが中々難しく、それでも何とか頑張ろうと思っています）ます。

(2) 報告

・意見を出し合い、能力を磨く機会として、判例報告や卒論報告を行ってもらいます。報告者だけではなく、その他の参加者も積極的に発言するように努めてください。各回、「だれがどのような発言をしたか」を記録する係を任命します。その担当者には発言録を作成してもらい、次回ゼミの参考にします。

3. 指導テキスト及び参考書

- ・いわゆる六法。近時、民法は改正の動向が活発ですので、最新の六法を用意してください。

4. 選考の方法（面接・テスト等）

- ・選考方法：レポートのみ（内容は、現時点で考えている卒業論文のテーマについて。字数および様式は自由）。
- ・提出先：iwamoto@res.otaru-uc.jp
- ・提出期間：10月1日～10月31日。
- ・応募条件：民法基礎Ⅰ・Ⅱを履修済で、かつ民法Ⅱを履修中であり、しかも民法Ⅲを履修する予定であること。

5. 面接・テスト等の日時・場所

- ・なし。

6. 注意事項・履修希望者へのメッセージ

- ・参加態度が不真面目であった場合または正当な理由なく欠席・遅刻があった場合、卒業論文を評価しません。
- ・当ゼミは木曜日開催の3・4年合同ゼミです。
- ・新型コロナウイルスの状況に応じて、zoomを用いてゼミを実施することもあります。

開講日時	
木曜日 14:30~17:00	
在籍人数(3年生)	5人
男女比(3年生)	4:1
ゼミ室	
3号館3階	
ゼミの鬼仏表	
仏 ・ 普通 ・ 鬼	

Q. 先生はどんな人？

講義を受けたことがある人はわかるかもしれませんが、砕けた話し方で分かりやすい説明をさせていただきます。学生の立場に立って物事を考えてくださるとても優しくて頼もしい先生です。課題についてのアドバイスもきちんとさせていただきます。

< 2020年度年間スケジュール >

12~3	(前年度)
4	新書の概要及び感想を提出、それに対する先生の質問への回答
5	論文を読み、その内容について批評
6	論文を読み、その論文をどのように発展させるかを考える
7	興味がありかつ不満の残る裁判例の評釈を行う
8	夏休み中に卒業論文のテーマ決定、後期開始時にテーマ発表
9	9月以降は未定
10	
11	
12	
1	
2	
3	

<ゼミの日常>

まだ対面でのゼミ活動を行ったことが無いので具体的に申し上げることは出来ませんが、基本課された課題に各自で取り組み、まとめたレポートを先生に提出し他の学生の意見も眺めてみる、というような内容の活動がこれまでありました。

<卒業生の進路>

裁判所書記官 (3名)
道庁 (1名)
年金機構 (1名)
トヨタ営業 (1名)
(一昨年のも)

<自由記入欄>

上記内容からも分かるとおり、主に論文を読むことが主たる活動です。先生から渡された論文を読むときもあれば各自で興味関心のある分野の論文を読むこともあります。民法は非常に幅広い分野にわたって規定がなされているので、そんな民法を論文を読むことにより、より深く理解することが出来ます。自身の考えを誰かに発信したり、また他者の民法への考え方を見たい・聞いてみたいという方におすすめます

1. 研究主題

私たちの暮らしと社会保障法

2. 指導要領

私たちの多くは病院で生まれ、病院で亡くなる。また、高齢期には年金を受給し、生活に困窮したら生活保護による保護を受ける。このように、生きていくうえで必要な支援を提供するのが社会保障制度であり、この制度と無縁に生きる者はいない。そして、私たちはこの支援を受ける権利を、どんな時でも人間らしい生活をする権利として憲法 25 条によって保障されている。

ゼミでは、社会保障制度の法的課題を学ぶことをとおして、上記権利の意義を検討する。

本ゼミのもう 1 つの目的は上記検討をする過程で、基本的な学問的スキル、すなわち、読む、書く、議論するを習得することを目指す。

3. 指導テキスト及び参考書

ゼミ開始時に指示する。

4. 選考の方法（面接・テスト等）

志望理由書と面接による

5. 面接・テスト等の日時・場所

① 10 月 28 日までにゼミ志望理由書を片桐宛にメール送信する。

宛先： katagiri@res.otaru-uc.ac.jp

② ゼミ志望者に manaba コース「2020 年度ゼミ選考」にて、面接の実施の有無、実施の場合の日程を周知

6. 注意事項・履修希望者へのメッセージ

世間のこと、他人のことに興味のない人は当ゼミに向きません。

開講日時	木曜日 14:30~16:30 頃
在籍人数(3年生)	12人
男女比(3年生)	男6:女6 (小樽住みと札幌住みでちょうど半分)
ゼミ室	3号館4階 418 備品が充実!ソファ3台
ゼミの鬼仏表	ド仏・普通・鬼

Q. 先生はどんな人?

- どんな過ちも3回まではゆるしてくれる
- 学業だけでなく日常生活の相談にも乗ってくれる
- オンラインゼミの最後に手を振ってくれる☺
- 知識が豊富で話が面白い
- 愛のある毒舌でとりこになります
- ゼミ以外の時間も学生と仲良くしてくれる優しい先生

<ゼミの日常>

< 2019 年度年間スケジュール >

12~3	(前年度)毎週
4	ゼミコンパ、お花見🍁など
5	ディベート①
6	緑丘祭出店(予定)
7	ディベート②
8	BBQ
9	ゼミ合宿
10	ゼミ説明会、ゼミ室でタコパなど…
11	OB・OG 会
12	クリスマスパーティー
1	新ゼミ生と顔合わせ
2	ゼミ旅行や追いコン
3	卒業パーティー🍷

- 社会保障関連の判例分析
賛成反対に分かれてディスカッション。
- 4年生と合同ゼミ、4年生からの模擬授業を通して先輩と学び、ゼミ後はご飯を奢ってもらえるかも…
- ゼミの後半でお茶会を開催!教授持参の道外のお菓子を食べられる。
- 不定期で教授宅にてご飯会がある。

<卒業生の進路>

<公務員>

札幌市、函館市、北海道庁、北海道警察、法務局、国税庁、等々。

<民間>

NTT、東宝、北電、北洋銀行、北海道銀行、JAL、JR、アサヒビール、アステラス、等々。

<変わった進路>

心理カウンセラー、ビジネスコンサルタント、脱サラして新規就農、看護師、等々。

<自由記入欄>

昨年度は教授宅でのパーティーで学生が餃子を作り、教授がいくら丼を出してくれたそうです。

12人中2人が他学科です。法学の知識はいりません。教授、先輩、同期が教えてくれます。

年金、医療制度、社会福祉等々、これらは必ず就職や今後の人生に役立つ知識になります。

本気で学んで、本気で遊べる商大一楽しいゼミです!

オンラインゼミ説明会に参加します。2年生に会えるのを楽しみにしています d=(´▽`)=b

1. 研究主題

法的な「考え方」の修得は、社会に出たときさまざまな場面で役立ちます。しかし、この法的思考力の修得は意識して繰り返し訓練しなければ修得することは困難です。このゼミでは、さまざまな社会問題を法的観点から検討することで、法律の基本的な知識の修得とともに法的思考力の獲得を目的とします。

2. 指導要領

ゼミの具体的な内容については、履修者が確定した後、履修者と相談のうえ決定します。さしあたり、履修者が興味のある裁判例や新聞の記事等から法律に関係する問題を選択し、それについて担当グループでレジュメを作成し、ゼミ生みんなで「考える」ことを通して討論を行います。

なお、本ゼミは木曜日に3・4年合同ゼミ形式で行います。

3. 指導テキスト及び参考書

テキスト及び参考書は、履修者と相談のうえ決定します。

4. 選考の方法（面接・テスト等）

選考は、志望理由書と面接（Zoomを使用）によります。

（1）志望理由書

【記載事項】

- ①氏名・学籍番号・所属学科
- ②メールアドレス（PCからのメール受信が可能なもの）・携帯電話番号
- ③自己紹介&河森ゼミを志望する理由

【書式】

Word形式 A4 版用紙で提出すること以外、すべて自由です。

（2）面接

提出いただいた志望理由書を参考に Zoom による面接を行います。

5. 面接・テスト等の日時・場所

（1）志望理由書の提出

締め切り：10月28日（水）午前10時まで

提出方法：電子メール（提出先：河森 E-mail：kawamori@res.otaru-uc.ac.jp）に志望理由書を添付のうえ提出してください。ただし、メール以外の提出方法を希望する場合は、1号館の研究室・534室に持参してください（不在の場合は、ドアの下から研究室に入れてください）。

（2）面接

面接の詳細な日時・場所はおってメールで連絡します。

6. 注意事項・履修希望者へのメッセージ

ゼミの仲間とのいまという時間を大切にしてくれる方、大歓迎です。勉強するときは勉強し、あそぶときはおもいっきり遊ぶことで、学生時代だけではなく、生涯つきあえるゼミの仲間を獲得してください。

質問があればメール等で気軽に聞いてください（河森 E-mail：kawamori@res.otaru-uc.ac.jp）。

1. 研究主題

國武ゼミは「労働判例研究」を行います。

ゼミは、職場の紛争をめぐる裁判例を題材にして、ゼミ生同士で事前に検討し、自分達の解釈を発表し、それについて議論する場です。裁判例を多面的に検討することにより、①判決文の理解能力、②法的思考能力、③プレゼンテーション能力、④ディベート能力、⑤問題解決能力の獲得を目指します。

2. 指導要領

國武ゼミは、仲間とともに考えるプロセスを大事にしています。ゼミの進め方は、3人1組のグループで事前に裁判例について議論し、その内容をレジュメにまとめ、ゼミの時間にプレゼンテーションを行います。後は納得するまで議論です。

3年次は、裁判例を検討するなかで論点や問題点を発見し、それを法的に解決に導く作法を修得することを目標にします。4年次は引き続き、3年生と合同で裁判例の検討を行うとともに、卒業論文を執筆します。卒業論文は、労働法の諸問題のなかから、未解決あるいは創造的な課題を自ら設定し、執筆を進めます。

3. 指導テキスト及び参考書

- ・村中孝史・荒木尚志編『労働判例百選 [第9版]』有斐閣（2016年）
- ・六法（小さなものでよいが、なるべく新しいもの。）
- ・取り上げる裁判例、参考文献等は演習開講時に示します。

4. 選考の方法（面接・テスト等）

選考のため面接を実施します。下記の要領でエントリーすること。

- ①ゼミ希望調査のアンケートフォーム（WEB）に「國武ゼミ」を希望ゼミとして入力
- ②10月30日（金）までにメールでエントリー

メールの件名を「ゼミナール履修希望」とし、本文に名前、学籍番号、電話番号を記入し、下記アドレス宛に送信すること。

メールアドレス：kunitake@otaru-uc.ac.jp

5. 面接・テスト等の日時・場所

面接を実施します。面接の日時・場所・志望理由書等の詳細についてはメールで連絡します。現状では、Zoomで面接を行う予定です。面接方法についてもメールでお伝えします。

オープンゼミを開催予定です。オープンゼミの詳細は、manaba コース「2020年ゼミ選考」掲示板で周知します。

6. 注意事項・履修希望者へのメッセージ

現実の職場で起きている問題は、ときに映画やドラマよりもリアルでスリリングです。

これまでのゼミでは、郵便局の長髪・ひげを禁止するみだしなみ基準が争われた事案（郵便事業（みだしなみ基準）事件）や、育児休業者に対する不利益取扱いの是非が行われた事案（学校法人近畿大学事件）などを検討しました。現実にかきた問題を法的な推論を駆使して解決に導くというのは、実定法学にしか味わうことのできない醍醐味でしょう。

他のゼミと比べると、課題の量は多いかもしれません。しかし、仲間と切磋琢磨することで、論理的な法的思考力や問題を発見する力を主体的に身につけることができます。あきらめずに課題に取り組むことで、そこから新しい境地にも立つこともできます。

大事なことは、常識や通説といったものを疑う視点を忘れないことです。世の中には、数えきれないほどの不確実性があります。ゼミでの活動を通じて、現状の枠組みが最善でないかと常に問い続けることの大切さや、自分自身で考える力を磨いてほしいと考えています。

労働法がおもしろそうだ、仲間と熱く議論してみたいと思える学生であり、かつ、報告の機会があることをアピールポイントとして前向きに考えられる学生を歓迎します。

開講日時	木曜日 14:30~16:30
在籍人数(3年生)	6人
男女比(3年生)	1:1
ゼミ室	3号館1階112
ゼミの鬼仏表	仏 ・ 普通 ・ 鬼

Q. 先生はどんな人？

企業法学科の学科長！

だけどゼミはちょうど良い感じにゆるくやっています。

学生のお話をよく聞いてくれて、話題になったことは調べてハマってくれたりもします(笑)
お酒が好きみたいなので、一緒に飲みに行けばすぐ仲良くなれそう！

< 2019 年度年間スケジュール >

12~3	(前年度)
4	新ゼミ生歓迎コンパ
5	
6	
7	
8	
9	
10	卒論構想報告会
11	仮装ゼミ
12	
1	
2	
3	追いコン

<ゼミの日常>

ゼミの時間になると、いきなり討論に入るのではなく、まずは近況報告を一人ずつします。内容は、庭にある朝顔が咲いたとか、好きなアイドルの番組の話とか、競馬が当たった外れたとかほんとに自由です(笑)その後は労働に関する裁判の判例を基に事前に作成した資料を読みながら原告・被告に分かれ模擬裁判をします。最後は総括をし、終わったらそのままフリータイムという感じです！

<卒業生の進路>

民間:公務員が1:1です。

2017年度、2018年度卒業生の進路の例は下記の通りです。

ANA、サントリー、IHI、NTT データ北海道、札幌市、北海道庁、労働局、国税庁 等

<自由記入欄>

國武ゼミは現在3年生だけで活動しています。ゼミ前の近況報告や自由なプレゼンテーション(週替わりで担当を決め、趣味などについてプレゼンをする)などのアイスブレイクの時間をたくさん作ってくれるので、ゼミの雰囲気はかなり柔らかいものになっていると思います！全員、労働法に関する知識ゼロからスタートしているので、学科問わずに募集しています。来年は3・4年生合同でゼミをやるので、新3年生とわいわいできることを楽しみにしています！！

1. 研究主題

「国際」的で「経済」と「法」に関わる現代的課題の中から、履修者の希望をふまえて決めます。

2. 指導要領

グローバル化する社会における国際ルールの役割について、就職活動の際に役立つだけでなく、卒業後も生かすことのできる知的スキルを身につけることが目標です。自発的に問題を見つけ出し、学際的に問題解決に取り組んでいく姿勢が求められますので、履修者には自主性が強く期待されます。

基本的な研究手法を3年次に修得した上で、4年次には、具体的主題について調査を進めます。そして、ゼミ内外で発信する等の活動を行いながら、卒業論文の執筆に取り組みます。

3. 指導テキスト及び参考書

研究主題が決まった後に指定します。過去に用いたものの例として、下記のようなものがあります。

- ・ピエトラ・リボリ『あなたのTシャツはどこから来たのか？：誰も書かなかったグローバル化の真実』（東洋経済新報社, 2007）
- ・大村敦志『ルールはなぜあるのだろうスポーツから法を考える』（岩波書店, 2008）
- ・ラッセル・ロバート『寓話で学ぶ経済学：自由貿易はなぜ必要か』（日本経済新聞社, 1999）
- ・ティナ・シーリグ『20歳のときに知っておきたかったこと：スタンフォード大学集中講義』（阪急コミュニケーションズ, 2010）

図書館で借りるなどして目を通しておくと、当ゼミの特徴について理解しやすいかと思います。

4. 選考の方法（面接・テスト等）

志望理由書(A4一枚程度でeメールに添付または本文ベタ打ち。形式は自由。)によって選考します。学外活動/GPA/各種資格/社会経験/留学希望等も参考にしますので、志望理由書に適宜記載して下さい。

5. 面接・テスト等の日時・場所

申込期間中に、教員宛にeメール（フリーメールで構いません）で志望理由書を提出して下さい。原則として2日以内で、面接の日程照会を返信しますので、希望の日時を連絡してください。

6. 注意事項・履修希望者へのメッセージ

- ・ 所属学科は問いません。「国際経済法」は3・4年次配当科目ですので、ゼミ開始時点ではこの分野について初心者であっても構いません。
- ・ ゼミ所属期間中に留学や課外活動等、知見を広げるための課外活動を行うことは推奨しますし、できる限り支援します。
- ・ 木曜日に3・4年合同ゼミを行います。学外での調査や、他ゼミとの合同ディベートを行う可能性があります。短期留学プログラムの留学生が履修する場合、彼らと積極的に意思疎通することが期待されます。
- ・ 語学のゼミではありませんので、外国語能力は問いません。身振り手振りを交えてでもよいので、多様な属性を持つゼミ生と意思疎通し、信頼関係を築く努力をすることが求められます。
- ・ 知らないことにチャレンジしていくのに積極的な方は、楽しめると思います。

1. 研究主題

知的財産法

2. 指導要領

2年間かけて、下記のテキストを輪読する予定です。

4年次になったら、これに卒業論文の執筆が加わります。

3. 指導テキスト及び参考書

テキストは、

Donald S. Chisum, Tyler T. Ochoa, Shubha Ghosh, Mary LaFrance,
UNDERSTANDING INTELLECTUAL PROPERTY LAW, Third Edition,
LexisNexis
になります。

4. 選考の方法（面接・テスト等）

英文和訳の簡単なテストを行います。

5. 面接・テスト等の日時・場所

アンケートフォーム（WEB）にて、第1志望として、このゼミを登録した人は、それとは別に、
saihara@res.otaru-uc.ac.jp

宛てに、

2020年11月11日（水）までに

その旨メールを下さい。テストの実施方法などについて、お知らせします。

6. 注意事項・履修希望者へのメッセージ

3、4年合同のゼミになります。曜日は木曜日を予定しています。

ゼミの終了時間ですが、17時40分頃までかかってしまう日もあります。

1. 研究主題

このゼミでは、刑法の諸原則や諸問題について学修・研究するとともに、ゼミ員を3~4人ずつグループ分けし、判例をベースにして作成した事例について、「検察官側」と「弁護人側（被告人側）」に分かれて討論を行います。討論課題は刑法総論および各論に関する事例を基本とし、希望があれば刑事訴訟法や刑事政策に関連するテーマも取り上げることがあります。

2. 指導要領

刑事司法における諸原則や思考方法を知ることを通じて、法的・論理的思考力を身に付けることを当ゼミの主眼の1つとします。具体的にいえば、検察側と弁護側に分かれた討論、ならびにそのためのレジュメ作成を通じて、文章を正確に理解する能力、人が理解しやすい文章を書く能力、原理原則や学説に従って論理的に問題を解決する能力、周囲を納得させ、自分の考えを適切に伝えることができる能力等の獲得を目指します。

ゼミの進め方は次の通りです。3年次の前期には、刑法の諸問題について1人1課題ずつ報告・学習して基本的な原理について確認し、その後、判例を課題として、グループに分かれて事前準備をしたうえで討論します。夏期集中ゼミ（夏休み期間中に1日実施する予定）および後期には、判例をベースにした事例について、検察・弁護に分かれた討論を行います。前期の報告課題および討論の素材となる判例については、ゼミ開講後に指示します。

3. 指導テキスト及び参考書

基本的にはテキストは使用しません。参考文献については必要な範囲で適宜指示します。六法だけは必ず毎回持参してください。

4. 選考の方法（面接・テスト等）

書類によって選考します。

下記のテーマのレポート、ならびに下記の内容を記載した志望理由書をメール（宛先：msuganuma@res.otaru-uc.ac.jp）にて提出してください。

提出期日は11月13日（金）、形式はワードないしPDF。レポートと志望理由書を分けて作成・提出すること。それぞれのファイル名には「志望理由書」ないし「レポート」および「学籍番号・氏名」を入れてください。志望理由書の様式は問わないので、写真を掲載したり色を使うなど、自由に記述して構いません。

（1）レポート課題

「刑法における罪刑法定主義とその派生原則について論ぜよ。」 ※40字×40行で1~2枚程度。

（2）志望理由書

- ①自己紹介
- ②本ゼミを志望した理由
- ③刑事法に関して興味のあるテーマ
- ④学生生活で頑張ったこと・頑張っていること

5. 面接・テスト等の日時・場所

実施しません。

6. 注意事項・履修希望者へのメッセージ

教員が学生に勉強を教えるのではなく、学生であるみなさんが主体となって、楽しく有意義にゼミを進めていってほしいと思っています。みなさんが3期生となるまで新しいゼミなので、先輩と一緒にゼミを作っていきます。法律の勉強が得意でなくても、あるいはやったことがなくても、学科を問わず、刑法に少しでも興味のある人・やる気のある人・しっかり勉強したい人・考え

ることが好きな人を歓迎します。刑法を履修しているか否かは問いません。情况的に可能となれば、夏休み期間中ないし後期に刑務所参観も実施する予定です（2019年は10月に札幌刑

1. 研究主題

法学の学習や研究をする上で、裁判例を読み込むことは避けることができないことです。このゼミでは、会社法の重要な最高裁判決について原審から順番に裁判例を読みながら、会社法の基本的な知識がどのようにして運用されているかを研究することを目的とします。

2. 指導要領

ゼミの具体的な指導内容については、会社法や商法の裁判例を読み込むことを中心とすること以外は、受講者との相談によって決定します。当面は、会社法判例百選にある重要な最高裁判例の中から、受講者の興味のある裁判例を選択し、ゼミの各回に報告者を定めて事例の紹介、第一審・第二審・最高裁の順番に、判決内容を整理したうえで検討する、という形式を予定しております。

3. 指導テキスト及び参考書

岩原紳作＝神作裕之＝藤田友敬編『会社法判例百選』（有斐閣、第3版、2016）

このほかの教材については、受講者と相談したうえで決定します。

4. 選考の方法（面接・テスト等）

選考方法は、志望理由書を事前に提出したうえで、面接等によって決定します。

【志望理由書】

①氏名・学籍番号・所属学科

②連絡先（メールアドレス）

③自己紹介や商法、会社法の学習状況（単位の取得など）、会社法のうち関心のある単元、その他、会社法や金融について関心のある事柄などを簡潔に記載してください。

【様式】

A4 Word 文書 1頁から2頁程度 電子メールによる添付書類として下記6. のアドレスに送付してください。

【面接】

志望理由書をもとに、簡単な面接を行います。志望理由書に書いたことについて、質問に回答できるように準備しておいてください。

5. 面接・テスト等の日時・場所

志望理由書の提出期限や面接は、選考期間内とします。詳細な期限および日時については、図書館前およびゼミ室の扉の掲示にて連絡します。面接の時間等は受講希望者の人数を見てから決定します。

6. 注意事項・履修希望者へのメッセージ

ゼミについて質問がある場合には、下記のメールアドレスに氏名と学籍番号を明記したうえでご質問ください。

【担当教員連絡先】

stakahashi.lecsem.otaru@gmail.com

会社法や商法をしっかり勉強したいという方の希望に応えられるゼミにしていきたいと思っています。

コロナウイルスの状況を判断して、適切な方法により、連絡や面接を実施します。念のため、希望者は、教員からのメールによる連絡やZOOMによる面接に対応できる環境を準備しておいてください。

1. 研究主題

本ゼミは図書を読むゼミです。色々な分野の図書を取り上げますが、法学分野の図書も取り上げます。これまでに取り上げた図書は、例えばプラトン『ソクラテスの弁明』、デカルト『方法序説』、ミル『大学教育について』、ウェーバー『職業としての学問』、オーエル『動物農場』、新渡戸稲造『武士道』、柳田国男『遠野物語』、渋沢栄一『論語と算盤』、夏目漱石『こころ』、谷崎潤一郎『痴人の愛』、ドストエフスキー『地下室の手記』、モーム『月と六ペンス』、ヘッセ『車輪の下』、鴨長明『方丈記』です。ゼミ生の皆さん1人1人が図書をじっくり読んで、それをもとに自分の頭で色々と考えて、表現できるようになることを期待しています。

2. 指導要領

教員とゼミ生の皆さんと一緒に図書を読んで、ディスカッションをしていきます。あらかじめ図書を選定し、ゼミの時間までに当該図書を読んでくることが、ゼミ出席のための前提です。ゼミの時間では、図書の内容について自由にディスカッションします。自分の体験に引きつけて発言するのよし、図書の書かれた種々の背景について調べてきて発言するのよし、著者のその他の著作と比較するのよしです。

取り上げた図書（年間15冊程度）ごとに、大凡1600字以内の書評の執筆・提出をお願いします。

3. 指導テキスト及び参考書

100年（1000年）後も読み継がれているであろう図書、あるいは100年（1000年）の間多くの人の手垢にまみれながらも生き残ってきた図書を取り上げます。①ゼミ生の皆さんが社会に巣立った後、何度でも読み返すに値するような図書、②実際的な基準でいえば、就職面接で尋ねられたときに、堂々と答えることができる図書を取り上げたいという考えでもあります。

4. 選考の方法（面接・テスト等）

(1) 下記(2)書類及び面接で選考します（書類選考のみで合否を決める場合もありますので、よく考えて書類を作成してください）。第一次選考は企業法学科の学生さんのみとします。

(2) 下記①～⑩の事項を記入したワープロ作成書類（様式・分量自由）を、添付ファイルで taki@res.otaru-uc.ac.jp 宛に11月11日（水）17時までに送付してください。メール件名は、「【学生番号・氏名】ゼミ志望」です。メールを受領したら、速やかにメールでその旨返信します。返信メールが到着しない場合には、担当教員に連絡下さい。

①学籍番号、②氏名（ふりがなを振る）、③電話番号、④電子メールアドレス、⑤興味ある大学授業科目とその理由、⑥大凡1年以内に読んだ図書（3冊程度）で印象深いものとその理由（いつ読んだかを明記。図書を読んでいない場合にはその旨記入、無理にこじつけないこと）、⑦ゼミで読んでみたい図書（3冊程度）とその理由（上記⑥と重複可。その場合には上記⑥⑦併せて6冊程度挙げて下さい。）、⑧ゼミに期待すること、⑨自己紹介・アピール（学業・サークル・アルバイト・趣味・特技など何でも可）、⑩その他。

(3) 面接希望時間についての詳細は、上記(2)返信メールにて個別に連絡します。

5. 面接・テスト等の日時・場所

(1) 面接日時・場所 11月16日（月）10時頃～17時頃（志望者数により変わります。） ゼミ室（205A）あるいはZOOM仮想会議室にて。変更する場合には、manaba 掲示版（又は電子メール）を通じて連絡します。

(2) 都合により上記(1)日時に面接を受けることができない場合には、事前連絡をお願いします。個別対応します。

連絡先 研究棟（1号館）435号室 taki@res.otaru-uc.ac.jp（メールアドレス）／0134-27-5374（研究室電話）

6. 注意事項・履修希望者へのメッセージ

3年生は、大学生活の折り返し地点です。また就職に関する活動も実質的に始まり、だんだんと忙しくなってくる時期かと思えます。このような中でちょっと立ち止まって一緒に図書を読みましょう。ゼミで取り上げる図書が、ゼミ生の皆さんにとって「血となり、肉となり、骨となる」ことを期待しています。

2021年度については3年生・4年生合同ゼミを予定しています（2022年度については未定）。質問等がある場合には、上記5連絡先までお気軽に。

7. オープンゼミの日時・場所（予定）

10月6日(火)・13日(火)・20日(火) 14時30分～16時頃までを予定。変更する場合には、manaba コース「2020年度ゼミ選考」の掲示板にて別途掲示します。

> _____

開講日時	曜日 14:30 ~ 16:10
在籍人数(3年生)	9 人
男女比(3年生)	4 : 5
ゼミ室	205A, 274AL (現在は zoom です)
ゼミの鬼仏表	仏 ・ 普通 ・ 鬼

Q. 先生はどんな人?

- ・ 商法の先生
- ・ 温かいお茶をよく飲んでいる

<ゼミの日常>

表の週:本を読む、本に関する議論
裏の週:ディスカッション(時事問題など)

< 2020 年度年間スケジュール >

12~3	(前年度)
4	新歓(予定)
5	
6	
7	
8	(納涼会)
9	
10	
11	
12	
1	
2	顔合わせ
3	(今年度はイレギュラーでしたので前年度のスケジュールを参考にしました)

<卒業生の進路>

民間:公務員=6:2 くらい

<自由記入欄>

Zoom ですがオープンゼミを行いますのでぜひ来てください!
授業も種々なゼミなので、本を講義のが得意ではない方も興味があれば聞いてみてください!

1. 研究主題

今年度も、「民法・消費者法の研究」をテーマとします。

普段あまり意識しないかもしれませんが、我々の実生活においては、市民社会のルールともいわれる民法が、日々機能しています。そしてその日常のなかで頻繁に行われている取引をするにあたっては、その特別法に当たる、消費者契約法や特定商取引法などの、いわゆる消費者法と呼ばれる法律群が重要な役割を果たしています。そのため、一私人として社会の中で生活するうえでも、また企業の中で活動していく中でも、この民法や消費者法の役割を理解しておかなければなりません。特に大学の商学部で学んだ者は、それらの法律の役割や機能の仕方を把握し、ビジネスの中で率先してその知識を駆使していくことが求められるでしょう。

そこで、本ゼミナールにおいては、文献や判例・裁判例の分析を通じて、民法・消費者法の基礎知識を習得し、その解釈や適用の実態を分析することを目的とします。これにより、民法・消費者法の役割の実情を知り、そこに関わる法律の深い知識を養うことができるでしょう。事案などを読んで、民法・消費者法の問題を解説できるようになること、が目標です。

2. 指導要領

(1) 消費者法は本学の講義科目としては用意されていないので、まず3年生の前期においては、民法の基礎を振り返りながら、参加者の皆様と消費者法のテキスト(3. 参照)を読み進め、その基礎知識を確認していきます。参加者の皆様には、数名のグループに分かれ、教科書の担当部分、掲載されている重要判例につき、報告(ミニ講義)を行っていただきます。さらに他の参加者の方からの質疑応答をもふまえて、理解を深めていきましょう。“時間内に相手に情報を、正確に、わかりやすく伝えていく”練習も兼ねています。

(2) 次に3年生の後期からは、多くの判例、裁判例の分析に取り掛かります。各自、民法・消費者法関連の判例、裁判例を取り上げ、その事案においてどのように法律が運用されているか、そうした事案で消費者、企業はどのようなことに留意しなければならないか、考えていきましょう。関連する文献も読んでいきます。

(3) 4年生になった後も引き続き判例、裁判例や文献の調査、分析を行っていくことを予定しています。最終的には、そこまで扱った題材をもとに、卒業論文の完成を目指しましょう。

3. 指導テキスト及び参考書

① 以下のテキストをもとに進めていきますので、各自で必ず用意するようにしてください。

・中田邦博、鹿野菜穂子(編)『基本講義 消費者法(第4版)』(日本評論社、2020)

② 消費者法を学習していくにあたって、民法の知識は必須になります。民法については、民法関連科目で使用した教科書を参照してください。なお、民法関連科目を十分に履修していないという方は、下記の文献を用意し、一読しておくようにしてください。

・潮見佳男『民法(全)(第2版)』(有斐閣、2019)

③ 法学自体に不安がある方は、下記の文献を用意し、一読しておくとういでしょう。条文の読み方から、丁寧に取り上げられています。

・道垣内弘人『プレップ法学を学ぶ前に(第2版)』(弘文堂、2017)

4. 選考の方法(面接・テスト等)

(1) 今年度の選考は、志望理由書と面接によって行います。2020年11月15日(水)までに、下記の①～⑤の事項を記載したものの文章作成ソフト(wordなど。PDF化していただけますと助かります)で作成いただき、竹村研究室のアドレス(stakemur@res.otaru-uc.ac.jp)に送付してください。文字数やサイズは指定致しません。

① 氏名、学生番号

② 本ゼミナールを志望する理由、本ゼミナールでの目標。

③ 本ゼミナールで取り組んでみたい民法または消費者法関連の法律問題(実際に関連するかどうかかわからなくても構いません)。および、その問題に対する、現在のご自分の見解、その理由。特に取り組みたい問題がない場合も、その理由を記載してください。

④ 法学関連科目の履修状況。また今後の履修予定。

⑤ 連絡先となるメールアドレス

※メールのタイトルは【ゼミ志望理由書】と明記しておくようにしてください。他のメールと紛れないようにするためです。ご協力、よろしくお願いいたします。

(2) 面接では、提出いただいた志望理由書をもとに、本ゼミナールの志望理由や、今後のゼミナールでの活動目標などについて、お尋ねします。時間は、お一人当たり、15分程度を予定しています。

(3) 選考結果は、選考結果発表期間内（11月16日（月）～12月4日（金））に、適宜発表いたします。連絡先のメールアドレスか、掲示によって発表する予定です。

5. 面接・テスト等の日時・場所

(1) 4. のとおり、今年度の選考は、志望理由書と面接によって行います。11月15日（水）までに、志望理由書を研究室のアドレスまで送付してください。

(2) 今年度の面接はゼミ室（3号館111）にて、それが難しい場合にはzoomにて行う予定です。志望理由書を確認した後、記載いただいた連絡先に面接の時間と、zoomでの実施の場合にはパスワード等を通知いたします（ご都合がつかない場合には、別途調整いたしますので、お申し付けください）。面接は、第一次選考期間内（11月16日（月）～11月27日（金））に実施いたします。

6. 注意事項・履修希望者へのメッセージ

(1) 本ゼミナールでは、調査、報告の準備に多くの時間を費やすことになります。そのため、ゼミナールでの活動に積極的に取り組める方を募集いたします。

なお、法学や民法関連の学習が十分進んでいないという方でも、興味をお持ちであれば、参加を歓迎いたします。調査や報告を通じて、一緒に学んでいきましょう。ただし、相応の努力は必要になるものと思われます。

(2) ゼミナールの運営などについて質問のある方は、下記のメールアドレスにお問い合わせください。ゼミナールに関する面談のご希望があれば、喜んでお引き受けいたします。

・竹村研究室 stakemur@res.otaru-uc.ac.jp

開講日時	木曜日 14:30~17:00
在籍人数(3年生)	8人
男女比(3年生)	4:4
ゼミ室	111
ゼミの鬼仏表	① · 普通 · 鬼

Q. 先生はどんな人？

ゼミ中には1回以上の発言が必要ですが、どんなことを言っても「なるほど」「そういう考え方もあるんですね」「それは私も勉強になりますねえ～」と発言が全く苦ではなくなる魔法の相槌を打ってくださる超優しい先生です！

<ゼミの日常>

< 2019年度年間スケジュール >

12~3	(前年度)顔合わせ・歓迎会(の予定でした...)	
4	<前期> 教科書を各回2章ずつ	
5	↓	
6		民法復習会①
7		
8		
9	<夏休み> 民法復習会②・後期に向けてのゼミ	
10	<後期> 判例・論文の分析	
11	↓	
12		
1		
2		
3		

前期は消費者法をテーマに、教科書の内容のミニ講義を行いました。

担当者はパワーポイントで資料を作成し、約15分で報告を行い、その後質疑応答という流れです。

また、問題を解きながら民法の復習するゆるっとした会もあります(任意参加)

<卒業生の進路>

公務員など

現在は民間志望もいます◎

<自由記入欄>

民法初心者歓迎！(実際に現3年に、2年までに民法基礎や民法Ⅱを履修していなかった人もいます)
消費者契約法、特定商取引法、景品表示法などなど、商大では開講されていないけど
知っていたら絶対に役立つ法律を学ぶことができます！
ゼミ室内プリンター、ケトル、冷蔵庫、たこ焼き器完備(らしい)！！※前年度白書より

1. 研究主題

国際法は国内法とは異なる独自の規律体系を有しているため、みなさんにとっては馴染みが薄い分野であろう。また、国際法の対象も人権、経済、環境など様々な分野に拡大し、より複雑になりつつある。しかし、昨今の国際情勢及び日本を取り巻くアジア地域の外交、経済、安全保障関係に鑑みれば、「国際社会の法」である国際法の重要性はいくら強調してもしすぎることはない。

本ゼミは、国際法の理解を深めることを通して、国際法が身近の法であることを感じてもらうと同時に、国際社会の様々な事象について分析できる視点を養うことを目的とする。

‘国内管轄事項’である人権保護への取り組み、国際協力が求められる地球環境問題、新たな脅威であるテロとの戦い、「戦場にも慈悲あり」の武力紛争法など、様々な限界を抱えながらも地球規模の問題の解決に取り組む国際法の魅力を感じてもらえればと思う。

2. 指導要領

ゼミ学習は通常の講義とは異なり、学生が「主役」となって切磋琢磨して授業を作っていく場であり、教員はあくまでもコーディネーターであることを理念としており、資料収集や報告等を通して自主的に学ぶ力を身につけてほしい。

★ 3年次

国際法の重要判例、論文、時事問題について、グループ報告、議論を行う。

今年度は、「コソヴォ独立の合法性」「ヘイトスピーチと国際人権法」「欧州人権裁判所と信教の自由」「国際刑事裁判所と個人の処罰」「ロヒンギャ難民問題」「世界貿易機関と輸出制限」「武力紛争法と対テロ戦争」「世界保健機関と COVID-19」について、テーマ別に報告(1グループ4人)を行なった。その他、自ゼミ・他ゼミ対抗ディベート、国際法模擬裁判を実施する予定である。

★ 4年次

卒業論文のテーマ策定、報告、作成指導

※前期は3・4年合同ゼミ、後期は各回の内容で合同、3・4年別があります。

3. 指導テキスト及び参考書

杉原他『現代国際法講義〔第五版〕』(有斐閣、2012年)

その他論文、判例、英語文献を履修者の興味・関心に応じて選定し、配布する。

4. 選考の方法（面接・テスト等）

下記の内容を記載した志望理由書を教員宛(chohakuichi@res.otaru-uc.ac.jp)に提出すること。

提出期限：11月11日(水)

- ① 自己紹介
- ② 本ゼミを志望した理由(400字程度)
- ③ 国際的な時事問題のなかで最も関心があるもの及びそれに対するあなたの意見(1000字程度)
- ④ 大学生活で頑張ったこと、頑張っていること

5. 面接・テスト等の日時・場所

志望理由書で選考する予定だが、希望人数によっては面接を実施することがある。面接を実施する場合には希望者に個別にメールで連絡する。

6. 注意事項・履修希望者へのメッセージ

「楽しくなければゼミじゃない」をモットーとしているが、それは食事会、ゼミ旅行などのゼミイベントからの「遊びによる楽しさ」だけを意味しない。ゼミでの学び、議論を通して、「知的好奇心を刺激される楽しさ」を味わってほしい。

私自身の大学時代での一番の思い出が「国際法ゼミに参加し、ゼミの先生や仲間に出会えたこと」であるように、ゼミ生にもそのような有意義な時間を提供できるように努めたい。真面目にゼミ活動に取り組む人の応募を期待する。

開講日時	木曜日 14:30 ~ 17:00
在籍人数(3年生)	10人
男女比(3年生)	6:4
ゼミ室	3号館 109
ゼミの鬼仏表	仏 ・ 普通 ・ 鬼

Q. 先生はどんな人？

- ・嵐ファン！（松潤推し）
- ・研究でアメリカに半年間滞在
- ・優しい、面白い！

<ゼミの日常>

< 2020 年度年間スケジュール >

12~3	(前年度)
4	論文読解+資料作成+発表 +議論
5	↓
6	
7	
8	
9	(例年はゼミ合宿…)
10	前期の続き
11	ゼミ合宿(予定) 模擬裁判演習
12	↓
1	
2	
3	卒コン

テーマに沿った日本語・英語論文を、担当者数名でレジユメにまとめて、発表します。題材は民族紛争や人権問題、最近話題のWHOについてなど多岐に渡ります！

さらに 議論を通して理解を深めます
<卒業生の進路>

札幌法務局 国税専門官 札幌地方検察庁
北海道経済産業局 日本政策金融公庫
三井住友銀行 NEC マルハニチロ

<自由記入欄>

国際法はもちろん国際政治に興味がある方、英語論文に取り組んでみたい方も是非検討してみてください！英語が得意じゃなくても、先生や論文担当者がフォローします！

教員名 橋本 伸

1. 研究主題

本ゼミでは、民法およびその関連法の重要問題の研究を通じて、民法の理解を深め、かつ法的思考能力を滋養することを目指す。

2. 指導要領

(1) 3年次前期～4年次前期まで

①指定のテキスト・論文等を読んだうえで、事前課題の実施（毎回。全員）、②重要判例の報告（複数回。担当者のみ）、③授業終了後に、当該回の復習として、事例問題の解答作成・提出（概ね毎回。全員）（予定）

※次年度は、物権法および家族法を中心に上げる（予定）。

(2) 4年次後期

各人の卒論のテーマの研究及び発表

3. 指導テキスト及び参考書

*六法は必ず用意する *その他については、開講時に指示する。

4. 選考の方法（面接・テスト等）

①書類選考（(1)志望動機書と(2)課題レポート）+②面接で行う（②は書類選考通過者のみ）。

*一次募集については、学内の申込みをしたうえで、以下の内容をワード等で作成し（手書き不可）、11月1日(水)18時（厳守）までに、橋本（sinhashimoto5211@res.otaru-uc.ac.jp）までメールで提出すること（件名に、「ゼミ選考応募」（自分の名前）を書いてください）

(1) 志望動機書

(ア) 氏名、(イ) 学籍番号、(ウ) 連絡先（連絡のつくパソコンのメールアドレス）、(エ) 所属学科、(オ) 所属サークル、(カ) 出身地、(キ) 民法の講義の受講状況（民法基礎Ⅰおよび基礎Ⅱの単位取得済みか否か、民法Ⅱは現在履修中か否か）、(ク) 将来の進路希望（現段階のものでよいので、具体的に何をを目指すか〔法曹志望の場合、司法試験（ロースクールも）／司法書士など、公務員志望の場合には、道庁職員／市職員／裁判所書記官／警察官など具体的に〕）、(ケ) 本ゼミを志望する理由（なぜ“民法のゼミ”を選択したのか、また多数ある民法ゼミの中で、なぜ“橋本ゼミ”を希望するのか）、(コ) その他（趣味・特技・好きな音楽・漫画・マイブームなど積極的な自己アピールを求める）

(2) 課題レポート

これまで講義等で学んできた民法のテーマの中で、自身が興味をもったテーマとその理由（なぜそのテーマが面白いと思ったのか、またそのテーマのどこに興味を持ったのか、それについて自身はどう思ったのか、など）について自由に（熱く）論じてください（字数は問いません。橋本が読むという想定ではなく、初めて法律学を学ぶ人〔たとえば、高校生〕に民法のここが面白いということが伝わるようにわかりやすく書いてください。難しい議論を紹介する必要はありません）。

5. 面接・テスト等の日時・場所

・面接は、11月16日（月）、20日（金）の2日間で実施を予定。時間等の詳細は1次選考通過者に連絡する。場所は、橋本研究室（507）を予定。

・定員に達していない場合でも、基準に達していない者についてはお断りし、二次募集をかけることがあります。

6. 注意事項・履修希望者へのメッセージ

(1) 履修者として想定する者

①本ゼミは、主として法律系の資格試験（ロースクール志望者を含む）や公務員試験等で民法の勉強が必要な人向けに開講します（ここ数年ずっとのこのような形でを行っています）

②もちろん、上記以外の人を全く受け入れないという趣旨ではありません。ただ、受講者には相当の準備が毎回要求されますので（2で明らかなように、全受講者に毎回何らかの課題に取り組みなければなりません。また〔就職活動等で忙しくなる〕4年前期も毎週開講し、出席が要求されます〔試験直前期は別途考慮しますが〕、上記の目的意識のない方には、苦痛となり途中リタイアとなる可能性があります（なお、課題を行わずに出席を繰り返す場合や欠席を繰り返す場合には、やる気のある他の受講生の迷惑になりますので、途中で受講を禁止し、その時点で単位認定しません）。その点に留意して応募してください（逆に、これらの課題に真剣に取り組めば、かなり力がつくでしょう）。

(2) 欠席等の取扱いについて

・以下の理由から、全回出席を求めます。

①1000条を超える民法を使いこなすためには、コツコツ地道に繰り返し勉強していくしかありません（楽して理解できる方法はありません）。その意味で、ゼミで扱うテーマをすべて学ぶことが必須です。

②（とりわけ、ゼミ受講者の人数が多い場合）一人の受講生が休み始めると、他の受講生も休んでいいという空気感がゼミの中で醸成され、連鎖的に休み始め、——意思疎通してのことかは不明であるが——毎週ローテーションのように誰かが休むという現象が生じます（初年度のゼミ活動を踏まえた感想）。こうした事態になるとゼミ活動は成り立ちません。

※もちろん、インフルエンザ等による体調不良の場合には、欠席を認めますが、その場合には、論文の要約等の別途の課題を事後に行ってもらいます（行わない場合には、(1)②と同様の措置となります）。

(3) 3年次終了時のレポート課題

・毎回の課題に加えて、3年次終了時まで1年間で取り上げたテーマの中から一つ選択してもらい、それについて、教科書や論文を読んで調べて、1万字程度のレポートを提出してもらいます（なお、このレポートは、最終的に卒論の一部としての利用も可）。

・このレポートの提出がない場合にも、(1)②の措置が適用されます。

(4) その他

・3・4年の合同ゼミ（木曜日開講）を予定。時間は概ね2時半から5時までですが、受講者の理解度によりさらに延長することもありますので、ゼミの後にアルバイト等の予定を入れられないようお願いいたします（今年度の前期は、概ね3時間越えでした）。

・開講時までに、民法基礎Ⅰおよび民法基礎Ⅱについては履修し、かつ単位取得済み、また民法Ⅱについては履修中であることが求められる（この点は、履修条件とはしないものの、採用の優先順位は上記の者とする。また未履修・単位未取得の者で受講を認める者については、春休み中に別途課題を実施することを条件として、履修を認める。課題を実施した段階で、内定が確定する）。

・本ゼミを受講することが決まった場合には、その他の民法の講義（民法Ⅲおよび民法Ⅳ）もすべて履修すること。

7. オープンゼミの日時・場所（予定）

・ゼミ室が手狭であるため、オープンゼミは実施しません。

※ゼミに関する質問は、担当教員（橋本）(sinhashimoto5211@res.otaru-uc.ac.jp)まで。

1. 研究主題

このゼミでは、憲法・行政法に関わる判決・論文の精読、報告、討論を通じて、公法学(憲法・行政法)に関する理解を深化すること、法的思考能力の獲得を目的とします。

2. 指導要領

(1)3年生

判例研究を行います。報告者(1-2名)が、判決を1つ取り上げ、関連する判例及び学説を調べた上でレジュメを作成し、それを元に参加者全員で討論を行います。報告者以外は、関連文献の予習はもちろん、質問・意見・感想などを提示することが求められます。

扱うテーマについては、広く公法学に関するものであれば自由に決めて構いません。扱うテーマは大枠において教員からある程度の提案を行いますが、最終的には自らの興味関心に従って決定して構いません。私の研究対象は、外国人・難民の法的地位、国籍に関する法理論ですが、ゼミで扱うテーマはこれに拘束される必要はありません。

判例研究が中心ですが、時折テキスト(邦語または英語文献)の輪読もしたいと思います。扱うテキストは受講生と相談しながら決定したいと思います。テキストの内容は、憲法・行政法のほか、比較法(特に外国憲法)、法思想史(特に憲法学に関する古典文献)、国際人権法などを予定しています。

また、3年生後期からは、上記作業と並行しつつ、卒業論文を見据えた活動もしてもらいます。

(2)4年生

3年生の発表に協力しつつ、卒業論文の準備・作成(中間発表含む)

3. 指導テキスト及び参考書

六法、憲法基礎Ⅰ・Ⅱ、憲法Ⅱ、行政法Ⅰ・Ⅱにて使用した判例集・教科書。それ以外は教員から適宜指示します。他の法律(民法、刑法など)に関するテキストを使うこともあります。その場合は図書館から借りて来てください。

4. 選考の方法(面接・テスト等)

面接によって判断します。受け入れの可否については、志望理由書、学習意欲、全体の成績評定(GPA)などを総合考慮して判断します。

5. 面接・テスト等の日時・場所

以下の手順によって行います。

(1)申込期間中に学部教務係所定のアンケートフォームに沿って手続・登録をして下さい。

(2)11月13日(月)17:00までに志望理由書を作成し、研究室(1号館322※商大には322号室が2つあり、私の研究室は1号館の方です)まで持って来て下さい。不在のときには研究室前に設置してある提出用の箱に投函して下さい。志望理由書には、氏名、学生番号、自己紹介(所属している部活、趣味、出身高校など)、連絡が取れるメールアドレス、志望理由、憲法学に対して自身が抱えているイメージ、取り組みたいテーマ(漠然としたものでよい)などを記入して下さい。分量はA4用紙1枚から3枚程度。

(3)11月16日(月)14:30から行うゼミ面接に参加して下さい。集合場所はゼミ室(309)です。授業などにより日程が合わない場合は個別に面接を行いますので、その旨の連絡して下さい。

※面接の日程は諸事情により変更する場合があります。随時掲示板などを確認して下さい。

6. 注意事項・履修希望者へのメッセージ

・受け入れ人数は10人前後。所属学科は問いません。

・原則として、憲法基礎Ⅰ・Ⅱ、憲法Ⅱを履修した、あるいは履修する予定であること。さらに、行政法Ⅰ・Ⅱを履修する予定であること。諸事情によりこれらの科目を履修できない場合は、自主的に教科書などを読んで知識を補って下さい。行政法はこの募集要項を読んでいる2年生には馴染みがない科目だと思いますが、憲法と行政法は車の両輪のように非常に関連性が高い科目です。このゼミでは、憲法的視点だけではなく、行政法的視点からも検討を行います。

・ゼミの準備等はそれなりにハードかもしれませんが、その分だけ能力が身につくことは保証します。資料の調べ方、発表用資料の書き方、分析のやり方について基礎から丁寧に指導しますので心配する必要はありません。大事なのは、やる気・熱心に取り組む姿勢です。特にゼミ活動に積極的に参加する学生を歓迎します。

・質問などがあれば、ybando@res.otaru-uc.ac.jpまで。

・オープンゼミについては manaba や掲示板などを確認してください。また、我々のゼミではオープンゼミ中に特別なイベントなどを実施する予定はありません。これは、イベントという特別な状況だけを見て勘違いしてゼミに入ったものの普段のゼミの様子は異なっていた、という mismatch を防ぐためです。普段のゼミの様子を見学してゼミに入るかどうかを判断してください。

社会情報学科

Information and Management Science

社会情報学科 開講ゼミナール一覧

阿部 孝太郎.....	77	佐山 公一	90
大津 晶.....	79	沼澤 政信	91
片岡 駿.....	82	平沢 尚毅	93
加地 太一.....	83	深田 秀実	95
木村 泰知.....	85	三浦 克宜	98
小泉 大城.....	87	三谷 和史	100

1. 研究主題

社会心理学や社会学をベースにした消費者行動論(宣伝を中心にした戦略立案)。及び、SNS を中心にしたコミュニケーション(「組織コミュニケーション論」のシラバス参照)と、IT に関連したコラボレーション(「組織情報論」のシラバス参照)に関する諸科学。

2. 指導要領

下記テキストで理論的知識を得ながら、実際のマーケティング活動に応用していく。ゼミの前半時間は学生によるプレゼンテーション(テキストの内容をまとめる)、後半時間はプロジェクト(ここ数年は小樽のスイーツの普及活動)の活動(ブレインストーミング・撮影等)を行うことが多い。

3. 指導テキスト及び参考書

- ・山本晶 『キーパーソン・マーケティング—なぜ、あの人のクチコミは影響力があるのか』(東洋経済新報社)
- ・J.バーガー 『なぜ「あれ」は流行するのか—強力に「伝染」するクチコミはこう作る』(日本経済新聞社)

※その他、アメリカの大学の消費者行動論のテキストの抜粋や、山口周『外資系コンサルの知的生産術』(光文社新書)など。

4. 選考の方法 (面接・テスト等)

「阿部ゼミを志望する理由」「感銘を受けた本(or 映画)」に関して、A4・二枚にまとめて(各テーマの分量バランスは応募者の都合でよい)、ゼミ室(408)か阿部研究室(533)の連絡用のボックスに提出(表紙は不要。学生番号と氏名を冒頭に明記)。募集受付期間は、ゼミ募集期間開始から4日以内(土日・祝日を除く)。

5. 面接・テスト等の日時・場所

ゼミ室(408)の前に、面接日時(原則として応募書類を出した者のみ面接)の掲示をする。基本的に、火曜、木曜の四講目の時間帯に面接を行う。

※上記の内容の変更の場合、manaba コース「2020 年度ゼミ選考」の掲示板か、ゼミ室(408)前の掲示で周知する。

6. 注意事項・履修希望者へのメッセージ

予備知識のない人でも楽しみながら、SNS アクセス数・就職等々、成果を出すように工夫していきます。他学科も歓迎です。

開講日時	木曜日 14:30 ~ 17:40
在籍人数(3年生)	8人
男女比(3年生)	1:1
ゼミ室	408
ゼミの鬼仏表	仏・普通・鬼

Q. 先生はどんな人?

- ・ゆったりしているダンディーな人
- ・スイーツやカフェが好きで詳しい
- ・車が好き

< 2020年度年間スケジュール >

12~3	(前年度)	新歓	
4	ゼミの日常を参考にみてね		
5	↓		
6			
7			
8			夏休み
9			
10	↓		
11			
12			
1			春休み
2			
3			

<ゼミの日常>

- * 輪読・プレゼン
- * スイーツ・カフェのプロジェクト活動
→ インスタやツイッターを利用
実際に気になるカフェに行ったりします!!

<卒業生の進路>

日本郵政
ジェイコム
桂和商事
北海道銀行
トヨタコミュニケーション・システム
公務員など

<自由記入欄>

スイーツやカフェが好きな人、SNSのフォロワーや投稿数が多い人大募集!!!
社情じゃなくても学科は問わないので他学科の人でもぜひ応募してみてください

1. 研究主題

社会工学／都市計画／地域経営／都市空間解析／都市のOR

2. 指導要領（2020年度前期はすべての研究指導をオンライン（Zoom & Miro）で行いました）

■ 3年生： 都市・地域に関する問題意識を深め、知的技法の向上を目指します（毎週木曜午後3時間程度）

- ① 文献・資料学習：世界の都市計画に関連する新たな話題を取り扱った文献や資料を用いて学習します。
【2020】SideWalkLab(2019)：「Toronto Tomorrow | Master Innovation and Development Plan」
- ② 重点プロジェクト：学外の機関と連携して実践的なプロジェクトに取り組みます。
【2020】仁木町と連携してワイン関連産業の振興政策を「地方創生政策アイデアコンテスト2020」に応募
【2019】観光庁委託事業「未来型観光人材発見プロジェクト」に参加
【2018】小樽駅前第一ビル再開発準備組合等と連携して「小樽駅周辺地区の利用状況および整備方針に関する市民意識分析」や未来創造高校と連携して「高校生によるまちづくりワークショップ」を実施
【2016】岩内町と連携して内閣府主催の「地方創生政策アイデアコンテスト2016」に参加（優秀賞受賞）。資料と動画→
<https://contest.resas-portal.go.jp/2016/>
- ③ ゼミ間交流／インゼミ：他のゼミや他大学の学生と交流し、異なる価値観や複眼的な視点を学びます
・ ディベート大会（4回）を通じて論理的な思考力や議論のスキルを身につけます（2020年度は中止）
・ 他大学（東北公益文科大学、福知山公立大学、京都産業大学、神戸大学）と合同でゼミ合宿を行います（2017年は黒松内町、2018年は山形県庄内町、2019年は京都府福知山市、2020年は島根県雲南市）。2020年はオンラインフィールドワーク&大学間交流および現地での政策プレゼンテーションを予定。
・ 次年度は大津ゼミが幹事になるので、北海道内の自治体・地域と連携してテーマを設定し、他大学を受け入れます（2021年度のゼミ重点プロジェクト）。

■ 4年生： 卒業研究もしくは重点プロジェクトに取り組みます毎週火曜午後個別で30分/人

- ① 卒業研究（基幹テーマ）：ゼミとして継続的に取り組んでいる研究テーマに取り組みます
【2020（各テーマ2名）】「災害時の自治体間連携について」「食品ロスに注目したフードマイレージについて」「三次元空間の道路ネットワークについて」「公共空間における譲り合い行動について」
- ② 卒業研究（挑戦テーマ）：都市計画・地域科学・社会工学に関連するもので、指導可能と判断するものは基本的に受け入れます（⇒過去の卒業論文題目はエントリーフォームに掲載しています）
- ③ 重点プロジェクトの企画・管理：当該年度のゼミ重点プロジェクト（2021年度は地域政策系5大学インゼミ）の企画・運営を行い実績報告書としてまとめます（これを卒業論文とします）

3. 指導テキスト及び参考書

特に定めていません。活動内容や研究テーマ、学生の予備知識に応じて指示します。

4. 選考の方法（面接・テスト等）

エントリーフォーム（<https://bit.ly/3g8BmZ7>）に記入・提出してください。



5. 面接・テスト等の日時・場所

原則としてエントリーフォームで提出された資料（特に志望理由と小論文）を基に受け入れの可否を判定します（必要と希望に応じて面接を実施します（対面がNGの場合はZoom等））。提出期限は設けませんが、11月2日以降順次内定を出し、内定者が12名（うち社会情報学科6名以上）に達した時点で募集を終了します。

6. 注意事項・履修希望者へのメッセージ

- 都市計画やまちづくりは学際的・総合的な学問分野です。所属学科に関係なく、大津ゼミの研究テーマに関心がある学生は応募を検討してみることを勧めます（これまでほぼ毎年度すべての学科の学生がいました）。
- 「都市計画」に関する事前の専門知識は不要です。むしろ現代の都市・地域や社会が直面している課題に幅広く関心を持っている学生を歓迎します。また、勉強や研究だけでなく、花見、ゼミ間交流、合宿（インゼミ）、ゼミ同窓会、卒業旅行など、年間を通じて種々のイベントがあるので、大学生活の後半2年間はゼミ活動を優先して取り組む意欲が高く、協調性と主体性を持った学生が向いているでしょう。
- 「大津ゼミは過剰に厳しい/ゼミの時間が長い」や「サークルやバイトができない」などという誤った情報が広まっているようですが、これはいわゆるフェイクニュースです。オープンゼミなどの機会を利用して現役のゼミ生に話を直接聞くなど情報収集し、事前に自分の目でしっかりと確認することを勧めます。
- また近年、上級生が面接を実施し所属の可否に関与するゼミが増えているようですが、大津ゼミではそのようなことはしません。先輩の機嫌を取ったり顔色をうかがったりするような無意味な準備はいっさい不要です。

7. オープンゼミの日時・場所

オープンゼミの情報はmanabaに掲載します。ゼミ活動の中間報告会を10月17日に実施予定です。中間報告会の見学要領や後日閲覧するための動画についてもmanaba等で案内します

【よくある質問と回答】

「知っている先輩や同期の希望者に知り合いが居ませんが大丈夫ですか？」

→ まったく問題ありません。大津ゼミは同質性が高い集団を目指していないので、むしろその方が望ましいとも言えます。都市の本質のひとつは多様性です。

「何が評価されるのですか？」

→ 現時点の知識の量や成績はあまり関係ありません。都市や地域に対してどのような関心を持っているか、ゼミ活動全体のパフォーマンスを高めることができるか、それらを通じてどれだけ学ぼうとする意欲があるかを評価します。

「面接をする場合、個人とグループのどちらですか？上級生も面接（評価）に同席するのですか？」

→ 基本的には面接はしませんが、学生からの要望があるなどして実施する場合は教員との1対1（対面がNGの場合はオンライン）です。上級生による評価は自分と同じような価値観の後輩を高く評価し結果としてゼミ全体の同質性を高める傾向が

あるため、多様性を重視する大津ゼミでは不相当と判断し、上級生による面接はいっさい実施しません。

「3年次に取り組む文献や重点プロジェクトは事前に決まっている／自分たちで決めるのですか？」

→ 文献は教員が複数示すものから学生に選んでもらいます。重点プロジェクトも基本的には同様の方針ですが 2021 年度については「地域政策系 5 大学インターゼミナール」の幹事ゼミとしての地域研究活動に決まっています。

「社会情報学科以外の学生も所属できますか？」

→ 大津ゼミは多様性を重視しますので歓迎です。実際にほぼ毎年全学科の学生がいます。なお、1 次選考では学科を跨いだ応募は認められませんが、2 次選考以降は 1 次募集でどの学科に応募したか関係なく自由に応募できます。

「数学やコンピュータができないとやっていけませんか？」

→ そんなことはありません。ただしいずれも問題解決のための“道具”として便利なので使いこなせる方が良いでしょう。

「部活・バイト・就活が忙しいのですが欠席は何回できますか？」

→ 出席回数で成績を決めているわけではありません。欲張って両立させてください。

「留学したいのですが可能ですか？」

→ 多くのゼミ生が留学や海外インターンシップに参加しています。戦略的/積極的な休学を含め柔軟に対応します。

「大学院に進学したいのですが可能ですか？」

→ もちろん可能です。進学後の指導も可です。他大学への進学も前向きに考えてください。

「大津ゼミは、就職が良い／悪いですか？」

→ 過去の主な進路（下記）と現役ゼミ生の意見を参考にしてください。卒業生は幅広い分野で活躍中です。

卒業後のネットワークが強いのも大津ゼミの特徴です。→大津ゼミ同窓会は毎年東京・札幌それぞれで開催。

【大津ゼミ卒業生の主な新卒時進路（内定含む）】

○金融・保険

日本政策金融公庫，商工中金，ろうきん，北洋銀行，北海道銀行，北陸銀行，札幌信用金庫，小樽信用金庫，帯広信用金庫，SMBC 日興証券，野村證券，岡三証券，芙蓉総合リース，三菱 UFJ リース，日本生命，第一生命，東京海上日動，損保ジャパン，三井住友海上火災保険，アフラック，JA 共済連

○メーカー・食品

富士通，東芝，日立，京セラ，神戸製鋼，コマツ，TOTO，レンゴー，朝日工業社，ホクエイ，アストラゼネカ，ノバルティスファーマ，日本製紙，コクヨ S&T，サントリーフーズ，山崎製パン，明治グループ，六花亭，ボンバドウル，メゾンカイザー

○建設・インフラ・運輸・不動産・住宅・旅行

大林組，前田建設，一条工務店，吉野石膏，JR 北海道，JTB 北海道，三菱地所，北海道電力，日本航空，全日空，エアドゥ，マンダリンオリエントール東京，ミサワホーム北海道，竹中工務店，北ガスジェネックス，三井不動産リアルティ

○商社・小売り・流通・通信・広告・サービス

双日，ぎょれん，日本紙パルプ商事，ムトウ，イオン北海道，丸ヨ西尾，ライトオン，フィールズ，NTT 東日本，NTT ドコモ，ドコモ C S 北海道，NEC ソフトウェア，日立ソリューションズ，日立公共システム，メンバーズ，北日本広告，キャリアバンク，大丸藤井，マイナビ，ディップ，グローヴエンタテイメント，IDOM，マーキュリー，三菱商事エネルギー，コープ札幌，日本放送協会（NHK），パーソルプロセスアンドテクノロジー，クレスコ，内田洋行，リンクアカデミー，C N S

○公務員・進学など

札幌市議会議員，小樽市議会議員，国土交通省，北海道経済産業局，旭川市，石狩市，苫小牧港管理組合，北海道教育委員会（高校英語教員），北海道警察，小樽商科大学大学院

開講日時	木曜日 14:30~17:30
在籍人数(3年生)	11人
男女比(3年生)	6:5
ゼミ室	209A
ゼミの鬼仏表	それはあなた次第！！

Q. 先生はどんな人？

優しくて面白い！
物知りなスーパーマン！
歩く Wikipedia は都市伝説じゃなかった。
相談を親身に聞いてくれる！
ゼミ生のお父さん

< 2020 年度年間スケジュール >

12~3	(前年度)3年生版 (4年生は卒論)
4	仁木町/ニュース発表/トロント輪読
5	
6	研究計画発表会
7	
8	3年ゼミ合宿@島根 オンライン
9	
10	中間発表会
11	
12	↓
1	新歓
2	
3	成果発表会 & 卒コン

<ゼミの日常>

今年は Zoom でのゼミですが、定期的にオンライン飲み会を開催し交流を深めています！！
ゼミ室でみんなと会ってゼミしたいなあ！
(心の叫び)

<卒業生の進路>

卒業生の進路は多岐に渡っています！
詳しくは前ページをご覧ください😊

<自由記入欄>

大津ゼミでは、毎年様々なプロジェクトに取り組んでいます。
今年は仁木町をメインに、ニュースを調べ発表するチームと都市計画に関する文献をまとめ発表するチームに分かれて取り組んでいます。個人としてゼミとしても成長できる環境が整っています！
ぜひ大津ゼミへ！！！！

1. 研究主題

私のゼミのテーマは「統計学・機械学習の実社会への応用」です。実社会の様々な問題に対して統計学・機械学習の方法を用いて取り組んでいきます。本ゼミでは統計学や機械学習の手法を習得し、データを尊重した課題解決の能力を身に付けることを目的とします。

2. 指導要領

基本的には各自が興味のある身近な問題を研究テーマとし、それぞれのテーマに関して調査・研究を行っていきます。テキストの輪読や研究発表を中心にゼミ活動を進めていきます。3年生の間は研究に必要な知識をテキストの輪読を通して習得することを主な目標とし、3年の後半までに具体的な研究テーマを決定してもらいます。研究に必要な知識は基礎数学(線形代数と微積分の基礎)や統計学、機械学習、プログラム言語(Python)等で、ゼミ活動を通してこれらの知識を学習していきます。研究テーマの決定後はこれらの学習と並行してそれぞれの研究に取り組んでもらいます。

3. 指導テキスト及び参考書

1. 「Python 機械学習プログラミング」, S.Raschka 他著, インプレス
2. 「Python ではじめる機械学習」, A.C.Muller 他著, オライリージャパン
3. 「ゼロから作る Deep Learning」, 斎藤康毅著, オライリージャパン
4. 「scikit-learn と TensorFlow による実践機械学習」, A.Geron 他著, オライリージャパン
5. 「パターン認識と機械学習 上・下」, C.M.Bishop 著, 丸善出版

4. 選考の方法(面接・テスト等)

個別面接を行います。以下の要領で志望理由書を作成し、提出してください。提出期限は11月11日(水)20時とします。

提出先: xskataoka★★★ (星マークの部分は @res.otaru-uc.ac.jp です.)

件名: 片岡ゼミ志望理由書(学生氏名)

形式: ファイル名を「片岡ゼミ志望理由書(学生氏名)」とし、A4版1~2ページにまとめること。ファイルの形式はPDFとする。

内容:

1. 学生番号
2. 氏名(ふりがな)
3. 学科
4. 連絡が取れる E-mail アドレス
5. 出身地, 出身高校等
6. 趣味, 特技, 部活・サークル等
7. 興味のあるテーマ・問題等
(具体的な研究テーマは配属後に決めるので, 多少曖昧なものでも構いません)
8. 志望理由

5. 面接・テスト等の日時・場所

第一次選考期間(11月16日~11月27日)の間に研究室(1号館318号室)で個別面接を行います。具体的な面接時間帯については志望理由書のメールアドレスに連絡します。また、選考期間が原則遠隔期間となった場合はPC等を用いて遠隔で面接を行う予定です。

6. 注意事項・履修希望者へのメッセージ

統計学・機械学習に関する基礎知識等はゼミ配属時には求めていませんが、線形代数・微積分に関する初級レベルの計算やPCを用いたプログラミングが必要になるので、数学やPCの使用に対して苦手意識が無いことが望ましい。また、研究では各自のテーマを自ら調査・研究していく必要があるため、自ら考え、挑戦していく気持ちを養っていく必要があります。

1. 研究主題

本ゼミの特徴というのは「自由」という言葉に表わされます。好き勝手にやれると言うことではなく、各自が興味ある問題を自分で発見し、どう独自に取り組む解決するかを主題とし、自由に研究を進めることを指しています。基本的には、身近な問題に対して、最新の情報科学、マネジメントサイエンス（オペレーションズ・リサーチ）の考え、そしてコンピュータの活用などにより問題解決をはかっていきます。これらを通して本ゼミでは論理的問題解決能力、コンピュータ・リテラシー、発表能力をトレーニングしていくこととなります。主に以下のようなテーマなどを扱うでしょう。

- 意思決定手法と経営効率評価分析によるベストな戦略
- 商品企画およびマーケティングにおける科学的な方法論
- データ分析による真実の解明
- 最適化（オペレーションズ・リサーチ）の考えを用いた問題解決学
- アルゴリズム（プログラミング）の最新デザイン
- コンピュータの利用と応用による新しい世界

また、ゼミのホームページ (<http://www.otaru-uc.ac.jp/~tkaji51/>、あるいは「加地ゼミ」で検索してください) の「加地ゼミの卒論」のところに過去のゼミ生の卒論が示されています。多くの様々な問題にトライしている研究内容を見ることができます。

2. 指導要領

各人が興味あるテーマを選択し、それぞれについて調査発表を行い、ゼミを進めていきます。各個人のテーマ、個性に合わせて指導を行い4年次の卒業研究の完成を目指します。具体的には各自が担当箇所を決め（自分で問題を発見し）、その担当箇所を発表してもらいます（問題解決を進めていく）。

また、自ら調べ、解決していくことが中心となりますので、自分で考え、トライしていく力をもっているか、それを養う気持ちが必要となります。

3. 指導テキスト及び参考書

特になし

4. 選考の方法（面接・テスト等）

面接を行い選考します。志望書を提出して頂き、後日、各自の連絡先に面接の日時、場所、方法を連絡します。また、今年度は未定な部分がありますので、ゼミ説明会、面接方法および面接時間など詳細については、随時、次の場所に示しておきます。

<http://u0u0.net/ySpv>

面接を希望する方は、下記の要領で「加地ゼミ志望書」を提出してください。

提出方法： E-mail で志望書ファイルを添付して送ること。各自の確認のため、返信メールを送ります（無事送信がなされたか確認してください）。

締切り： 11月12日（木）12：00

提出先： kajidesu51★★★

提出先注意：「★★★」を「@gmail.com」に書き換えメールすること。

件名： 学生番号（氏名）@加地ゼミ志望

（例：2018500(山田太郎)@加地ゼミ志望）

志望書ファイル： ワードプロ書き（Word or PDF）とし、A4版1、2枚でまとめること。また、ファイル名を『学生番号（氏名）』とする。すなわち、『2018500(山田太郎)』としてください。

志望書内容： ①学生番号 ②氏名（ふりがな）③学科 ④性別 ⑤E-mail（連絡がすぐ取れるメール）⑥志望ゼミ（第3希望まで志望順）⑦出身地、出身高校 ⑧部活、サークル、アルバイト等 ⑨面接日(11/17)における都合の悪い時間（下記の面接の日時参照）⑩志望理由（800字程度とし、自己アピールなども交えながら記すこと）

5. 面接・テスト等の日時・場所

日時： 11月17日（火）指定された時間

10:00～16:00の間で実施しますので、当日の都合の悪い時間を志望書に記してください。後日、各自のE-mailに指定時間を連絡します。都合の悪い時間は少ない方が助かります。また、当日都合が悪い場合は、17日以前で都合の良い日時を複数記してください。ただし、可能な限り17日をお願いします。

場所： Zoom 面接、あるいは加地ゼミ室（317教室）

以上、日時、場所の詳細は、各自の連絡先（E-mail）に送られます。

6. 注意事項・履修希望者へのメッセージ

ゼミ紹介および選考方法などについては、随時、次の場所に示してきます。

<http://u0u0.net/ySpv>

その「初めに見ること（PDF）」を最初に見てください。

【質問先:E-mail】 kajidesu51★★★

注意：「★★★」を「@gmail.com」に書き換えメールすること。

ゼミ紹介白書

< 加地 ゼミ >

開講日時	木曜日 14:30 ~ 16:00
在籍人数(3年生)	7人
男女比(3年生)	3:4
ゼミ室	317
ゼミの鬼仏表	(仏) ・ 普通 ・ 鬼

Q. 先生はどんな人?

- ・早口で何を話しているのか分からず(ゼミ生には分ると分かる)
- ・大津先生と日本酒が大好き
- ・女の子に優しい

< 2020年度年間スケジュール >

12~3	(前年度)
4	新歓
5	
6	
7	
8	夏休み
9	〃 (飲み会ほど)
10	オープンゼミ
11	
12	
1	4年生卒論発表会
2	春休み
3	〃 (遠いコトほど)

<ゼミの日常>

発表(有)	①	発表(無)
① 発表者 (14:30)	② ③ のど こか 発表	14:30~16:00 まで 発表を閉く
② 発表者 (15:00)		
③ 発表者 (15:30)		

<卒業生の進路>

- ・三菱電機
- ・厚生労働省
- ・日本生命
- ・NTT東日本



<自由記入欄>

- ・早く帰れる!(16時前に終わるかも)
 - ・自由に興味のあるテーマを決めて調べることができます。
 - ・面白い人募集
- "ゼミ合同説明会に参加するので、ぜひお話を聞きに来て下さい!"

1. 研究主題

木村ゼミでは、社会情報学科の強みである人工知能や情報処理の技術を活かして、大学周辺の問題を解決するシステムの構築をしています。最終的には、商学部らしく、ビジネスに結びつける取り組みを目指しています。今年は、小樽商科大学の学生を対象とした時間割アプリとして「商大生のための時間割（<https://shodai-timetable.web.app>）」を開発しました。

研究では、電子化されたテキストを処理する自然言語処理や人工知能関連の分野を対象としており、最近では、対話処理やフェイクニュース検出、ファクトチェック、情報抽出などの研究を進めています。具体的には下記のような研究プロジェクトがあります。

- ✓ 異なる自治体の議会会議録のフォーマットを整えるコーパスプロジェクト <http://local-politics.jp/>
- ✓ 政治課題を解決する上で適切な情報を提示することを目的としたタスク設計 <https://poliinfo2.net/>
- ✓ 小樽市のオープンデータを用いて可視化するプロジェクト <https://otaru-open.city/>

2. 指導要領

3年生は、情報工学や人工知能関連の勉強をしながら、身近な問題を解決するプロジェクトを立ち上げます。また、pythonのプログラミングを勉強しながら、自然言語処理の基礎を学びます。

4年生は、週1回程度、自分の研究テーマの進捗状況を報告してもらいます。

3. 指導テキスト及び参考書

1. ゼロから作る Deep Learning 2 —自然言語処理編, 斎藤 康毅 著, 2018.
2. 自然言語処理概論 (ライブラリ情報学コア・テキスト), 黒橋禎夫(著), 柴田知秀(著) サイエンス社, 2016.

4. 選考の方法 (面接・テスト等)

選考方法 応募フォームの内容と面接(5分程度)で決めます。

応募方法 木村ゼミの申し込みフォームから必要事項を記入して応募してください。

応募フォーム <https://forms.gle/AafcmthJB6M2WYw98>

注意: 事前に Gmail アカウントを取得してください。

木村ゼミサイト <http://minna.ih.otaru-uc.ac.jp> からリンクを貼っておきます。

応募〆切 **11月11日(水) 16時まで**



5. 面接・テスト等の日時・場所

日時 **11月17日(火)** 場所 ゼミ室 (3号館 417号室) あるいは、zoom による個人面談
面接の時間は、メールでお知らせします。 <http://minna.ih.otaru-uc.ac.jp/> にも掲載します。

6. 注意事項・履修希望者へのメッセージ

木村ゼミでは、学生の意見を取り入れつつ、社会情報学科らしい、研究にもつながるプロジェクトを立ち上げます。プロジェクトを成功させるには、3人ぐらいのチームで(最低でも)3ヶ月ぐらい、メンバの全員が頑張ることが必要です。ゼミ活動に時間をかけても良いと考えている人は、ぜひ、応募してください。

開講日時	木曜日 14:30~17:40
在籍人数(3年生)	10人
男女比(3年生)	6:4
ゼミ室	3号館417号室
ゼミの鬼仏表	<div style="display: flex; align-items: center; justify-content: center;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; width: 30px; height: 30px; display: flex; align-items: center; justify-content: center; margin-right: 10px;"> 仏 </div> ・ 普通 ・ 鬼 </div>

Q. 先生はどんな人?

ゼミ生のやりたいこと、好きなことを尊重してくれる先生です!とにかく優しいの一言に尽きます!

ゼミ生一人一人に最大限のサポートをしてきて、相談もしやすく、ゼミ生から愛されている先生です!

< 2019年度年間スケジュール >

12~3	(前年度)
4	
5	
6	
7	
8	
9	
10	
11	
12	新入生歓迎会
1	
2	強化週間、追いコン
3	

<ゼミの日常>

木村ゼミではプロジェクトを軸にゼミ活動をしています。どんなプロジェクトにするか、何人で取り組むかなどはゼミ生同士で話し合っ

て決めます。
前年度は「商大生のための時間割」というWebアプリの作成に3年生全員で取り組みました!

<卒業生の進路>

公務員、金融、情報系など様々です!

<自由記入欄>

木村ゼミは何かやりたいことがある人はもちろん、まだゼミで何をやりたいのかはっきりしていない人も大歓迎のゼミです!実際にゼミに入って自分のやりたいことが見つかったという人も多くいます。入ってきつと後悔はしません!!

1. 研究主題

「データ科学研究」

近年の急速な情報技術(IT)の普及にともない、企業や政府、官公庁等の組織活動においてデータを有効に利用することの重要性は高まっています。また、今年になって突然起きたコロナ禍に関連する様々なニュースを見聞きして、「世界中で似たようなデータを観測しているはずなのに、なぜ組織や個人など、人々の取る反応や対策が大きく食い違うのか？」と疑問を持った学生も多いのではないのでしょうか。こうした要因のひとつとして、「同じデータを得たとしても、それをどのような観点で分析し、どのような基準で考察するのかによって引き出される結論は変わりうる」ということが挙げられます。こうしたテーマは、近年注目されている「データ科学」という分野でも扱われている、重要で本質的な問題のひとつです。

データ科学とは、統計的な考え方を基礎とし、コンピュータを駆使したデータ分析を行うことで、客観的かつ定量的な知見を見出すという考え方、および関連するさまざまな方法論のことです。

本研究では、データ科学の考え方を通じ、まだ詳細に分析されていない分野やデータ等から新たな知見を見出す能力を身につけ、激動する社会の荒波の中でも存分に活躍可能な人材になることを目標とします。

2. 指導要領

当ゼミでは理論と実践の両方のバランスを重視します。理論とは、いわゆる統計学についての正確な理解に基づく知識のことであり、実践とは、対象としている分野についての幅広い知識と、統計的な分析を行うにあたって、コンピュータを自在に駆使するスキルのことを指します。こうした能力は、数学とプログラミングの両方に深く関わっていますが、文系大学生の中にはしばしば学ばなくてよいものと勘違いしている姿が散見されるのはたいへん残念なことです。

しかし、これらの能力は実際にはデータ科学という分野とは関係なく、社会人として活躍するために不可欠なものです。このような能力を備えた人材になることは、決して容易ではないかもしれませんが、本質的で高い目標に向けた努力を惜しまず、長期的な視野に立った学習を通じて、社会でたくましく活躍することを目指す学生の参加を歓迎します。

3. 指導テキスト及び参考書

宮川公男 著、「基本統計学 (第4版)」, 有斐閣, 2015年 ほか

4. 選考の方法 (面接・テスト等)

エントリーシートと面接による選考を予定しています。

ただし、今年度はコロナ禍の影響で例年とは異なる対応が予想されます。

お手数ですが下記 URL (または下記 QR コード) より Web にアクセスして最新情報の確認をお願いします。



<https://otaru-uc.ac.jp/~dkoizumi/2021/>

5. 注意事項・履修希望者へのメッセージ

- ・突然のコロナ禍で大学においても学ぶことの意義があらためて問われています。ゼミ配属を機会に新しい価値観に触れながら、社会の荒波を乗り越える力を養ってみませんか？
- ・失敗をおそれぬチャレンジ精神あふれる学生の参加を歓迎します (出身学科や性別等は問いません)
- ・わたしの個人的経験にすぎませんが、数学やプログラミングに関する事項に抵抗の少ない学生は、データ科学関係の研究にあたって長期的な伸びしろが大きい気がします。ただしこれは決して関連する科目の過去の試験の点がよいかどうかを問題にしているわけではありません。
- ・当ゼミの分野と関連の深い社会情報学科の配当科目としては、計画数学 I, 計画数学 II, 統計科学, 情報処理 I, 情報処理 II, 意思決定論 I, 意思決定論 II などが挙げられます。
- ・2020 年度前期のゼミはすべてインターネット経由の Zoom で行いました。当初は教員・学生とも不安がありましたが、やってみると意外にあまり問題もなくこなすことができました (案ずるより産むが易し)。
- ・単なるサービスの消費者は、独創的なサービスの生産者 (たくましい社会人) にはなれません。したがって、以下に該当する学生 (いわゆる「指示待ち族」) は、おそらく当ゼミで得るものは少ないかもしれません: 1) 目先の利益にしか興味のない学生, 2) 安易で楽な道をやしとする学生, 3) 教員に言われたことしか取り組めない学生。
- ・ゼミの見学はいつでも歓迎です。
- ・当ゼミのご真言: 「ぐるなあぶない」

開講日時	火曜日 14:30 ~ 16:30
在籍人数(3年生)	1人
男女比(3年生)	1:0
ゼミ室	209E
ゼミの鬼仏表	仏 ・ 普通 ・ 鬼

Q. 先生はどんな人?

- ・ 統計学を愛していて、優しい
- ・ 統計ギャグが時折垣間見える!

<ゼミの日常>

< 2020 年度年間スケジュール >

12~3	(前年度)
4	輪読
5	
6	
7	
8	夏合宿
9	輪読
10	
11	
12	
1	
2	
3	

自分の担当するテキストの部分をまとめて発表

他の人はその発表を聞いて質問や意見する

<卒業生の進路>

- ・ 大学院に進学
 - ・ ITベンチャー
 - など
- 当ゼミの進路は多岐にわたります。

<自由記入欄>

今のコロナの状況で重要視されている分野はデータ科学(データサイエンス)であります。当ゼミに入れば、その分野の勉学をすることができ、これからの時代に必要不可欠な人材になれる!!

ゼミ合同説明会にも参加するので、ぜひ来てください!

1. 研究主題

人間の認知過程（情報処理過程）のしくみを調べる。実験室実験や社会調査をおこない、情報処理過程のモデル化をおこなう。Web 技術や IT 技術の発展に伴い、私たちのコミュニケーションが急激に変化してきている。たとえば、ツイッターはその場で起きた出来事を不特定多数の人に即時に発信できるが、過去にこのような情報伝達手段は存在しなかった。佐山ゼミでは、新たに生まれたコミュニケーションのしくみを調べる。次の 4 つのテーマで研究を行う。

- 言語の理解：Web 上の文章や広告を人がどのように理解しているか？ ツイッターやフェイスブックなどを介した Web 上でのコミュニケーションと現実のそれとはどこが違うか？
- 顔の認知：人が相手の顔から性別、人種、民族、職業、年齢、魅力、個性、性格、感情などを読み取ろうとすると、読み取ろうとする本人の情報がどのように影響するか？
- 国、地域、都市のブランドイメージ：海外の観光客が Web やガイドブックなどを使って、訪日前に、日本、北海道、小樽、札幌のイメージをどのようにつくっているか？ そうしたイメージは、訪問後にどのように変わるか？
- 大学生の職業選択：うまく職業選択のできる大学生はどのように自分に自信を持っているか？ 親の考え方や仕事は大学生の職業選択にどのような影響を与えるか？

2. 指導要領

3 年次：

- (1) 言語、顔、ブランドイメージなどの認知過程の基礎的な知識を身につける。認知心理学の教科書を輪読した後、最新の研究論文を輪読する。発表者は発表内容をパワーポイントファイルにまとめる。この過程を通じて、自分の興味に従い、研究すべき卒業論文のテーマを決める。
- (2) 模擬実験を体験する。有名な心理現象に関する実験を、できあいの実験プログラムを使っておこなう。実験のやり方を練習する。
- (3) 模擬実験の結果を分析し発表する。実験データの分析のやり方を練習する。データの分析は、統計解析ソフト（SAS, Amos）を使っておこなう。発表者は発表内容をパワーポイントファイルにまとめる。
(1)～(3)を繰り返す。
- (4), (5)は不定期に行う。
- (4) 過去の佐山ゼミ卒業生の卒論を教員が紹介する。
- (5) 卒論に書く実験のテーマと実験の計画を発表する。

4 年次：

- (1) 自分で考えたテーマに関する実験をおこなう準備をする。
- (2) テーマと関係のある文献の輪読をする。
- (3) 毎回発表者を決め、卒論の途中経過報告をおこない、お互いに議論しあう。
(1)～(3)を繰り返す。
- (4) 実際に実験をおこない、データを分析し、卒論にまとめる。

3. 指導テキスト及び参考書

輪読する日本語の教科書：認知心理学に関する教科書であれば、何でもよい。

輪読する研究論文：その都度配布する。

参考書：●西本・林共編『認知心理学ワークショップ』早稲田大学出版部 ●J. R. アンダーソン 『認知心理学概論』誠信書房 ●戸田・阿部・桃内・往住 『認知科学入門』サイエンス社

4. 選考の方法（面接・テスト等）

- (1) 社会情報学科の学生を最優先して選考します。11/20（金）12時までに志望理由書を提出してください。おおよそ志望理由書によって決めますので、詳しく正確に書いてください。志望理由書は、ワードで作成し、メールに添付して、sayama@res.otaru-uc.ac.jp まで送ってください。志望理由書をみて書類選考します。
- (2) 候補者に対し面接をおこない最終決定します。

レポートには次の項目を書いてください。

- (1) ゼミに入って何を研究したいか？ 佐山ゼミの研究テーマの中で、どのテーマにどのように興味を持っているか？
- (2) ふだん何に時間を使っているか？ どのようなサークル・クラブ等に入ってどんなことをしているか？ また、どのようなアルバイトをしているか？
- (3) 自分の趣味、性格、特技など。
- (4) その他書きたいこと。

5. 面接・テスト等の日時・場所

11/20（金）17時に、候補者リストと面接の日時を <https://www.kohichi.net/佐山ゼミ/> に掲示します。面接は 11/24（火）13時から佐山研究室（4号館 352）でおこなう予定です。

6. 注意事項・履修希望者へのメッセージ

オープンゼミ期間 10/1（木）から 11/5（木）までの木曜日 4 講目の 3 年ゼミを、オープンゼミ形式で行う予定にしています。ぜひおいでください。

言葉の理解、顔の認知、ブランドイメージに興味を持っている人、とくに、将来、人間の情報処理の研究者になってやろうという人を歓迎します。不明な点があれば sayama@res.otaru-uc.ac.jp までメール下さい。

1. 研究主題

私は、人工知能 (AI) やソフトウェア、ネットワーク分野の基礎的研究を行っています。特に、最近気になるものは、教育に関する情報メディアやアプリに関する AI、Web コミュニケーションや Web インテリジェンスにおける AI です。例えば、教育や学習に役立つ効率的なアプリやゲームなどはどのようなもののでしょうか？ Web から自分の必要な情報を効率的かつ正確に抽出するにはどうしたらよいのでしょうか？ Twitter やブログ情報の有効活用方法はないのでしょうか？ 街を活性化するような地域情報推薦システムは作れないのでしょうか？

ゼミ生の研究テーマとしては、これらの分野の研究を希望することはもちろん、これら以外にも興味があり、各自が責任を持ち最後まで積極的に取り組むことが可能であれば、他の分野のテーマでも結構です。

2. 指導要領

「これって、どんな状況？」、「こういう解決方法は効果あるかなあ？」、「こんなものがあつたら少し便利なんじゃないかなあ？」、「あんなものがあれば少しは楽ができるのでは？」という気持ちをきっかけに各々のテーマを決めて、自ら研究対象について調査してデータを収集し、それらを分析して、そこから何がわかったのかを明らかにしてください。

2年次：今後のゼミ活動のための準備（クラウドストレージの登録・設定、Facebook の登録・設定、ディベート練習）、卒論発表会 & 卒業生追いコンへの参加、春休み課題の提出などを行います。

3年次：合同ゼミ（ディベート）への参加。

卒論作成に向けて、（就活前に卒論の大半を終えるぞ！という意気込みで）各個人（各グループ）、研究テーマを決めて学習、調査、分析、プレゼンテーションを行います。卒論を完成させて、3年次で卒論発表を実施することも可能です。

4年次：卒論の完成・卒論発表、後輩指導、ゼミ広報などを行います。

3. 指導テキスト及び参考書

研究テーマを探す段階：各人が学会誌、論文誌、テレビ番組、雑誌、Web などを見たり読んだりして、おもしろいテーマを見つけ出しましょう。

研究テーマ決定後の段階：信頼性のある学会誌、論文誌などを参考にしましょう。

4. 選考の方法（面接・テスト等）

面接を Zoom にて行います。面接の参考資料としますので、

- 所属学科、学生番号、名前（必ず読み仮名を記述してください）、
- メールアドレス（ほとんど毎日確認するメルアドを教えてください。面接スケジュール、Zoom 面接の ID、パスワード、選考結果を連絡予定です）、
- 志望ゼミ（第一志望ゼミ、第二志望ゼミ、第三志望ゼミ）、
- 所属する部活名、サークル名
- 下記の面接予定日時について都合が悪い場合は、その旨およびその理由。

を 2020 年 11 月 11 日（水曜）22:00 までに電子メールで宛先 numazawa@res.otaru-uc.ac.jp へ送付してください。なお、志望者数が多い場合は、第三志望者を面接せずに落選とすることもありますので、ご了承ください。

5. 面接・テスト等の予定日時・場所

◆ 日時：2020 年 11 月 17 日（火曜）14:30 ~ ※ Zoom を利用します。

- 上記の日時に面接できない方は事前にメール（宛先は前述）にて連絡ください。
- また、上記面接日時の変更や、新型コロナ感染状況や志望者数によっては対面の面接に切り替える可能性も多少あります。そのような事態になった場合は、皆さんから教えていただいたメールアドレス宛に連絡いたします。

6. 注意事項・履修希望者へのメッセージ

- 来年度は対面で皆さんとゼミ活動や懇親会ができることを、ゼミ生ともども心より願っています。今年度の大学活動は制約があり、学生も教職員も少々つらいことがありますが、来年度には改善していることを信じて、お互いがんばりましょう！！
- 「こんなものがあつたら少し便利なんだけどなあ」、「あんなものがあれば少し楽できるのになあ」ということを考えて、「それを、ぜひ実現させたい！」と思う人たちを歓迎します。皆さんの様々な視点でたくさんアイデアを出してください。
- 進学を考えている人も歓迎します。情報系の興味深いテーマに出会い、小樽商大から他大学の大学院へ進学して、大学院修士号を取得して大手企業へ就職することも夢ではありません。理系大手企業への就職者のほとんどは大学院修了者ですので、理系企業への就職を希望するあなたは検討してみてください！

開講日時	木曜日 14:30 ~ 17:40
在籍人数(3年生)	11人
男女比(3年生)	4:7
ゼミ室	110教室(3号館1階)
ゼミの鬼仏表	↓ 仏・普通・鬼

Q. 先生はどんな人?

優しくイケメン!!

すごく物知りで、卒論やディベートのことで的確なアドバイス・意見をくれます!

実はすごく知りたがりで、卒論のことやディベート以外でも単純に気になったことやゼミ生のことについてたくさん質問してくれる! 卒論のことから悩みごとの相談までなんでも聞いてくれます! (恋バナもOKとか...)

< 2020年度年間スケジュール >

12~3	(前年度)	
4		卒論準備
5	ディベート大会①(中止)	
6		
7	ディベート大会②(中止) ゼミ内ディベート大会(来年以降の開催は未定)	
8		
9	ゼミ合宿(今年は非開催)	
10	ディベート大会③	
11		現在の開催は未定
12	ディベート大会④	
1		
2		
3	追いコン	

<ゼミの日常>

現在は、ZOOMを利用し卒論の準備(プレゼン形式・テーマは自由)の活動をしています。今年のゼミ対抗ディベート大会は対面での開催できない可能性が高いですが、ゼミ内で先輩とのZOOMディベート戦を開催して鍛えています。今年は前年ながら開催できませんが、3,4年ゼミ生でニセコ合宿、12月には新歓、2月には追いコンを開催して、ゼミ生同士の親睦を深めています。

<卒業生の進路>

主に民間企業!!

日本生命、東京海上、共栄火災海上、JAL、HTB、一条工務店、ヤマチコーポレーション、北洋銀行、株式会社エイチケイアール...etc

<自由記入欄>

4大ゼミ合同ディベート大会は年4回!!勝者には豪華景品が!

(前はタコ焼き器とチョコフォンデュの機械をいただきました)

男女・文系理系問わずに大募集です!!

(先生には下の名前でもらえるよ)

1. 研究主題

『人間中心設計に基づくサービスデザインに関する研究』が研究室のテーマです。人間中心設計とは、サービスに関わる人間（利用者を含む）や組織を探索することによって、新しいアイデアを構想し、サービスを詳細に設計してゆく方法全般を意味します。実際には、新しいサービスを構想するプロセス、具体的なサービスのユーザ要求事項を導くプロセス、サービスのタッチポイントを設計するプロセス、サービスの妥当性を確認するプロセスなどがあります。

当研究室では、実際のサービスを題材にして、これらのプロセスを学習します。現在は、学内サービス、観光サービスなどを題材にして、サービス設計を演習しています。

一方、人間中心設計は、もの作りと並行して、人間科学の知識が必須になります。ゼミを通じて、心理学や社会学に基づいた調査法・評価法の習得を行います。

2. 指導要領

まず、3年生の段階で人間中心設計に関する基礎的な知識・技法を学習します。3年次までには、実験あるいは調査を行いながら基本的な知識の習得を目指します。理論の学習と並行して、演習を実施しています。また、先輩が実施しているプロジェクトに参加しながら、調査研究の実際に体験してもらう場合もあります。

4年次には、各自で独立したテーマを設定して、大学院生などの指導の下で、1年をかけて研究プロジェクトを遂行します。卒論を希望する学生は、これを論文としてまとめます。

3. 指導テキスト及び参考書

毎年、購読するテキストは異なります。

4. 選考の方法（面接・テスト等）

ネットワークを利用したグループ面接によって選考します。

5. 面接・テスト等の日時・場所

面接の開催日を manaba にて掲示します。

6. 注意事項・履修希望者へのメッセージ

大学生生活の結果、何か具体的に『かたち』を残したい、何かを創りたいという想いがある人にとっては、有効なゼミになるでしょう。この皆さんの「想い」を基本に、研究、就職とつなげてゆきます。理論の学習だけでなく、調査や実験を通じて、実際に身体を動かして情報を入手し、具体的なデータを基に、洞察、構想するという行動パターンを身につけることとなります。

人間中心設計は、奥深い設計理論です。より具体的な設計の力を身につけるには、より多くの時間を要します。大学院での学習を望む人は事前に相談してください。

また、様々な業界からのお客様が来られるので、可能な限り、社会人との接点を持つようにします。そのための作法も体得できます。

尚、当ゼミではネットワークを介した、様々な試みを行っています。そのため、自宅でのネットワーク環境及び自分所有のパソコンは必須ですので、注意してください。

開講日時	火・水曜日 14:00~
在籍人数(3年生)	6人
男女比(3年生)	4:2
ゼミ室	322教室
ゼミの鬼仏表	仏・ 普通 ・鬼

Q. 先生はどんな人？

料理が上手
めっちゃ優しい
おしゃべり
グルメ
すごいもの知り



早稲田大学 大学院
理工学研究科 博士課程

<ゼミの日常>

< 2019年度年間スケジュール >

12~3	(前年度)
4	
5	お花見
6	
7	
8	前期の打ち上げ
9	合宿
10	
11	歓迎会
12	インゼミ大会
1	後期の打ち上げ
2	追いコン
3	

私たち平沢ゼミの研究テーマは、「**人間中心設計に関する研究**」です！

人間中心設計とは、システムやサービスに関わる人間を探索することで、よりよくしていく方法全般を意味します！

<卒業生の進路>

各種コンサル、電機系、メーカー系…etc

<自由記入欄>

平沢ゼミの裏テーマは「よく食べ、よく飲む」があげられています…。

フードファイターの方ぜひ募集しています！

また、ゼミ室でよくお菓子を作ってみんなで食べています！インスタ覗いてみてね〜！♪

連絡先：nagatuka@ouc-ux.org

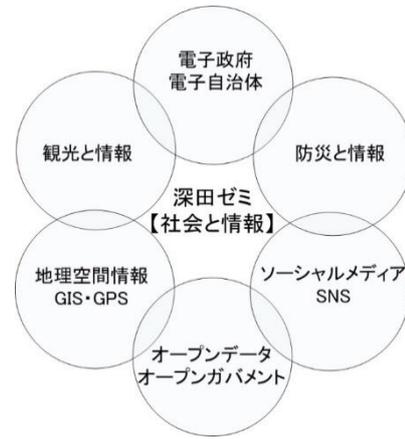
Instagram：hirasawacooking

1. 研究主題

当ゼミのテーマは「社会と情報」です。社会調査法などを用いて、「社会と情報」に関する諸課題を調査・分析し、課題解決に向けた方策を考える能力を養うことを目的とします。

また、学生自らが調査・分析・発表を行う過程で、個々人の主体性や計画力・実行力を養うことを目指します。

研究対象として具体的なキーワードをあげるとすれば、「防災と情報」、「ソーシャルメディア」、「観光と情報」、「地理情報システム (GIS) を用いた地域分析」、「電子政府・電子自治体」、などです。



2. 指導要領

3年次：社会的な課題に関する調査・分析を実施するために必要となる知識やスキルを学ぶ。

4年次：各自が決めた研究テーマについて、調査・分析を行い、進捗状況を報告・発表する。

【3年ゼミの内容（3年前期の予定）：社会調査法に関する基礎的知識を学ぶ】

例えば、以下のような内容を輪読で学ぶ予定。

- (1) 社会調査の概要：量的調査と質的調査の違い
- (2) 調査の企画と設計
- (3) 調査票の作成1：全体構成
- (4) 調査票の作成2：調査項目の検討
- (5) 標本調査の方法：調査票の点検とデータ作成
- (6) データの集計と分析1：記述統計、クロス集計、相関分析
- (7～8) データの集計と分析2：統計的仮説検定
- (9～10) データの集計と分析3：回帰分析、重回帰分析
- (11～12) データの集計と分析4：因子分析
- (13) 質的調査1：質的調査の種類と考え方
- (14) 質的調査2：インタビュー調査
- (15) 質的調査3：フィールドワークの方法と倫理

3. 指導テキスト及び参考書

下記の書籍の中から、ゼミ学生と相談して使用する複数のテキストを決めます。

- ・大谷信介ほか：『新・社会調査へのアプローチ—論理と方法』ミネルヴァ書房、2013年。
- ・原純輔、海野道郎：『社会調査演習（第2版）』東京大学出版会、2004年。
- ・ボンシュテット、ノーキ：『社会統計学—社会調査のためのデータ分析入門』ハーベスト社、1990年。
- ・片瀬一男：『社会統計学』放送大学教育振興会、2007年。
- ・小塩真司：『研究事例で学ぶSPSSとAMOSによる心理・調査データ解析』東京図書、2005年。
- ・谷富夫、芦田徹郎：『よくわかる質的社会調査 技法編』ミネルヴァ書房、2009年。
- ・谷富夫、山本努：『よくわかる質的社会調査 プロセス編』ミネルヴァ書房、2010年。
- ・辻 義人：『Excelによるアンケート調査の第一歩』ナカニシヤ出版、2014年。

4. 選考の方法（面接・テスト等）

「面接」を行います。面接の資料として、下記の内容を記載した志望理由書を作成し、提出して下さい。

- 提出方法：E-mailに志望理由書を添付して送付すること。
- 締 切 り：11月13日（金）17時まで（厳守）
- 送 付 先：fukada@res.otaru-uc.ac.jp（以下、「教員アドレス」と呼ぶ）
- 件 名：E-mailの件名は次のように記すこと → 深田ゼミ志望理由書の送付：（応募学生の氏名）
- 形 式：作成した志望理由書のファイル名は、「深田ゼミ志望理由書（学生氏名）」とすること。
Word等を用いて、A4版1～2ページ程度にまとめること。記載の様式は自由とする。
- 志望理由書に記載する内容：
 - 1) 学生番号、2) 氏名（ふりがな）、3) 学科、4) 性別、5) 出身高校、6) 志望理由（400字程度）、
 - 7) 所属する部活・サークル等、8) E-mailアドレス（確実に連絡が取ることができるアドレス）、
 - 9) 志望ゼミ名（第1、第2、第3希望の順で志望ゼミ名を明記）、10) 自己アピール（ゼミで何をテーマにしたいか・希望進路・自分の趣味や特技などといった内容で400字程度）

5. 面接・テスト等の日時・場所

【日時】11月17日（火）に行う予定（時間帯：2講目～6講目を予定）。面接の順番の決め方（面接時間の指定）などの詳細は、manaba コース「2020年度ゼミ選考」、またはオープンゼミ（オンライン開催の可能性あり）などの機会に説明する。なお、予定している面接日時が変更になる場合は別途連絡しますので、ゼミ所属選考期間中は、manabaを注意深く見て下さい。

【場所】ZOOM等を用いた「オンラインでの個別面接」、または教員研究室（1号館433研究室）で「個別面接」を行う予定。「オンラインによる個別面接」か「対面による個別面接」のどちらの面接方法を用いるかは、別途、manabaで連絡する予定です。

6. 注意事項・履修希望者へのメッセージ

当ゼミは、学生の自主性、積極性、協調性を重視します。また、当ゼミの特徴として、状況が許せば、通常の研究指導の時間帯以外でも、学外でのフィールドワーク（例えば、関係者へのヒヤリングや社会調査活動など）、ゼミ合宿、その他の対外的な活動などを行うため、これらに対して積極的に参加してほしいと考えています。そのため、これらのゼミ活動全般に対して、時間的にも精神的にも、誠実に取り組むことができない学生には不向きです。

以上の点を十分に検討し、オープンゼミに参加して、応募するかどうかを決めて下さい。また、ゼミに関する質問等があれば、教員にメールで連絡して下さい。

○深田研究室：1号館433研究室，深田ゼミ室：3号館320室
教員アドレス (E-mail) : fukada@res.otaru-uc.jp

開講日時	木曜日 14:30~17:00 くらい
在籍人数(3年生)	8 人
男女比(3年生)	1:3
ゼミ室	320
ゼミの鬼仏表	(仏) ・ 普通 ・ 鬼

Q. 先生はどんな人？

- あまいもの&コーヒーが好き
- おしゃべりが好き
- フレンドリー
- キューティー
- やさしい

< 2020 年度年間スケジュール >

12~3	(前年度)
4	テキスト輪読
5	↓
6	
7	
8	
9	↓
10	
11	卒業論文テーマ決め等
12	新歓
1	↓
2	
3	

<ゼミの日常>

基本的にテキスト輪読

交代でレジュメを作り発表し、先生の解説や補足を聞いたり質問し合ったりします。

<卒業生の進路>

民間企業から公務員までさまざま

- ソフトバンクモバイル
 - 三菱UFJ信託銀行
 - 札幌市役所
- など…

<自由記入欄>

テキストの輪読で自分の興味のあることに取り組めるほか、他の人の発表を聞いて自分の視野を広げることができますよ♪
ゼミ室には、PC、プリンター、冷蔵庫、電子レンジ、電気ケトルなどの設備も充実！

1. 研究主題

ソフトウェア工学や知能情報学を基に、学生自身が抱く問題や疑問を解決する方式や情報システムを考える訓練をします。本ゼミは、「とりあえずモノを作ってみる（プログラミング）」を基本スタイルとして活動しますので、基礎的なプログラミング力を鍛える訓練もします。私自身も基礎理論や方式、枠組みなどを提案するだけでなく、実際に動くモノ(情報システム)を開発することを心掛けています。私の研究では、クラウドサービス、仮想化技術、等価変換理論、多目的遺伝的アルゴリズム、論理プログラミング、情報システム開発などがキーワードになります。最近の私の研究では、コンテナ型仮想化とウェブアプリケーションを組み合わせた情報システムを開発しました。

2. 指導要領

3年次：研究活動の基礎スキルを養い、興味のある分野を明確にする

- 自分が何に興味を持っているのかを知るために、ディスカッションを行います。
- プログラミングの基礎力を高めるために、プログラミングの勉強会を行います。
- 論文や技術資料のサーベイを基に、面白い研究テーマの調査を行います。

4年次：研究テーマを決め、深い知識を身につける

- 各自の興味を基に研究テーマを決めます。
- 研究テーマについて調査・分析を行い、学士論文を作り上げます。
※ 進捗資料を基にディスカッションを行います。

3. 指導テキスト及び参考書

別途、必要に応じて示します。

4. 選考の方法（面接・テスト等）

10分程度の面接を実施して、面接内容と志望理由を基に選考します。面接を希望される学生は、三浦(k-miura@res.otaru-uc.ac.jp)まで下記の内容をEメールで送って下さい。

※ 11月12日(木)12:00までにEメールを送って下さい。

(Eメールの内容)

件名：氏名@三浦ゼミ志望

内容：1. 学籍番号

2. 氏名(ふりがな)

3. 学科

4. 返信可能なEメールアドレス

5. 志望理由(800字程度) ※ Wordファイルなどで書いて、添付ファイルで送って下さい

6. 面接時間（第1希望、第2希望） ※ 混み合うと希望に添えないかもしれません

5. 面接・テスト等の日時・場所

日時：11月19日(木) 10:30--18:00 ※ この時間帯の中で訪問可能な時間を回答して下さい

場所：三浦ゼミ室（3号館1階 116室）

6. 注意事項・履修希望者へのメッセージ

本ゼミは、学生が主体となり研究テーマを見つけ出しますので、繰り返しのディスカッションを基に研究テーマが決まります。そのため会話に積極的な方や話好きな方は大歓迎です。プログラミングに興味がある方も大歓迎です。Eメールでご連絡を頂ければ、可能な限り、私やゼミ生の研究内容をご紹介します。

開講日時	木曜日 14:30 ~ 17:40
在籍人数(3年生)	8人
男女比(3年生)	7:1
ゼミ室	116
ゼミの鬼仏表	普通

Q. 先生はどんな人？

ミウラ カツノリ
三浦 克宜 先生

- ・天才プログラマー
- ・学生の興味を尊重します
- ・プログラミング初心者にも優しく、丁寧に教えてくれます
- ・情報関連分野の流行に敏感

<ゼミの日常>

< 2020 年度年間スケジュール >

12~3	(前年度) ⇒メンバー決定、顔合わせ
4	論文作成の練習
5	↓ 学習する言語の選択
6	論理プログラミング
7	↓
8	夏休み
9	
10	研究テーマを探る
11	卒論に向けて各自で研究
12	
1	春休み
2	
3	

論理プログラミング学習

- ・テキストの内容を参考に、実際にコードを書きながら学習
- ・分からない部分があれば都度質問
- ・2回程度休憩
- ・割と雑談

<卒業生の進路>

まだ卒業生がいない新しいゼミです

<自由記入欄>

情報関連の分野に詳しい学生は勿論、イラストやデザインが得意な学生、ファッションに詳しい学生、スポーツが好きな学生など、本当に様々なタイプの学生が集まっています。

1. 研究主題

- インターネットを用いたコミュニケーションに関する研究
 - コンピュータネットワークに関する研究
 - プログラミング言語とその処理系
6. モノのインターネット (IoT) に関する基礎研究
7. セキュリティ人材関連分野
- その他、関連するテーマであれば、ある程度の希望は採り入れる。

2. 指導要領

プレゼミ

本や論文を読み文章にまとめて他人に説明し、適切な質疑応答ができることがゼミに参加する上での必要事項である。また、説明のためにプレゼンテーションツールを使いこなすことも必須であり、ゼミ所属が決定した時点から3年次になるまでにこれらを4回程度プレゼミとして行なう。

3年次：テキストの輪読と演習

ゼミ生の興味に沿ったアルゴリズム系やプログラミング系のテキストを使って輪講と演習を行う。最近選択した言語等は C++, OCaml (関数型言語), Java, モデリング言語 Alloy, LISP の1つである scheme, python を使った Deep Learning である。現在の3年生はリモートで python のプログラミングを学んでいる。少人数の場合、Raspberry Pi 等のハードウェアを使った実習も考えている。

4年次：テーマに沿った卒業論文の作成指導

学生のモチベーションを維持するため、基本的に卒業論文のテーマは学生自身で決めることとしている。そのため、オリジナリティを持った主張のできるタネを沢山持ってきて、そこから卒業論文に最も相応しいものを選択・指導していくので、沢山のタネを持って来るべく社会や技術に関心を常に向けておく必要がある。

3. 指導テキスト及び参考書

適宜指示する。

4. 選考の方法（面接・テスト等）

所属学科、氏名、学生番号と志望理由、情報、ソフトウェアに関する科目の履修状況とその成績の自己評価、研究したいテーマ等を具体的に記述した A4 版の用紙 1 枚の「申込書」を面接時に提出のこと。

5. 面接・テスト等の日時・場所

11月19日(木曜)14:30よりゼミ室(209D)にて行なう。銓衡結果は後日ゼミ室のドアに掲示する。

6. 注意事項・履修希望者へのメッセージ

- 原則として社会情報学科所属であること
- 原則として情報、ソフトウェアに関する科目を履修中、または履修済みであること
- 部活、サークル、アルバイト等で勉学を疎にすることがないこと
- 昼間コース社会情報学科 研究指導募集手続を参照のこと

ゼミ紹介白書

< 三谷 ゼミ >

開講日時	木曜日 14:30~16:00
在籍人数(3年生)	5人
男女比(3年生)	3:2
ゼミ室	209D 室 (210 向かい)
ゼミの鬼仏表	仏 ・ ③ ・ 鬼

Q. 先生はどんな人？

ソフトウェアとネットワークが専門の先生です。ヒゲが特徴的なので、顔は一度見たら覚えられます。

時に優しく、時に厳しい（主に問題の難易度）先生です。あと、ススキノで美味しいお店をよく知っているようなのでたまにある食事会の満足度は1000%だったり。

<ゼミの日常>

< 2020 年度年間スケジュール >

12~3	(前年度)
4	プレゼミ (2年生の12月頃から)
5	お花見 (今年はありませんでした) 3年生の学習計画決定
6	ここから1月くらいまで 「ゼミの日常」を参照
7	
8	
9	
10	
11	新ゼミ生歓迎会
12	2年生プレゼミ開始
1	卒論の査読
2	卒論発表会
3	追いコン

例年は各学年で研究成果や活動状況の発表プレゼンテーションを行っていたようです。

現在は例の新型のアレで対面のゼミ活動がストップしているので、我々3年生はグループでPythonの勉強をしています。

4年生は卒業論文の制作にとりかかっているようです。

<卒業生の進路>

この欄は毎年空白だったのでちょっと心配になりましたが、半年前に食事会の場で聞いた時にちょっと安心した覚えがあるので多分大丈夫だと思います。主な就職先がどんな場所だったかは聞いたのが半年前なので忘れしました。

<自由記入欄>

学習の内容から卒論の題材まで、学生による自由度が高いゼミになっています。

学んでみたいプログラミング言語がある人や、作ってみたいアプリがある人。興味のある人はぜひお越しください。

一般教育等

General Education

一般教育等 開講ゼミナール一覧

片山 昇 104

後藤 良彰 105

杉山 成 106

須永 将史 108

醍醐 龍馬 109

沼田 ゆかり 110

1. 研究主題

以下のテーマに関して、「実験」を中心とした生態学的研究を実施します；

- ①人為的攪乱に対する山菜の応答
- ②水性動物による溶存有機物の利用
- ③両生類幼生の表現型可塑性
- ④外来植物の迅速な進化と生態系プロセス
- ⑤植物の被食防衛
- ⑥昆虫と植物の相利共生

2. 指導要領

本ゼミでは、生態学の学術的な問いに対して仮説を立て、その仮説を主に実験で検証します。得られた結果は、卒論としてまとめられます。そのために必要な、(1)仮説の立案、(2)実験デザインの構築、(3)データの取得、(4)データの取りまとめ、(5)結果の解釈、などを指導します。基本的に実験テーマは上記の研究主題の中から選んでもらいますが、受講者が興味を持ったテーマが他であればそのテーマを採り入れることも可能です。どちらの場合でも、実験テーマは各自で持ってもらい、主体的に実験に取り組んでもらうことになります。また必要に応じて、他大学の研究室と共同研究を実施する場合があります。

実験を開始してからは、進捗状況について教員と随時（頻繁に）相談しながら実験を行ってもらいます。加えて、3ヶ月に1度、全ゼミ生を交えた中間報告会を実施し、4年次の1月には卒論発表会を実施する予定です。卒論の主要データは、学会で報告できるくらいにまでしてもらいたいと考えています。また、研究を遂行するには他の研究事例を学ぶことも欠かせませんので、月に1度、学術論文（基本的に英語の原著論文）の勉強会を行います。

3. 指導テキスト及び参考書

以下を参考書とします；

- ・M. ベゴンほか「生態学 個体・個体群・群集の科学」（京都大学出版会）
- ・酒井聡樹「これから論文を書く若者のために」（共立出版）
- ・市原清志「バイオサイエンスの統計学」（南江堂）

4. 選考の方法（面接・テスト等）

面接にて選考します。面接時に志望動機や研究テーマについて質問する予定です。

5. 面接・テスト等の日時・場所

11/2～13の期間の間で、生物学研究室で面接を実施します。面接の日時を調整しますので、受講希望者は事前にメール（n-kata@res.otaru-uc.jp）で連絡して下さい。

6. 注意事項・履修希望者へのメッセージ

上記の研究主題で扱う生物の多くは、4～8月にかけて出現します。この時期を逃すとデータが取れないので、生物の出現に合わせて実験計画を練ることになります。したがって、履修上のゼミの開講時間外にも実験してもらおうことになりますし、土日に実験を行うこともあります。場合によっては、調査で課外施設に宿泊することもあるかもしれません（諸経費は研究費で負担します）。受講希望者はこれらのことを十分に理解しておいて下さい。

就職活動で4～8月に実験できない人は、室内飼育できる生物（主に昆虫や植物）を対象にした実験を、8月以降してもらいます。いずれにせよ、本ゼミでは生物を扱うので、生物の世話ができない人には受講を勧めません。

1. 研究主題

数学の分野の中から、受講者の興味にあったものを選び、学習してもらいます。特に希望する分野がない方には、複素関数論を学習してもらう予定です。

2. 指導要領

テキストを事前に読み込み、理解した内容をゼミで発表してもらいます。発表中、教員から質問や指摘を受けることになりますので、適切に対応することが求められます。ゼミを通じて、「論理的に考える能力」、「他者に説明する能力」、「他者と議論する能力」などを身に付けることを目標としています。

また、学習した内容を文章としてまとめることにより、論理的な文章を書く練習もしていきます。

3. 指導テキスト及び参考書

受講者のレベルや興味ある分野に応じて、相談の上決定します。例えば、複素関数論を学習する場合は R.V.チャーチル, J.W.ブラウン著, 中野實訳『複素関数入門(原書第4版新装版)』数学書房を候補としています。

4. 選考の方法 (面接・テスト等)

面接を行います(数学に関する簡単な質疑応答も含みます)。必要に応じて、ゼミと同様の形式で発表をしてもらう可能性もあります。

5. 面接・テスト等の日時・場所

面接は選考期間(11月16日~11月27日)の間随時実施します。日程は相談の上決めますので、ゼミ希望者はできるだけ早く(遅くとも11月20日までに)メール(goto@res.otaru-uc.ac.jp)で連絡してください。面接は404Bゼミ室で対面にて行う予定です。対面での実施が困難な場合は、メールでのやりとりやWeb会議システムでの面接により選考するつもりです。

6. 注意事項・履修希望者へのメッセージ

本学の「数学I」、「数学II」、「基礎数学」を履修している、あるいは同程度の知識を有していることが望ましいです。これらの知識がなくてもゼミに所属することは可能ですが、より多くの自習を求められることになります。また、学習する分野として複素関数論を希望される場合は、令和2年度後期開講科目「現代の数学I」の履修を強く勧めます。

ゼミの発表中は、教員が様々な質問や指摘をしますので、それらに耐えられるようきちんと理解して発表に臨む必要があります。従って、ゼミの時間外も数学を長時間考えることになりますので、数学が好きな人に履修をお勧めします。

1. 研究主題

本ゼミは「ピアサポート（学生が学生に対して行う、種々な支援活動）」の計画と実行、そして、アルフレッド・アドラーの個人心理学（individual psychology）についての輪読・討論を行います。これらを通して、自分、仕事、そして、社会の間の幸福な関係について、一緒に考えてみたいと思います。

2. 指導要領

個人心理学についての学習、そして、それに基づいた実践をゼミの両輪として進めていきます。

- ① A.アドラーの個人心理学についてのテキストを輪読し、それに基づいたパーソナルワークおよびグループワークを行い、自分自身や人間観、社会観についての考察を行います。
- ② ピアサポート（大学での居場所づくりや障がいのある学生への支援）や心理学ワークショップを開催します。そして、そのために必要な対人援助（ピアカウンセリング）やプレゼンテーションのスキルを身につけます。
- ③ 北海道ピア・サポートコンソーシアムの活動に参加し、他大学の学生との交流・協働を行います。

3. 指導テキスト及び参考書（予定）

- ・ 伊藤智樹 『ピア・サポートの社会学（晃洋書房）』
 - ・ 岸見一郎・古賀史健 『嫌われる勇気』『幸せになる勇気』（ダイヤモンド社）
 - ・ アルフレッド・アドラー 『人生の意味の心理学（上・下）』（アルテ）他
- その他、学生の関心に応じてテキストを選択します。

4. 選考の方法（面接・テスト等）

志望動機や現在の関心事等について、10分程度の簡単な面接を行います。

5. 面接・テスト等の日時・場所

11月10日（火）13時から403ゼミ室での対面面談（またはZoomでの遠隔面談）を行います。どうしても時間の都合がつかない場合には別の日程を設定しますので、事前にメールで申し出てください（宛先：sugiyama@res.otaru-uc.ac.jp）。

6. 注意事項・履修希望者へのメッセージ

次のような諸問題に関心があれば、2年間のゼミ活動のなかで、自分なりの答えを見つけることができるのではないかと考えます。

- ・ 人間らしく生きるとはどういうことか
- ・ 自分を受け入れるにはどうしたらよいか
- ・ 仕事を通して成長していくにはどうしたらよいか
- ・ 社会のなかでの居場所はどのように作っていけばよいのか
- ・ 他者との信頼関係はどのようにしたら得られるか

なお、本ゼミにおいては授業割上の時間（木曜4・5講）以外に活動することが多くなりますので、その点についてあらかじめご了承ください。2年生についても、所属決定後、段階的にピアサポートに参加していただくことを予定しています。

7. オープンゼミの日時・場所（予定） ※夜間主コースは記載不要

オープンゼミ・合同説明会は行いませんが、月曜～金曜の昼休みには杉山ゼミの3年生がピアサポーターとして常駐していますので、そちらでゼミについての詳しい相談をすることが可能です。関心のある方は、一度、ピアサポートルームをお訪ねください。

ゼミ紹介白書

< 杉山 ゼミ >

開講日時	木曜日 14:30~17:40
在籍人数(3年生)	14人
男女比(3年生)	1:4
ゼミ室	403 講義室・ピアサポートルーム
ゼミの鬼仏表	仏 ・ 普通 ・ 鬼

Q. 先生はどんな人?

- ・メガネかけてます!
- ・優しくて穏やか!!
- ・ゼミ生思い!!!
- ・お酒が趣味!!!!
- ・意外とユーモアセンス高い!!!!!!
- ・YouTube好き!!!!!!

< 2019年度年間スケジュール >

12~3	(前年度)
4	カウンセリング演習 アドラー心理学
5	カウンセリング演習 アドラー心理学
6	カウンセリング演習 アドラー心理学
7	カウンセリング演習 アドラー心理学
8	ピアサポートコンソーシアム
9	ゼミ合宿...?
10	多様な心理学に関する研究とプレゼン
11	多様な心理学に関する研究とプレゼン
12	多様な心理学に関する研究とプレゼン
1	多様な心理学に関する研究とプレゼン
2	卒論発表会
3	

<ゼミの日常>

- ・お昼休みにピアサポートルームで学生の相談に乗っています。
- ・ゼミ室が2つあるため、他のゼミ生よりもノビノビとした学生生活を送ることができます。
- ・ゼミ生の企画でタコパなどのイベントを企画しています。

<卒業生の進路>

心理学を学ぶゼミ生らしく、公務員、金融、メーカーなど、幅広い分野で活躍しています。また、大学院への進学実績もあります。

<自由記入欄>

現在はコロナウイルスの影響下で試行錯誤の連続ですが、ノビノビと楽しく活動しています。
興味のある方は是非説明会に参加してください!お待ちしております!!!

1. 研究主題

本ゼミでは、小樽市を調査対象としながら、社会学の「質的調査」の各手法を学ぶ。

2. 指導要領

ゼミ内では、大きく分けて4つのことをおこなう。

- (1) 社会調査とは何か、とりわけ質的調査とはなにかについて、社会学が蓄積してきた研究手法を学ぶ。参与観察、フィールドワーク、インタビュー分析、ライフヒストリーなどの手法を理解する。(文献研究)
- (2) 小樽市とはどのような街か。既になされた小樽市についての社会学的先行研究を学ぶ。それ以外にも、都市社会学・地域社会学の重要な先行研究を講読し、小樽市と他の都市とを比較する。(文献研究)
- (3) 実際にフィールド(小樽市内)に行き、社会学的調査をおこなう。
- (4) 調査した内容に基づき、社会学の手法を使った報告書を執筆する。

3. 指導テキスト及び参考書

堀川三郎, 2018, 『町並み保存運動の論理と帰結——小樽運河問題の社会学的分析』東京大学出版会。

玉野和志, 2008, 『実践社会調査入門——今すぐ調査を始めたい人へ』世界思想社

好井裕明・桜井厚, 2000, 『フィールドワークの経験』せりか書房。

4. 選考の方法(面接・テスト等)

志望動機や現在の関心などについて、面接をおこなう。

5. 面接・テスト等の日時・場所

11月2日(火)から11月13日(金)の間のいずれかの日に、研究室343にておこなう。

6. 注意事項・履修希望者へのメッセージ

「社会学Ⅰ」「社会学Ⅱ」の単位を取得していることが望ましい。

文献講読・報告の量も多く、調査も負担が多いと思われる。真面目に取り組む学生のみ受講してほしい。

特に文献講読に関しては、読むだけでなく、議論への積極的な参加も要求する。

本を読んで知識をひろげることに根本的に興味のない学生は、履修を勧めない。

1. 研究主題

本授業では近現代日本の政治と外交を学びます。幕藩体制の崩壊から明治憲法制定、さらに初期議会から日露戦後までの政治外交史の流れを丁寧におさらいします。その後、政治史、外交史、経済史、思想史など、諸分野からどのように明治史がアプローチされているかを学び、主要なテーマの研究状況や史料残存状況を整理します。そのうえで各受講生は、次年度に向け各々の問題関心を固めていきます。

2. 指導要領

まず、復刻された明治政治史の古典を輪読していきます。その後、近著を用い歴史研究の方法論を学び、それぞれが関心のあるテーマを選んで個別研究に入ります。同時に政治家や外交官の書簡、日記を用いながら一次史料の読み方も学びます。例えば榎本武揚の「北海道巡回日記」を全員で読みながら、文中に出てくる分かりにくい箇所(地名や人名、片仮名用語等)を可能な限り調べ、年表作成をしていきます。場合によっては、崩し字の解説を行うこともあります。

3. 指導テキスト及び参考書

北岡伸一『日本政治史－外交と権力 増補版』有斐閣 2017
岡義武『明治政治史』上・下、岩波書店 2019
小林和幸編『明治史研究の最前線』筑摩書房 2020
林英夫監修、若尾俊平他編『増訂 近世古文書解読辞典』柏書房 1972

4. 選考の方法（面接・テスト等）

オンライン面接

5. 面接・テスト等の日時・場所

入ゼミ希望者は担当教員宛に10月5日（月）までにメールでお問い合わせください。オープンゼミの代わりに授業内容のより詳細な説明をするのと同時に、面接日時をお知らせします。

6. 注意事項・履修希望者へのメッセージ

一般教育科目は3年に一度の開講が原則となっており、本科目も本年度は開講されない予定でした。ただ、本学における歴史学の需要の高さを考慮し、以下の2つの条件を満たす者に限り若干名募集します。

応募資格

- 1 大学院進学または中学の社会科教員、高校の日本史教員を志望する者
- 2 担当者の基礎ゼミナールを優以上の成績で単位取得しているか、歴史学Ⅰ・Ⅱをともに優以上の成績で単位取得している者

1. 研究主題

- ・バクテリアセルロース(ナタデココ)を用いた材料開発
- ・バクテリアセルロースを用いた新規ゲル状食品の開発

2. 指導要領

各自別の研究テーマを持ち、全員が異なる内容の実験を個別に行うこととなる。実験方法やデータのまとめ方など研究を行う上で必要な基礎知識・技術を指導する。実験結果について教員と個別にディスカッションを行い、研究の方向性の検討を適宜行う。1か月に1度、ゼミ内の報告会でそれぞれの研究の進捗状況を報告する。その他、週に1度、高分子関係書籍を用いて輪講を行っており、各自2~4週に1度(ゼミ生の人数によって変更あり)発表の機会がある。研究をとおして、PDCAサイクル(Plan→Do→Check→Action)を習得することを目標として指導を行う。

本学で所有していない装置を用いた実験は共同研究先で行うこともある。

3. 指導テキスト及び参考書

参考書

「理系なら知っておきたい ラボノートの書き方【改訂版】」岡崎浩司・隅藏康一著、羊土社

「これでわかる基礎高分子化学」畔田博文・他、三共出版

「基礎からわかる機器分析」加藤正直・内山一美・鈴木秋弘著、森北出版

など

4. 選考の方法(面接・テスト等)

面接により決定する。

5. 面接・テスト等の日時・場所

面接の日時を調整するので、連絡を取ること。

面接期間：11月16日から11月27日の内随時

面接場所：化学研究室(3号館1階)または化学実験室(3号館1階)

6. 注意事項・履修希望者へのメッセージ

化学IおよびII、現代の化学を履修していることが望ましいが、化学の知識は問わない。未履修の場合、化学IおよびIIを令和3年度に履修すること。

一生懸命に実験に取り組めることが必要である。本ゼミの実験は適切なサンプル調製条件や測定条件の検討が必要となるため、同じ条件もしくは少し条件を変えてサンプルを何度も調製、各種装置の測定手法の習得が必要となる。そのため、同じことを繰り返し行うことが苦痛な人には履修を勧めない。

時間割上の「研究指導」の時間帯だけ実験を行っても全く研究が進まないため、各自が空き時間や講義後に実験を進める必要がある。つまり、実験室の滞在時間が長くなる。そのことを良く理解したうえで希望してもらいたい。

以上はこれまで通りのスタイルでゼミが実施できるときの「注意事項・履修希望者へのメッセージ」である。令和3年度以降も遠隔授業によるゼミや大学内への立ち入り規制がかかった場合、自分で得た実験結果をもとに卒業論文を執筆することが不可能になると予想される。その際は例年よりかなり多くの先行研究に関する論文を参考文献として読み込み卒業論文を執筆することになるが、参考文献の9割程度は英語で執筆された論文である。分野の特性上、総説論文を除き日本語で執筆された論文はほぼないと考えてほしい。

配属後のミスマッチを避けるため、履修希望者は「第1次志望ゼミ申込」前に必ず連絡を取ること。

言語センター

Center for Language Studies

言語センター 開講ゼミナール一覧

サーマン・ジョン.... 113

高橋 優季 114

西口 純代 115

マーク・ホルスト.... 116

三ツ木 真実..... 118

1. 研究主題

About Language Teaching and Language Learning with Task-based Language Learning (TBLT)
Language Learning Research Statistics
タスクによる外国語言語教育および言語学習・習得
外国語の言語教育研究のための統計学

2. 指導要領

In this seminar, I would like for us to study about Task-based Language Teaching (TBLT) and how to research aspects of TBLT. This includes cognitive approaches to language learning using TBLT, such as the cognitive complexity of tasks, and also the affective dimension of TBLT, such as beliefs, anxiety, motivation, and other aspects. Also, we will quantitative study methods of research used for language learning research, such as ANOVA/ANCOVA, Multiple Regression, Correlation, Factor Analysis, and etc.
タスクによる外国語言語教育および言語学習・習得についての研究および TBLT 研究方法；TBLT のタスク の認知的複雑性の研究；
言語学習個人差の要因（動機付け、不安、教育概念など）
言語学習の量的研究方法（分散分析、多重回帰、相関分析、因子分析、等）

3. 指導テキスト及び参考書

Printouts/配付資料

4. 選考の方法（面接・テスト等）

I would like students in this seminar to want to become teachers. You should have a TOEIC Score of over 650.
言語教員になりたい人を望む。TOEIC 点数は 650 点以上。（堅く守ります。）

5. 面接・テスト等の日時・場所

Thursdays @ 3rd and 4th sessions.（木曜日 3 時限および 4 時限）

6. 注意事項・履修希望者へのメッセージ

Although we have been doing work with the Otaru Aquarium in the past, we have done so much so that we will not be doing it again this year unless asked to.

7. オープンゼミの日時・場所（予定） ※現在非開講のゼミは記載不要

Room 420（ベビー・ヨダ ゼミ）Thursdays, October 1, October 8, October 15, and October 22 @ 3rd and 4th sessions. See you there!



1. 研究主題

ハリー・ポッターと学ぶ英文学、ヨーロッパの文化研究（3，4年合同ゼミ）

2. 指導要領

J.K.ローリングによる『ハリー・ポッター』シリーズの精読を通して、作中に重層的に取り込まれた英語圏の思想や文化史を探究します。そうしたプロセスを経て、本シリーズの児童文学とくにファンタジー小説というジャンルにおける重要性の再評価を試みます。

3. 指導テキスト及び参考書

『ハリー・ポッター』シリーズ全7巻（原書）のうち、いずれか1点以上。受講生が決定してから、全員で話し合って決めます。日本語訳の購入及び使用については、各自の判断に任せます。数に限りがありますが、教員の側で貸出しもいたします（返却厳守をお願いします）。

4. 選考の方法（面接・テスト等）

このゼミへの応募資格は、語学力云々以前に、ハリー・ポッターが好きで、『ハリー・ポッターと賢者の石』以降のシリーズ（できれば）全巻を夢中になって読んだ経験があること、です。読書の経験が無くとも映画を見て同様の興味を持った方も対象とします。

よほどの大人数による応募にならない限り、選考試験や面接は予定していません、ただし、上記の条件に見合ったしっかりした応募動機はお聞かせいただきますので、きちんと説明できるように準備をお願いいたします。

5. 面接・テスト等の日時・場所

6. 注意事項・履修希望者へのメッセージ

学生主導で進めていく授業になりますので、各自が積極的に発言し、問題提起をし、授業の進め方やテーマ選択を求めます。

1. 研究主題

Formal semantics and social choice

2. 指導要領

You are welcome to bring your own topic of interest and develop it. The main area of study is analyzing language meaning and social choice theory. Currently the daytime seminar consists of two research groups:

- Linguists and economists group: Thursdays 4-5 periods
Students first decide books to read and provide summaries. Then eventually they conduct studies on their own topic.
- Computer science group: Thursdays 6-7 periods (tentative)
This is a separate autonomous group of computer scientists studying natural language processing, programming, web design app/video making and so forth.

Members may attend 32nd European Summer School in Logic, Language and Information (ESSLLI) to be held in Utrecht, The Netherlands, between Aug 2-13, 2021 on their own expense.

Supervisor's HP: <http://www.res.otaru-uc.ac.jp/~nishiguchi/>

Lab members' HP: <https://otarupippi.github.io/july30/hpSecond.html>

3. 指導テキスト及び参考書

- Daniel Altshuler, Terence Parsons and [Roger Schwarzschild](#), *A Course in Semantics*, MIT Press, 2019
- Kenneth Arrow, Amartya Sen and Kotaro Suzumura, *Handbook of Social Choice and Welfare*, Elsevier, 2010.
- Steven Bird, Ewan Klein, and Edward Loper, *Natural Language Processing with Python: Analyzing Text with the Natural Language Toolkit*, O'Reilly, 2009.

4. 選考の方法（面接・テスト等）

Interviews in person/on Zoom

5. 面接・テスト等の日時・場所

Interviews will take place at Nishiguchi Seminar Room (3-207D) or on Zoom during the lunch breaks of the following dates: November 2, Mon - November 13, Fri.

6. 注意事項・履修希望者へのメッセージ

Write an email to:

nishiguchi@res.otaru-uc.ac.jp

with a subject line ``seminar''. Include the following information: your student ID, name, email address, research interest, available dates for interview.

7. オープンゼミの日時・場所（予定）

- Linguists and economists group: October 8 Thu & Oct 15 Thu, 2:30pm - 4:50pm
- Computer scientists group: October 1 Thu, 8 Thu, 15 Thu & 22 Thu, 6pm - 7:30pm

both at Nishiguchi Seminar Room (3-207D) and on Zoom.

1. 研究主題

社会言語学: 社会的要因（地位、性別、年齢など）がどう人々が言語を使用する方法に影響するかを研究します。

2. 指導要領

このゼミは以下の人々に特に向いています：外国語の勉強が楽しい・異文化コミュニケーションに興味を持っている人・将来、英語の教師として仕事がしたい人。

What do we study?

Have you ever thought about how your language changes when you talk to different people? Have you ever considered why Japanese and Korean have honorific language (敬語) but French and English do not? Have you ever wondered why men and women have different conversation styles? All of these are sociolinguistic questions. If you join our seminar you can find out the answers to these questions and many others concerning how people use language.

We investigate the **varieties** of language people use. We study how our speaking style changes according to the situation we are in, according to the people we are talking to and according to the image of ourselves we are trying to project to others (our **identity**), considering power distance (上下関係), social distance (親しみやすさ) and the setting (場面/状況).

For example: In one project we examined how characters in movies changed their speaking style according to the setting (状況) and their relationship to their interlocutor (対話者): student ⇄ student; teacher ⇄ student; teacher ⇄ teacher, etc. The reasons are sometimes **universal** across all languages, sometimes due to local **culture**, and sometimes due to **institutional setting** (機関的状況).

This seminar has three goals:

- (1) To introduce students to **sociolinguistics** (社会言語学) by exploring: (i) how the speaking situation affects the language we use (dialect, language style, directness, politeness); (ii) how these factors affect second language learning.
- (2) To develop students' research skills through collecting and analyzing written and spoken language data. Our research methods are: observing and recording natural conversations; analyzing online video and audio resources to understand about identity and language use; surveying and interviewing people on their language use.
- (3) To develop students' reading, writing and communication skills in **English**, and develop critical thinking skills. The main language of our seminar is English, so good English skills are important. However, our emphasis is on learning about language, so during class **Japanese is also used to clarify information**. The aim is to have a positive and relaxed learning atmosphere.

What is the Class Content?

3rd year: Each week before class, everyone reads about an aspect of sociolinguistics. In class, one person makes a presentation about the topic, after which we discuss it, considering examples from various languages, then write about it for homework. Also, each semester students do a group project investigating how people use language in real situations, and present their findings in the last class.

4th year: Each student carries out a research project on language in use, which they write up for their graduation paper (卒業論文).

Who is this seminar for?

- Students taking their English teaching license,
- Students who have curiosity about languages and learning languages.
- People who like discussing language and cultural based topics.
- Students specializing in global management (グローバルマネジメント副専攻プログラム)

Why should you join us?

If you take this seminar you will be able to:

- Improve your written and oral English skills to give you more opportunities in your future career.
- Get a deeper knowledge of English to help you become a more proficient English teacher.
- Develop critical thinking skills through researching, presenting and discussing academic information.
- Learn a new specialty that you can't study in other departments.

This is a busy seminar which involves a lot of reading and writing and preparation for weekly presentations and discussions, so you need energy and motivation and a willingness to learn and question. However, if you are willing to make this investment you will be able to graduate with the feeling that you have had a challenging and meaningful educational experience which will help you in your future career.

このゼミは、たくさんの読み書きと毎週のプレゼンテーションとディスカッションの準備が含まれる忙しいゼミのため、学生はエネルギーとモチベーション、積極的に学んで質問などをする意欲が必要です。しかし、あなたにこれらの努力をする意志があるのなら、やりがいのある有意義な教育経験をしたという思いをもって卒業することができます。それは、将来のキャリアにおいてもあなたの役に立つはずです。

3. 指導テキスト及び参考書

Wardhaugh, Ronald (2015) *An Introduction to Sociolinguistics (7th edition)*. Wiley-Blackwell.

4. 選考の方法（面接・テスト等）

- (1) 次のテーマで、英語で 500 - 800 words 以上のエッセイを提出して下さい。

Explain one aspect of language or language use that you are interested in studying and why.

11月2日(月) 12.30時にメールでエッセイを提出してください。(markaholst@icloud.com)

- (2) 英語能力、モチベーション、および思考力を評価するインタビューがあります。

5. 面接・テスト等の日時・場所

インタビュー時間: **11月3日(火) ~ 11月13日(金)** インタビュー場所: Zoom

6. 注意事項・履修希望者へのメッセージ

(1) 3・4年合同ゼミです。行動毎週木曜日の14.30-17.15に行います。ゼミ室: 314

(2) 何か詳細が必要でしたら、ホルスト先生又はゼミ長に連絡してください。

Mark Holst: markaholst@icloud.com 東花苗(ゼミ長): k0a8n2a0e@gmail.com

7. オープンゼミの日時・場所(予定)

ホルストゼミ室:

Please join us for our open seminar sessions on the following days. We will have discussions and activities about the following topics led by our seminar members and supported by the teacher.

10月1日(木) 14:30-16:00: – Orthography (正字法) in Japanese magazines • Linguistic landscapes

10月8日(木) 14:30-16:00: – Dialects: geographical and social identity

10月15日(木) 14:30-16:00: – Gender differences in conversation.

1. 研究主題

三ツ木ゼミの研究テーマは「第二言語習得の心理学」や「外国語の学習を科学する」です。英語学習の成功や失敗に影響を与える学習者要因（学習動機、学習方法、学習スタイルなど）について研究します。自らの学習経験を振り返りながら、より効果的な外国語学習や外国語指導の在り方について、具体的な考えを持てるようになることを目標としています。

2. 指導要領

本ゼミは、英語学習や英語教育など「英語を学ぶ」または「英語を教える」ことに深い興味があり、どうしても英語をもっと楽しく継続的に学べるかを科学的な視点で真剣に考え、自らも実際に英語を学ぶ・教えることに本気でトライすることができる学生を対象としたゼミです。第二言語習得や英語学習、コミュニケーションと心理学に関する文献を読み、英語で様々なタスクやプレゼンテーション、ディスカッションに取り組みます。

前期は文献を読みながら興味のある分野を絞り込んでいきます。その中で教員や学生でディスカッションをしながら、また、自らを省察しながら、どのような研究を行っていくかを具体化していきます。後期は、前期に絞り込んだ興味のある研究分野について、英語で書かれた海外のトップジャーナルに掲載された先行研究の論文をレビューしながら分野の専門的知見を深めていきます。また、具体的な分析データの収集・分析（質問紙調査やインタビュー）にも実際に取り組みながら習熟していき、研究を論文化させて行くプロセスについても学んでいきます。

3. 指導テキスト及び参考書

- ・海外のトップジャーナル（TESOL Quarterly, System など）に掲載された英語論文
- ・新夕了（2019）『英語の学び方入門』 研究社。
- ・廣森友人（2015）『英語 学習のメカニズム 第二言語習得研究にもとづく効果的な勉強法』大修館書店。
- ・八島智子（2019）『外国語学習とコミュニケーションの心理-研究と教育の視点-』関西大学出版。

4. 選考の方法（面接・テスト等）

- ・英語による面接を行い、英検や TOEIC その他検定試験等の点数も考慮して選考する。

5. 面接・テスト等の日時・場所

- ・Zoom による面接を実施する。
- ・11月11日（水）までに以下のQRコードに必要事項を記入し、送信してください。こちらから面接の日程調整の連絡をします。（※もし面接について連絡がなくて心配な場合は、mitsugi@res.otaru-uc.jp にご連絡ください。）



三ツ木ゼミ 2021_面接希望者（現2年生）アンケート

6. 注意事項・履修希望者へのメッセージ

英語教員を目指す学生を優先的に選抜しますが、英語の教職課程を履修していなければならないということはありません。ただ、単に「英語が苦手だから上手になりたい」という学生を対象とはしていませんし、そういうトレーニングをするゼミでもありませんのでご注意ください。また4年生と合同のゼミとなります。

ゼミ紹介白書

ゼミ紹介白書

< 三ツ木真実 ゼミ >

開講日時	木曜日 14:30~17:30
在籍人数(3年生)	1人
男女比(3年生)	1:0
ゼミ室	294!
ゼミの鬼仏表	① 普通 ・ 鬼

Q. 先生はどんな人?

とにかく優しいです!
若い先生でとてもフレンドリーです!
生徒に寄り添って真剣に相談に乗ってくれます。

< 2020 年度年間スケジュール >

12~3	(前年度)
4	
5	ゼミ開始 第二言語学習の本を週に一章ずつ進める
6	↓
7	分析の練習
8	夏休み
9	↓
10	分析とディスカッション
11	↓
12	クリスマスパーティー
1	研究途中経過発表準備
2	研究途中経過の発表、慰労会
3	春休み

<ゼミの日常>

初めの2か月は第二言語学習についての本を読み進めながらワードでまとめて発表し、その後興味の出たトピックについてディスカッションや実際の分析などを通じてさらに詳しく掘り下げていきます。またディスカッションや分析の内容が卒論に直結しやすいので三年生の早いうちから卒論の準備ができます!!

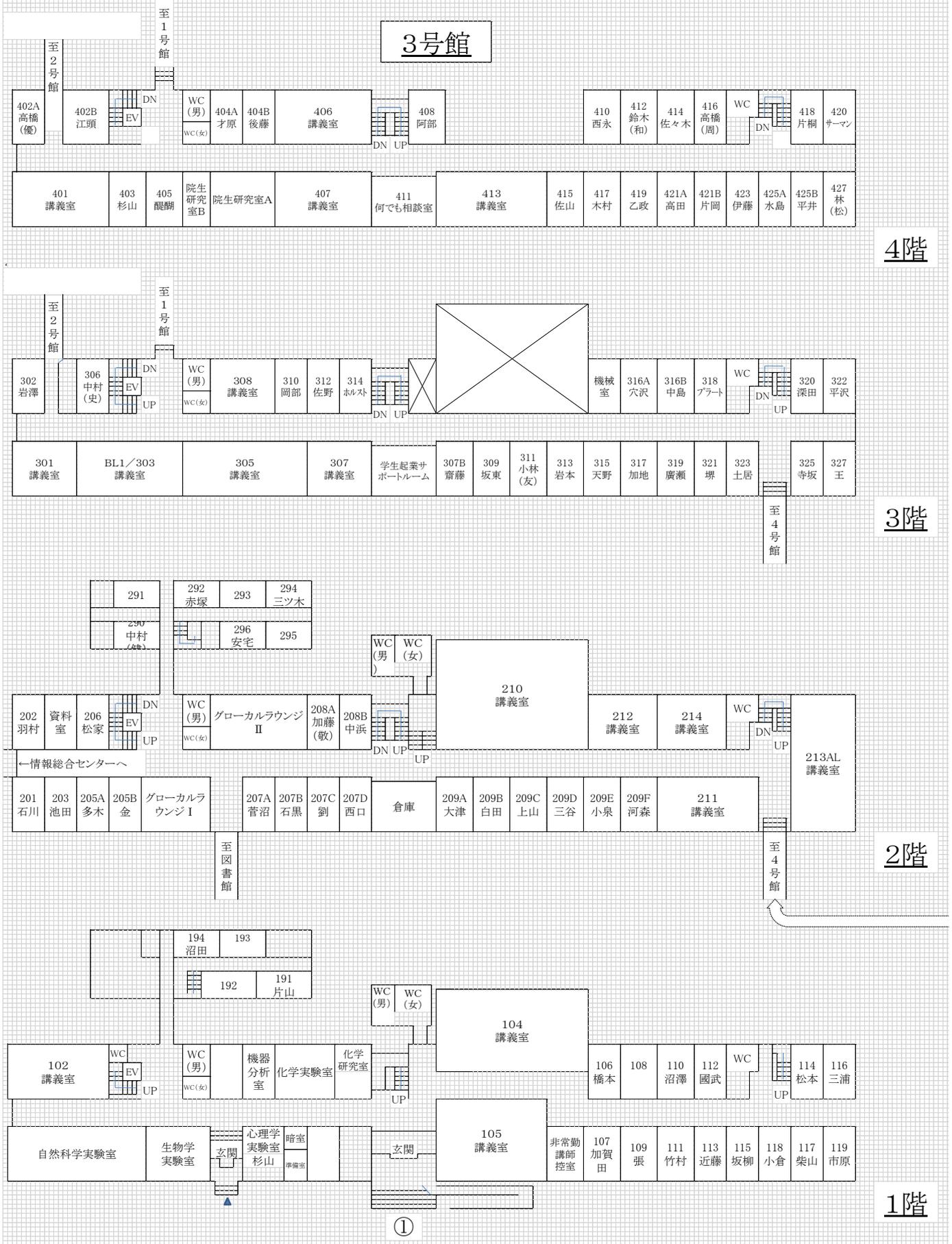
<卒業生の進路>

僕が初めてのゼミ生なので、就活、頑張ります!!

<自由記入欄>

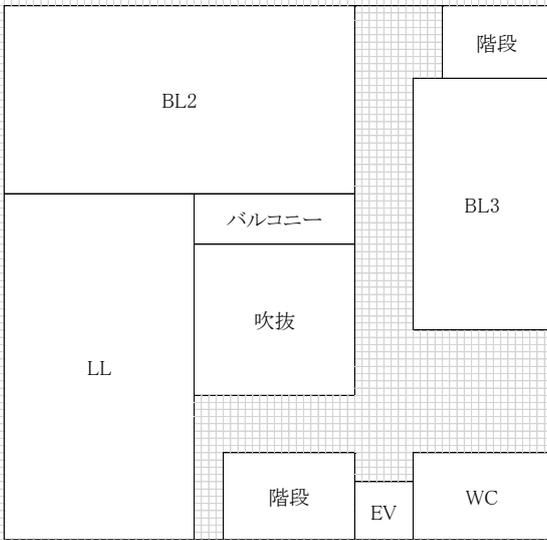
第二言語学習(英語など!)について興味がある人はぜひ!
ちなみに僕はゼミでの研究(例えばどのようにしたら学習へのモチベーションが上がるか)を自分の英語学習に取り入れてみたりと、実際に自分の学習に役立つことを研究できるので楽しいです!

令和2年度 講義室・ゼミ室配置図



令和2年度 2号館配置図

↓5F 言語センター

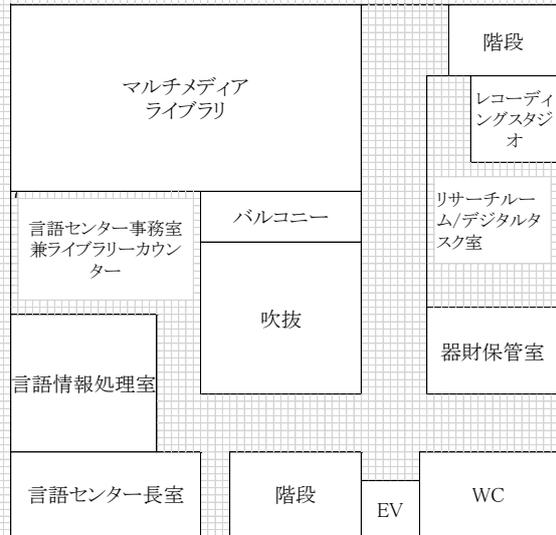


・BLはBlended learning講義室の略称です。
 ・BL1/303は3号館3階にあります。

↓3F 言語センター



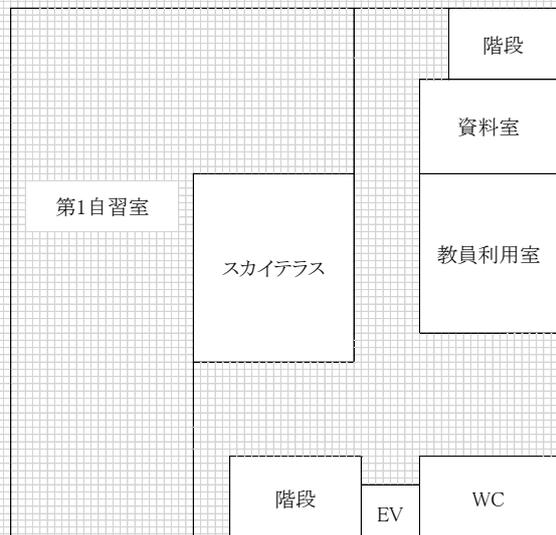
↓4F 言語センター



↓1F グローカル戦略推進センター産学官連携推進部門



↓2F 情報総合センター別館





『昼間コース ゼミナール紹介本』 2021

発行日：令和元年9月24日

編集者：橋本 衡 廣吉 和樹 山田 陸

発行者：佐藤 楓

発行所：小樽商科大学学生自治会事務局

〒047-8501 小樽市緑3丁目5番21号

小樽商科大学 大学会館2F自治会室（内線：6550）